

令和 7 年 版

消 防 年 報



(涌谷町：『真夏のとうもろこし巨大迷路ゴールドデント 777WAKUYA』)

大崎地域広域行政事務組合消防本部

『真夏のとうもろこし巨大迷路ゴールドデント 777WAKUYA』

真夏のとうもろこし巨大迷路ゴールドデント 777WAKUYA は、わくや天平の湯の東側のほ場を利用し、約 1.8 ヘクタールの飼料用とうもろこし(デントコーン)畑を切り開いて整備する巨大迷路です。

コロナ禍で失われてしまった子どもたちの夏休みの思い出づくりの場を何とかしたいと有志で実行委員会を発足し始まったイベントです。

令和 7 年で 5 周年を迎え、令和 6 年開催では 2 日間の開催で、約 3,200 人が来場するほどのイベントとなりました。

令和 6 年 3 月には、ふるさとイベント大賞(主催：一般財団法人地域活性化センター)で最優秀賞(総務大臣表彰)を受賞しました。



『100 年フード おぼろ豆腐汁』

涌谷町は、奈良の東大寺の大仏を建立する時の、大量の金を供給した産地として古くから拓けた地域でした。その涌谷町へのおぼろ豆腐の伝来は、幕末期に町内の曹洞宗竜淵寺二十六世大堂俊麟大和尚が京都より当地に着任した時紹介したといわれています。

当時、寺の僧達の入山前の衣服を整えるための草履脱ぎ場となっていた民家にその製法並びにおぼろ汁の作り方を伝授し、それが町内に広まったといわれています。

おぼろ豆腐の製法は現在の京都のおぼろ豆腐を作っている豆腐屋のものとほとんど同じであることから、この住職が京都で修業中に会得したものと思われます。

この料理の普及は、料理を伝授された家が豆腐屋を営み、おぼろ豆腐を製造販売したことと、その料理法が涌谷町の人々に受け入れられたことによります。

おぼろ汁はおぼろ豆腐の軟らかく、脆く、歯ごたえがなく、壊れやすい性質を比較的濃いデンプン汁の中に入れることで、形態を保持し、その軟らかさは喉越しのよさとなり、干し椎茸の旨みを付与することで、春秋のお彼岸やお盆に仏前に供える涌谷町の行事食の家庭料理として今日に至っています。



(お問い合わせ先)

涌谷町役場 〒987-0192

宮城県遠田郡涌谷町字新町裏153番地2

電話 0229-43-2111 (代)

ホームページアドレス

<https://www.town.wakuya.miyagi.jp/>

は じ め に

この年報は、令和6年度中における大崎地域広域行政事務組合の消防業務（消防団を除く）に関わる事業の成果、実績等について収録し、消防行政の効率的な運営と消防力の充実強化に資するとともに、当消防本部の実態を広く一般に紹介することを目的として編集したものです。

何とぞご高覧の上、消防行政に対しましての認識を深めていただき、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年7月

大崎地域広域行政事務組合消防本部

目 次

消防情勢

組合消防管内図	1
大崎消防本部の主な統計	2
位置及び地勢	3
相互応援協定	4
緊急消防援助隊の登録状況	5
組合消防情勢の推移	6
大崎消防のあゆみと主な災害等	7
構成市町の面積・世帯・人口	32
組合機構図	33
消防本部事務分掌	34
消防署事務分掌	36
令和7年度一般会計予算概要及び消防費当初予算	37
施設（消防庁舎等）の現況	38
消防力の整備指針と現有消防力	39
所属別配置状況	40
年齢別構成表	41
勤続年数別構成表	42

警 防

災害出動計画基準表	43
非常配備体制	45
消防車両配置表	46
消防隊出動状況	49
消防水利の現況	50

(火 災)

火災の現況	51
令和6年市町別火災発生状況	52
月別火災発生状況／過去10年間の主な出火原因	53
月別火災発生状況及び損害額状況／過去10年間の火災件数及び損害額の推移	54

(救 急)

救急業務の現況	55
令和6年月別救急出動状況	56
令和6年救急隊別出動状況	57
令和6年出動先別救急出動状況	58
令和6年傷病程度・年齢別搬送人員の状況	59
令和6年救急隊員の行った応急処置状況（その1）	60

令和6年救急隊員の行った応急処置状況（その2）	61
東北自動車道における救急出動件数・搬送人員	62
過去5年間の発生場所別救急出動件数／過去10年間の救急出動件数の推移	63
令和6年事故種別医療機関別搬送人員	64
応急手当講習会等の現況	65
応急手当講習会等の開催状況	66
(救 助)	
救助業務の現況	68
令和6年救助活動状況／過去5年間における救助件数の推移	69
消防装備等機械器具保有状況	70
予 防	
予防業務の現況	71
防火対象物数	72
地上5階未満，地上5階以上の防火対象物数	73
防火対象物における防火管理の状況	74
定期点検報告制度該当防火対象物数／消防同意事務処理状況	75
危険物施設状況	76
危険物関係事務処理状況／危険物関係申請状況／圧縮アセチレンガス等の届出状況	77
予防査察実施状況	78
液化石油ガス関係事務処理状況／火薬類取締関係事務処理状況	79
民間防火組織の結成状況	80
通信指令	
高機能消防指令センターの概要	81
通信指令システム機器一覧	83
119番等受付状況（災害）	84
119番等受付状況（災害以外）	85
119番等受付件数／覚知別受付件数	86
災害等区分別入電件数／災害情報案内サービス利用件数	87
月別気象状況	88
管内の消防団	
大崎管内の消防団構成	89

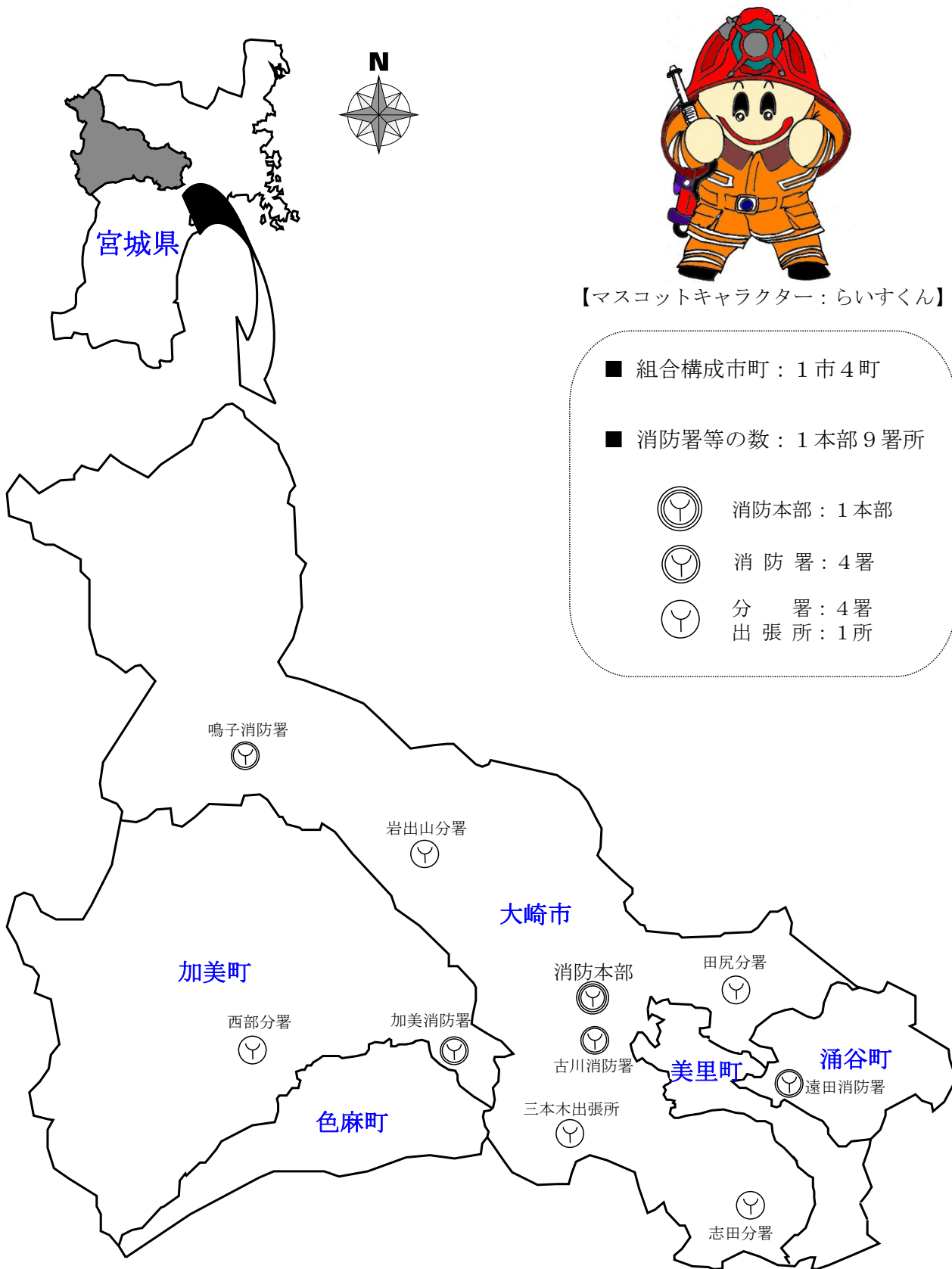
※ 本書の記載内容の期間については，各表及び統計毎に明示しております。

消 防 情 勢



古川はしご車救出訓練

大崎地域広域行政事務組合消防管内図

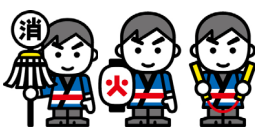


■大崎消防本部の主な統計

令和7年4月1日現在の情勢

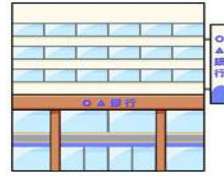
(人口・世帯等は構成市町からの数値, 災害件数は令和6年確定値)

管 内 面 積	管 内 人 口	管 内 世 帯 数	人 口 密 度
 1,523.91 km ²	 184,935 人	 78,725 世帯	 121.36 人/1 km ²

消防予算 (7年度)	署 所 数	職 員 数	消 防 団 員 数
 3,299,969 千円	 消防本部 1 消 防 署 4 分 署 等 5	 定数 338 人 現有 324 人	 定数 3,960 人 現有 3,365 人

消 防 車	特 殊 車 両	救 急 車 他	消 防 水 利
 ポンプ車 10 台 タンク車 8 台 化学車 1 台	 はしご車 2 台 救助工作車 1 台 大型水槽車 3 台	 救 急 車 13 台 司令・指揮車 6 台 そ の 他 車 25 台	 消 火 栓 3,152 基 防火水槽 1,157 基 そ の 他 130 箇所

火 災 件 数	救 急 件 数	救 助 件 数	その他災害件数
 49 件	 10,050 件	 43 件	 支 援 183 件 危険物等漏洩 45 件 自 然 災 害 27 件 そ の 他 119 件

防 火 対 象 物	危 険 物 施 設	セイフティマーク	防 火 組 織
 6,966 施設	 製造所 3 施設 貯蔵所 552 施設 取扱所 260 施設	 該 当 対 象 物 239 施設 特例認定対象物 19 施設	 女性防火クラブ 242 組織 少年消防クラブ 1 組織 幼年消防クラブ 31 組織

【位置及び地勢】

県北西部の大崎耕土

当圏域は、宮城県の北西部に位置し、南は広域仙台都市圏、東は広域石巻圏、北は栗原市・登米市、西は山形県・秋田県にそれぞれ接しています。

地勢としては、西部の山岳地帯の荒雄岳を源とする江合川、船形連峰を源とする鳴瀬川の二つの大きな川が西から東に向かって流れています。

また、山間部の豊かな森林に覆われた自然を源とする水は、圏域の北西から南東に広がる肥沃に満ちた広大な平野「大崎耕土」を潤し、昔から米どころとしての水稻の盛んな流域圏を形成しています。

圏域の人口は、令和7年4月1日現在 184,935 人（令和2年国勢調査 195,353 人）で、宮城県総人口の約 8.4%を占め、広域仙台都市圏について2番目の規模となっています。

国土の縦軸と横軸が交差する大崎

圏域は、JR東北新幹線・東北本線・陸羽東線・石巻線などの鉄道や、東北自動車道・国道4号・47号・108号・346号・347号・457号などの幹線交通網が、縦横に通った交通アクセスの優れた地域となっています。

世界農業遺産認定

「日本の食糧供給基地」として広大で肥沃な大崎耕土に育まれた良質米「ササニシキ」「ひとめぼれ」などを産しており、平成29年12月「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』の伝統的水管理システム」が国際連合食糧農業機関（FAO）から世界農業遺産に認定されました。

また、栗駒国立公園や県立自然公園船形連峰などの優れた自然景観や鳴子温泉をはじめとする多くの温泉施設、歴史の道「奥の細道」や遺跡などの文化財、太鼓や神楽などの伝統芸能など文化遺産にも恵まれており、豊富な観光資源を活用したレクリエーション産業が発展しています。



大崎耕土（写真提供：大崎地域世界農業遺産推進協議会）

【相互応援協定】

市町村は、その管轄区域内における火災等の消防責任を有していますが、その消防力を超える大規模火災や特殊災害等が発生した場合、それらに対応するため消防組織法に基づき近隣の消防本部等と消防相互応援協定を締結しています。

東日本大震災では、宮城県広域消防相互応援協定に基づき、気仙沼市、石巻市等の2市2町へ消防隊及び救急隊等延べ67隊を派遣し43日間にわたり活動を行いました。

また、最近では令和元年10月に発生した令和元年東日本台風（台風第19号）災害に伴い、消防小隊、救急小隊、後方支援小隊の延べ14隊48名を被災地である丸森町へ派遣、さらに令和2年4月30日、岩沼市で発生した大規模倉庫火災には指揮隊、特殊装備小隊、後方支援小隊の延べ5隊18名を派遣したほか、令和3年1月19日、大崎市古川の東北自動車道下りで発生した多重事故では、宮城県内の消防本部から指揮隊、救助小隊、救急小隊、後方支援小隊の延べ10隊35名の応援を受け、活動を行いました。

名 称	締結年月日	締結市町村名 協定消防本部名	応 援 内 容
消防相互応援協定	S45年11月1日	栗原市消防本部	消防組織法第39条 (火災・その他災害)
	S48年2月1日	栗原市消防本部	消防組織法第39条 (救急)
	S48年7月1日	黒川地域行政事務組合 消防本部	消防組織法第39条 (火災・救急・その他災害)
	S50年4月1日	山形県最上広域 市町村圏消防本部	消防組織法第39条 (火災・救急・その他災害)
	H8年7月31日	秋田県湯沢雄勝広域 市町村圏消防本部	消防組織法第39条 (火災・救急・その他災害)
	H25年3月1日	尾花沢市消防本部	消防組織法第39条 (火災・救急・その他災害)
広域消防相互 応 援 協 定	S48年1月24日	石巻地区広域・塩釜地区・ 登米市・気仙沼本吉地域広 域4消防本部	消防組織法第39条 (火災・救急・その他災害)
東北自動車道 宮城県消防相互 応 援 協 定	S63年7月1日	仙台市・名取市・仙南地域 広域・栗原市・黒川地域 5消防本部	東北自動車道における 消防業務の相互応援
宮城県広域消防 相 互 応 援 協 定	H31年4月1日	県内11消防本部(局)	消防組織法第39条 (火災・救急・その他災害)
宮城県広域 航空消防応援協定	H31年4月1日	宮城県 県内11消防本部(局)	同 上
宮城県内 航空消防応援協定	H31年4月1日	仙台市 県内10消防本部	同 上

【緊急消防援助隊】

緊急消防援助隊は、平成 7 年（1995 年）兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）の教訓を踏まえ、大規模災害等において都道府県内の消防力では対応が困難な場合に、人命救助活動等を効果的かつ迅速に行えるよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築することを目的とし、平成 7 年 6 月に創設されました。



令和 7 年 4 月 1 日現在、全国で 6,731 隊が登録され、指揮支援部隊、統合機動部隊、エネルギー・産業基盤災害即応部隊、NBC 災害即応部隊、土砂・風水害機動支援部隊、航空部隊（航空小隊、航空後方支援小隊）、都道府県大隊（指揮隊、消火中隊、救助中隊、救急中隊、後方支援中隊、通信支援中隊、水上中隊、特殊災害中隊、特殊装備中隊）の多岐にわたる精鋭部隊から構成されます。

大崎広域消防本部においては、下表のとおり 13 隊（47 名）を登録しています。

登録隊	所 属	車 両	登録年月	登録隊数
都道府県大隊指揮隊	消防本部	司令車	H19. 4	1 隊
消火小隊	加美消防署	水槽付ポンプ車	H15. 4	5 隊
	鳴子消防署	水槽付ポンプ車	H27. 4	
	遠田消防署	水槽付ポンプ車	H21. 3	
	西部分署	水槽付ポンプ車	H26. 4	
	田尻分署	水槽付ポンプ車	H27. 4	
救助小隊	古川消防署	救助工作車	H15. 4	1 隊
救急小隊	加美消防署	高規格救急車	H19. 4	3 隊
	遠田消防署	高規格救急車	H20. 4	
	鳴子消防署	高規格救急車	H30. 4	
後方支援小隊	古川消防署	拠点機能形成車	H31. 4	1 隊
特殊装備小隊	鳴子消防署	中型水陸両用車 及び搬送車	R 2. 4	2 隊
	古川消防署	はしご自動車	R 3. 4	
計				13 隊

岩手県大船渡市林野火災（令和 7 年）活動状況



大崎地域広域行政事務組合消防情勢の推移

令和7年4月1日現在

区分 年	人口	世帯数	消防職員		火災件数 (1～12月)	救急出動件数 (1～12月)
			定数	実員		
昭和45	219,598	48,081	186	125	76	336
46	217,880	48,759	186	154	126	378
47	216,507	49,280	186	186	111	655
48	214,880	49,790	214	211	119	1,007
49	215,464	50,472	217	214	108	1,472
50	216,349	51,115	222	220	104	1,695
51	217,525	51,787	222	219	119	1,880
52	218,880	52,674	228	226	101	1,905
53	219,884	53,462	228	222	109	2,101
54	221,097	53,963	228	228	122	2,210
55	219,603	54,482	228	226	86	2,474
56	221,414	54,252	233	231	91	2,507
57	222,930	55,192	238	236	87	2,747
58	223,686	55,539	242	242	101	2,995
59	223,973	55,925	242	240	101	2,906
60	224,954	56,476	242	238	94	3,174
61	225,434	57,134	252	243	101	3,331
62	225,556	57,348	252	246	103	3,472
63	225,578	57,680	252	248	99	3,517
平成元	225,567	58,185	252	243	78	3,766
2	225,285	58,731	252	242	87	3,958
3	225,114	59,140	252	239	97	4,002
4	225,225	59,733	252	243	105	4,070
5	225,490	60,480	252	251	103	4,241
6	226,104	61,167	260	260	105	4,575
7	225,813	61,167	300	268	99	4,784
8	225,606	62,754	300	276	86	5,172
9	225,424	63,565	300	284	132	5,202
10	225,532	64,795	300	291	117	5,757
11	225,588	65,632	300	297	129	6,174
12	225,054	66,296	300	299	78	6,567
13	224,134	66,736	300	298	148	6,572
14	223,234	67,177	338	303	138	6,816
15	222,594	68,067	338	308	156	7,253
16	221,420	68,268	338	312	152	7,789
17	220,499	68,758	338	317	128	8,142
18	219,422	69,245	338	321	86	7,918
19	218,267	69,890	338	320	124	7,910
20	214,085	70,384	338	312	132	7,807
21	212,187	70,669	338	310	114	7,807
22	213,998	71,447	338	307	99	8,251
23	212,773	71,821	338	314	110	9,180
24	212,509	72,699	338	315	88	9,087
25	211,325	73,480	338	310(1)	96	9,125
26	210,347	74,323	338	312(2)	83	9,157
27	208,511	74,902	338	308(6)	74	9,458
28	207,122	75,485	338	315(4)	85	9,352
29	205,597	76,108	338	317(6)	66	9,508
30	203,483	76,533	338	317(3)	70	9,288
令和元	200,947	76,642	338	316(4)	51	9,470
2	198,379	77,056	338	321(5)	58	8,422
3	197,208	77,667	338	323(6)	49	9,128
4	193,535	77,930	338	329(9)	58	9,921
5	190,999	78,475	338	326(7)	51	10,151
6	188,052	78,676	338	326(8)	49	10,050
7	184,935	78,725	338	324(7)		

※ 消防職員実員の（ ）書きは、再任用職員の内数

大崎消防のあゆみと主な災害等

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和45	4	・大崎1市12町1村で大崎地区消防事務組合を発足, 1本部2署1派出所人員92名にて消防業務開始 ・初代消防長に古川市長 森谷菊治郎氏就任（事務取扱） ・政令指定	5	・鳴子町字焼石亦林野火災 焼損面積3ha	4	・大阪市地下鉄工事現場ガス爆発火災 死者74名, 負傷者411名
	11	・栗原地区消防と消防相互応援協定締結				
46	1	・古川消防署涌谷分署庁舎開設ポンプ車配置 ・古川消防署鹿島台, 岩出山, 中新田, 小牛田各分署及び小野田出張所庁舎開設し普通消防ポンプ車各1台配置	1	・古川市寿司店火災 死者4名	1	・呉市林野火災 死者17名（消防職員） 負傷者1名 焼損面積340ha
	7	・第2代消防長に千田清志氏就任	4	・色麻町四釜, 大東電子産業(株)火災		
	10	・古川消防署小牛田分署に普通消防ポンプ車1台増強	5	・岩出山町南沢林野火災 焼損面積3ha	7	・雫石事故（全日空機と自衛隊機が岩手県雫石町上空で接触墜落） 死者162名
	12	・古川消防署岩出山, 鹿島台, 中新田, 涌谷の各分署に水槽付消防ポンプ車各1台を配置				
47	3	・古川消防署にスノーケル車1台配置				
	4	・古川消防署鹿島台, 岩出山, 涌谷各分署及び小野田出張所に消防吏員待機宿舎完成 ・古川消防署岩出山, 涌谷各分署に救急車各1台配置	5	・岩出山町南沢林野火災 焼損面積2.5ha	5	・大阪市千日デパートビル火災 死者118名, 負傷者81名
	8	・第3代消防長に佐藤真夫氏就任	12	・小野田町漆沢ダム工事現場作業員宿舎火災 死者1名	8	・北九州市済生会八幡病院火災 死者13名, 負傷者3名 焼損面積888㎡

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和48	2	・石巻広域、気仙沼本吉広域、塩釜地区、登米地区各消防と消防相互応援協定締結	2	・松山町次橋山王大火災 焼損棟数12棟 焼損面積945㎡		
	3	・古川消防署田尻出張所庁舎開設し普通消防ポンプ車1台配置 ・古川消防署中新田分署に救急車1台配置（日本自動車工業会より寄贈） ・古川消防署小牛田分署に消防吏員待機宿舎完成 ・大崎地域広域行政事務組合に統合するため大崎地区消防事務組合を解散 ・大崎地域広域行政事務組合に統合、定数条例214名 ・黒川地区消防と消防相互応援協定締結 ・古川消防署小牛田分署に救急車1台配置 ・機構改革により中新田分署、涌谷分署が署に昇格し、1本部4署3分署2出張所1派出所となる。 ・鳴子消防署に救急車1台配置（宮城県共済農業協同組合連合会より寄贈） ・古川消防署鹿島台分署に救急車1台配置（日本消防協会より寄贈）			7	・出光石油化学徳山工場爆発火災 死者1名
			8	・岩出山町池月林野火災 焼損面積2ha	9	・熊本大洋デパート火災 死者103名、負傷者121名 焼損面積13,637㎡
	49	3				
		4			4	・三菱石油水島製油所重油流失事故
					5	・1974年伊豆半島沖地震（M6.9） 死者30名 家屋全壊134棟
			12	・鳴子町字星沼、旅館仙庄館火災 焼損面積780㎡	8	・東京丸の内三菱重工業ビルで時限爆弾爆発（企業連続爆破事件） 死者8名、重軽傷228名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和50	2	・古川消防署に救急車1台増強（日本損害保険協会より寄贈）			2	・四日市大協石油製油所タンク火災
	3	・古川消防署松山機関員派出所，涌谷消防署の南郷機関員派出所の各庁舎開設し，普通消防ポンプ車各1台配置				
	4	・最上広域消防と消防相互応援協定締結 ・定数条例222名に改定	4	・岩出山町南沢畜舎火災 焼損面積624㎡	4	・大分県中部地震（M6.4） 負傷者22名 家屋全壊77棟
	7	・古川消防署に作業車配置				
	9	・古川消防署の普通消防ポンプ自動車1台更新（日本損害保険協会より寄贈）	8	・古川市協和中学校火災 焼損面積963㎡		
	10	・鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車更新	12	・色麻町色麻中学校火災 焼損面積1,909㎡		
51	2	・中新田消防署色麻機関員派出所庁舎開設し，普通消防ポンプ車1台配置	4	・古川市中里アパート火災 焼損面積446㎡ ・古川市佐々木製縄火災 焼損面積700㎡		
	6	・消防本部付にて特別救助隊発足（隊員7名）	7	・小野田町味噌袋畜舎火災 焼損面積853㎡		
	9	・第4代消防長に小金勝一氏就任			10	・酒田市大火 死者1名 負傷者1,003名 焼損棟数1,774棟，焼損面積152,105㎡
	11	・鳴子消防署に梯子車（15m級）1台配置				
	12	・黒川地区消防と東北高速自動車国道の救急業務相互応援協定締結 ・東北高速自動車国道（古川IC～大和IC間上り線）救急業務開始			12	・沼津市雑居ビル火災 死者15名，負傷者8名 ・東北自動車道 泉～古川間開通
52	1	・古川消防署の救急車更新（日本自動車工業会より寄贈）	1	・涌谷町住宅火災 焼損棟数5棟 焼損面積581㎡		

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和52	3	・消防救急指令装置(C型)設置	4	・古川市山崎製畳工場火災 焼損面積852㎡	3	・北九州市林野火災 死者5名(消防職員)
	4	・定数条例228名に改定			5	・岩国市岩国病院火災 死者7名, 負傷者5名
	8	・古川消防署の普通消防ポンプ車更新			8	・北海道有珠山噴火
	10	・古川消防署に化学車(Ⅱ型)1台配置 ・涌谷消防署小牛田分署に水槽付消防ポンプ車を配置, 既設の普通消防ポンプ車を古川消防署に移管				
	11	・栗原広域消防と東北高速自動車国道の救急業務相互応援協定締結				
	12	・東北高速自動車国道(古川IC～築館IC間下り線)救急業務開始				
53	1	・消防通信指令室に気象観測装置(自記温湿・風向・風速・雨量・気圧)を設置	5	・涌谷町上郡畜舎火災 焼損面積728㎡	1	・1978年伊豆大島近海地震(M7.0) 死者25名
	3	・鳴子町上野々に無線不感地帯解消のための無線塔を設置 ・消防本部通信指令室に地図検索装置を設置 ・鳴子消防署の普通消防ポンプ車更新			6	・1978年宮城県沖地震(M7.4) 死者28名 負傷者11,028名 家屋全壊1,383棟 仙台市の屋外タンクから68,160ℓの油流出
	8	・古川消防署荒谷機関員派出所の普通消防ポンプ車更新				
54	3	・鳴子消防署の救急車更新 ・涌谷消防署の救急車更新(日本損害保険協会より寄贈) ・古川消防署に救急予備車を配置(鳴子消防署より移管)	2	・古川市福沼字長瀬, 青沼醸造(株)火災 焼損面積3,446㎡	3	・上越新幹線大清水トンネル火災 死者16名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和54	5	・消防本部・古川消防署庁舎完成				
	7	・消防本部救助訓練塔完成 ・消防音楽隊発足（隊員27名）	10	・中新田町菜切谷グリコ仙台アイスクリーム(株)火災 焼損面積3,446㎡	7	・東名高速道路日本坂トンネル内車両火災 死者7名，負傷者2名 焼損車両189台
	11	・消防本部に救助工作車1台配置	12	・古川市上古川屋敷住宅火災 死者5名，焼損面積158㎡		
	55	3	・涌谷町麓岳に無線不感地帯解消のための無線塔を設置	5	・宮崎町宮崎店舗住宅火災 負傷者4名 焼損面積335㎡	
	6	・鳴子消防署に作業車配置（古川消防署より移管）				
	8	・古川消防署，鳴子消防署岩出山分署の救急車更新 ・中新田消防署，涌谷消防署の普通消防ポンプ車更新			8	・富士山落石事故 死者12名，負傷者31名 ・静岡駅前ゴールドデン街ガス爆発火災 死者14名，負傷者223名 焼損面積1,732㎡
	10	・古川消防署の水槽付消防ポンプ車を小型動力消防ポンプ付大型水槽車（10t）に更新			11	・栃木県川治プリンスホテル火災 死者45名，負傷者22名
	56	3	・涌谷消防署小牛田分署の救急車更新（日本自動車工業会より寄贈）		1	・川崎市タンカー火災 死者3名，負傷者3名
	4	・定数条例233名に改定			5	・東京上野「アメ横」火災 焼損棟数52棟
	9	・鳴子消防署岩出山分署の普通消防ポンプ車更新 ・中新田消防署小野田出張所の普通消防ポンプ車更新	11	・小牛田町中塚作業所火災 焼損面積1,955㎡	8	・台風第15号東北縦断
57	3	・古川消防署鹿島台分署の救急車更新，既存の救急車を予備車として古川消防署に移管			10	・北炭夕張炭鉱ガス突出事故 死者93名
					2	・東京都千代田区ホテルニュージャパン火災 死者32名，負傷者34名 焼損面積4,186㎡ ・山形市蔵王温泉観光ホテル火災 死者11名，負傷者2名 焼失面積3,581㎡

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和57	4	・定数条例238名に改定 ・第5代消防長に大澤邦臣氏就任	4	・鳴子町湯元鳴子ホテル源泉噴出事故 負傷者7名	4	・東北地方を中心とした林野火災 負傷者8名 焼損棟数290棟 焼損面積4,725㎡
	7	・涌谷消防署小牛田分署の普通消防ポンプ車更新				
58	8	・中新田消防署に圧縮空気製造用高圧コンプレッサー設置	11	・鳴子町名生定字竹原ドライブイン火災 焼損面積657㎡		
	3	・古川消防署の救急車更新				
59	4	・定数条例242名に改定	4	・宮崎町谷地森字赤沼住宅火災 死者3名、焼損面積723㎡	5	・昭和58年日本海中部地震(M7.7) 死者104名 家屋全壊1,584棟
			6	・岩出山町字下川原墨田工業(株)工場火災、焼損棟数2棟、焼損面積671㎡	10	・三宅島噴火 建物損壊400棟
60					11	・掛川市ヤマハレクリエーション「つま恋」プロパンガス爆発事故 死者14名
	3	・消防本部に宮城県事業として、防災行政無線装置を設置 ・中新田消防署の水槽付消防ポンプ車更新 ・鳴子消防署の救急車更新 既存の救急車を予備車として古川消防署に移管	5	・小野田町字上野目西小野田中学校火災 焼損面積1,996㎡	1	・福岡県高田町三井三池有明鉱坑内火災 死者83名、負傷者16名
60	11	・涌谷消防署の水槽付消防ポンプ車更新 ・古川消防署鹿島台分署の普通消防ポンプ車更新	8	・鳴子町名生定字水沼しんこう牧場火災 焼損面積564㎡	11	・東京都世田谷区で電話地下ケーブル火災
	1	・第6代消防長に組合助役内田綱雄氏就任（事務取扱）				
	2	・消防本部に宮城県事業として、防災無線端末局用ファクシミリ装置を設置	2	・岩出山町字下一栗一本杉畜舎火災 焼損面積703㎡	2	・新潟県青梅町土砂崩れ 死者10名、負傷者4名 建物損壊7棟

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
昭和60	3	・消防本部通信指令室に消防救急指令装置（C型）1台増設 ・消防本部通信指令室に地図検索装置（F100C）を設置 ・古川消防署鹿島台分署，鳴子消防署岩出山分署，涌谷消防署小牛田分署，同田尻出張所，中新田消防署小野田出張所電話転送装置を設置 ・消防本部通信指令室に119番集中管理用無線指令起動装置を設置 ・涌谷消防署の救急車更新 ・古川消防署荒谷機関員派出所を廃止し，同所の普通消防ポンプ車を予備車として古川消防署に移管	3	・涌谷町字三十軒屋敷住宅火災 焼損棟数3棟 焼損面積592㎡	5	・東京都目黒区柿の木板タンクローリー火災
	6	・119番集中管理運用開始	6	・中新田町四日市場字屋敷作業所火災 焼損棟数6棟 焼損面積716㎡	7	・長野市地附山地滑り 死者26名
	9	・鳴子消防署岩出山分署の水槽付消防ポンプ車更新（日本損害保険協会より寄贈）			8	・日航ジャンボ機墜落事故（群馬県上野村） 死者520名，負傷者4名
	11	・中新田消防署庁舎増改築工事竣工			9	・メキシコ大地震 死者数千人以上
	12	・中新田消防署の救急車更新（日本損害保険協会より寄贈）			11	・南米コロンビア火山大噴火 死者2万人以上
61	2	・消防本部に鳴子ダム放流伝達用ファクシミリ装置を設置			12	・豪雪（61年3月まで） 死者90名 負傷者678名
	4	・定数条例252名に改定			2	・静岡県熱川温泉大東館火災 死者24名 焼損面積1,461㎡
					7	・神戸市 陽気寮火災 死者8名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
昭和61	9	・古川消防署鹿島台分署の水槽付消防ポンプ車更新	8	・台風第10号により鹿島台町の吉田川決壊，全町の約50％にあたる2,670haが冠水 死者1名 家屋冠水969棟，1,415世帯に避難勧告	8	・台風第10号 死者20名，負傷者107名	
					11	・伊豆大島噴火	
	62	3	・鳴子消防署岩出山分署の救急車更新（宮城県共済農協連合会より寄贈） ・古川消防署の救急車更新 ・涌谷消防署田尻出張所の普通消防ポンプ車の更新			3	・名取市東北自動車道多重衝突事故 死者1名，焼損車両13台
						5	・東電大井火力発電所爆発火災 死者4名
63					6	・東村山市特別養護老人ホーム松寿園火災 死者17名，負傷者25名 焼損面積450㎡	
					1	・鳴子町名生定住宅火災 死者1名 焼損133㎡	
	3	・中新田消防署色麻派出所の普通消防ポンプ車更新 ・涌谷町簗岳無線通信所の制御器を消防本部指令室に移設 ・古川消防署三本木派出所松山派出所，中新田消防署宮崎派出所，色麻派出所，涌谷消防署南郷派出所に無線起動装置を設置	3	・鳴子町大口旅館・住宅火災 死者1名 焼損棟数4棟 焼損面積844㎡			
							4
平成元	4	・第8代消防長に高橋仁一氏就任	4	・宮崎町孫沢，住宅火災4棟全半焼 ・色麻町平沢，住宅火災3棟全半焼	7	・海上自衛隊潜水艦「なだしお」と釣り船「第1富士丸」衝突	
					12	・ソ連アルメニア共和国大地震 死者10万人	
	8	・消防本部通信指令室に救急医療情報検索端末装置を設置			6	・伊豆群発地震	
					7	・伊豆半島東方河海底入火山噴火 ・台風第11，12，13号及び熱帯低気圧による災害	
					8	・東京都江東区28階建高層マンション24階から出火	

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成元	11	・古川消防署三本木派出所の普通消防ポンプ車更新（消防施設補助整備事業等） ・中新田消防署宮崎派出所の普通消防ポンプ車（4WD）更新				
2	1	・古川消防署の救急車（4WD）更新（山之内製薬株式会社より寄贈）	11	・鹿島台町大迫川決壊床下浸水51棟	3	・尼崎市長崎屋火災 死者15名，負傷者6名
3			2	・岩出山町一栗中学校火災 体育館747㎡全焼	2	・関西電力美浜原発2号機で冷却水漏れ事故
	3	・鳴子消防署庁舎新築工事竣工 ・鳴子消防署敷地内の消防訓練塔建築工事竣工（主塔は消防施設補助整備事業）	5	・涌谷町砂田，住宅火災6棟全半焼	3	・雲仙普賢岳噴火による火砕流災害，死者41名
	6	・消防本部の防火広報車更新（日本防火協会より寄贈）				
	8	・大崎地域広域行政事務組合創立20周年記念式典挙行				
	10	・涌谷消防署南郷派出所の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）				
4	2	・涌谷消防署小牛田分署の救急車更新（日本損害保険協会より寄贈） ・古川消防署鹿島台分署の救急車更新（宮城県共済農業協同組合連合会より寄贈）	2	・東北自動車道玉突き事故（古川市塚目地内） 死者2名，負傷者27名		
	4	・第9代消防長に早坂千早氏就任 ・宮城県広域消防相互応援協定締結				

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成4	9	- 古川消防署，古川消防署松山派出所の普通消防ポンプ車更新，既存の同派出所の普通消防ポンプ車を予備車として古川消防署に移管 - 消防本部通信指令室に宮城県総合防災情報システム端末設備を設置 - 鳴子消防署の救急車更新 既存の救急車を予備車として古川消防署に移管	9	鳴子町鳴子ホテル火災 551㎡部分焼 宿泊客325名無事避難		
	10	第10代消防長に矢戸武氏 就任	10	田尻町田尻，住宅火災9棟全半焼		
			12	小牛田町化粧坂，住宅火災3棟全半焼		
	4	第11代消防長に組合助役 青沼宏明氏就任（事務取扱）	6	J R 東北本線鹿島台野蒜踏切列車事故(救助救急出動) 死者3名	1	北海道釧路沖地震(M7.8) 死者2名 家屋全壊53棟
			8	岩出山町大学町，作業所火災2棟全半焼	7	北海道南西沖地震(M7.8) 死者行方不明230名 家屋全壊601棟
	10	救急医療情報検索端末装置更新			8	平成5年8月豪雨災害
	11	- 古川消防署のスノーケル車を梯子車(35M)に更新（消防防災設備補助事業） - 初の救急救命士誕生			9	台風第13号による災害
	12	古川消防署の救急車を高規格救急車に更新，既存救急車を予備車として古川消防署に移管				
	6	定数条例260名に改定	9	台風第26号増水による涌谷町三軒屋敷地内江合川決壊警戒出動	12	- 三陸はるか沖地震(M7.5) 死者3名，家屋全壊72棟 - 福島県若喜旅館火災 死者5名，負傷者3名
	12	- 鳴子消防署の普通消防ポンプ車更新 - 鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車更新				

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成7	2	・ 涌谷消防署の救急車更新 （宮城県共済農協連合会より寄贈） ・ 中新田消防署の救急車更新			1	・ 阪神淡路大震災 死者6,430名，負傷者43,782名，火災285件，全半焼7,071棟，避難者31万人，住家全壊104,900棟，半壊144,255棟
	4	・ 本署5救急隊専任化に伴い40名増員，定数条例300名に改定	5	・ 涌谷町吉住，住宅火災4棟全半焼 ・ 古川市七日町，店舗併用住宅火災 焼損面積270㎡全焼	3	・ 東京都心地下鉄サリン事件
	7	・ 鳴子消防署，涌谷消防署の査察車更新	6	・ 涌谷町箕岳観光会館ホテル火災（宿泊客15名無事避難） 焼損面積・延1,424㎡の内320㎡部分焼		
	8	・ 消防本部の司令車更新	8	・ 宮崎町木船，住宅火災3棟全半焼		
	9	・ 緊急消防援助隊編成で救助部隊1隊登録，消火部隊2隊登録 ・ 古川消防署の指揮車更新（日本消防協会より寄贈）				
	10	・ 中新田消防署救急隊専任化				
	12	・ 古川消防署の化学消防ポンプ車更新				
	8	1	・ 防災倉庫竣工（救急消毒室併設） ・ 涌谷消防署小牛田分署の水槽付消防ポンプ車更新		2	・ 北海道豊浜トンネル落盤事故 死者20名
	3	・ 古川消防署の連絡車更新 ・ 古川消防署の救助工作車（Ⅱ型）をⅢ型に更新，Ⅱ型を鳴子消防署へ配置換え				
	4	・ 財務会計システム運用開始	5	・ 三本木町蒜袋，住宅等火災6棟全焼		
			6	・ 岩出山町下山里，住宅火災3棟全半焼	6	・ 福岡空港ガルーダインドネシア航空機の離陸失敗炎上 死者3名，負傷者109名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等	
平成8	7	・湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部と消防相互応援協定締結					
	8	・鳴子消防署の指揮車更新 ・中新田消防署小野田出張所の指揮車更新	8	・宮城県北部（鳴子町鬼首地区）地震 負傷者4名 家屋半壊28世帯186名家屋一部破損168世帯689名，路面の亀裂陥没，路肩崩壊・橋脚の亀裂等			
	10	・涌谷消防署救急隊専任化 ・涌谷消防署の普通消防ポンプ車更新（日本損害保険協会より寄贈）既存の普通消防ポンプ車を予備車として古川消防署に移管	12	・中新田町下新田，住宅火災4棟全半焼，傷者1名			
	9	2	・中新田消防署配置の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業） ・中新田消防署の救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業）既存の救急車を古川消防署（第2救急車）へ移管，古川第2救急車を予備車に配置換え		1	・ロシア船籍タンカーナホトカ号の座礁，大量の重油流出による日本海沿岸8府県に及ぶ広域海洋汚染	
	3	・消防本部庁舎構内に電話交換機更新（NTT，EP-17型）	4	・田尻町大貫，住宅等火災5棟全焼	3	・動燃東海事業所施設内で爆発事故 被爆者数37名	
	8	・古川消防署鹿島台分署の指揮車更新	6	・鹿島台町鶴田川，広長川大雨による堤防決壊2カ所，幹線道路欠損2カ所	6	・臓器移植法成立	
			9	・鳴子町尿前地内登山遭難，傷者1名（県防災ヘリ出動）			
	10	・中新田消防署小野田出張所の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）	10	・小野田町漆沢，登山遭難，傷者2名（県防災ヘリ出動）			
		12	・鳴子消防署岩出山分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）	12	・小牛田町建物火災 死者2名 焼損面積201㎡ 3棟		
	10	3	・自動車，携帯電話からの119番受付業務を代表消防本部として開始(大崎，黒川，栗原ブロック)	4	・古川市きのこ工場工事現場火災 焼損面積13,225㎡ 死者1名，負傷者16名		

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成10	7	・ 鳴子消防署岩出山分署の指揮車更新 ・ 消防本部に資機材搬送車を整備	8	・ 鳴子町国立鳴子病院火災 死傷者13名		
			10	・ 古川市南町保育所火災 焼損面積310㎡		
11	2	・ 鳴子消防署岩出山分署の救急車更新（宮城県共済農協連合会より寄贈）			2	・ 臓器移植法施行以来，初の脳死移植実施。
	3	・ 涌谷消防署の救急車を高規格救急車に更新（山之内製薬㈱より寄贈）	3	・ 中新田町ソニー㈱中新田工場火災 焼損面積3,034㎡ 損害額36億4,100万円		
	4	・ 第12代消防長に組合助役千葉賢氏就任(事務取扱)	7	・ 鹿島台町鶴田川決壊下志田地区一帯冠水300世帯に避難勧告	6	・ 古川市立病院において国内3例目の脳死判定が行われ，古川消防署救急隊により市内師山ヘリポートへ臓器の緊急搬送を実施。
					8	・ トルコ北西部地震（M7.8） （緊急消防援助隊派遣） 死者1,700人，負傷者24,900人，家屋被害180,300棟
	11	・ 鳴子消防署の救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業） ・ 涌谷消防署小牛田分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）			9	・ 台湾中部地震（M7.7）（緊急消防援助隊派遣）死者2,400人，負傷者11,000人，家屋被害82,400棟 ・ 茨城県東海村核燃料加工会社 JCO東海事業所で，日本初の臨界事故発生，社員80名以上が被爆
12					3	・ 営団地下鉄日比谷線で通勤電車が脱線，上り電車と衝突 死傷者69名 ・ 北海道有珠山が23年ぶりに噴火，その後三宅島の雄山等も噴火，全国的に火山活動が活発化
			10	・ 中新田町南町地内7棟全半焼火災 焼損面積613㎡	9	・ 東海を中心に猛烈な豪雨，名古屋全域で3方棟超浸水（105名の死傷者）
	11	・ 古川消防署鹿島台分署の普通消防ポンプ車更新（消防防災設備補助事業）	12	・ 東北自動車道玉突き事故（三本木町伊賀地内） 傷者21名，破損車両64台		

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成13	3	・古川消防署高規格救急車更新（消防防災設備補助事業） ・古川消防署2B型救急車を高規格救急車に更新（消防防災設備補助事業）				
	4	・消防緊急通信指令システム整備（消防防災整備補助事業）				
	7	・鳴子消防署梯子車更新（消防防災整備補助事業）			7	・兵庫県明石市大蔵海岸朝霧歩道橋付近で将棋倒し事故 死傷者139名
	8	・小野田出張所2B型救急車配備（宮城県共済農業協同組合連合会寄贈）			9	・東京都新宿区歌舞伎町の雑居ビル「明星56ビル」火災 死者44名
	12	・中新田消防署災害対応特殊水槽付消防ポンプ車（消防防災整備補助事業）				
	14	4	・職員定数条例改正（338人）		3	・宮城県延岡市の旭化成工場で火災 3,698世帯9,407名に避難勧告
	9	・田尻・三本木出張所へ2B型救急車配置	10	・小牛田町字桜木町で7棟を焼損する火災 焼失延面積447.77㎡	10	・三菱重工長崎造船所内で艤装工事中に豪華客船ダイヤモンドプリンセス号火災 総トン数113,000t
	11	・三本木防災センターに併設した三本木出張所開所 ・涌谷消防署災害対応特殊水槽付ポンプ車（消防防災整備補助事業）				
	15	3	・安田生命保険相互会社より寄贈された高規格救急車を小牛田分署に配置	3	・小牛田町北浦で金庫室に閉じ込められた2名の学生をダイヤモンドチェンソー等を活用し、107分後に救出	
	4	・旧中新田町、旧宮崎町、旧小野田町が合併し、加美町が誕生した。 1市11町の構成市町となる。 ・小牛田、鹿島台分署へ救急救命士を配置	5	・宮城県沖を震源とする地震（5/26 18:24）発生 マグニチュード7.1震度6弱 大崎管内火災1件（東北電力(株)宮城変電所変圧器火災）	6	・兵庫県神戸市西区伊川谷町で発生した建物火災で消防職員13名が死傷
	7	・鹿島台分署の2B型救急車を更新（宮城県補助整備事業）	7	・宮城県北部連続地震発生 1回目（7/26 0:13） マグニチュード5.6震度5強 2回目（7/26 7:13） マグニチュード6.4震度6強 3回目（7/26 16:56）		

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成15	8	・三本木出張所へ連絡車を配置	7	マグニチュード5.5震度5強 〈7/26の地震による災害〉 大崎管内 罹災世帯数2,979, 罹災人員 8,883名, 全壊102棟, 半壊 348棟, 一部破損2,548棟 火災2件 (その他電柱1・ぼ や建物収容物1) 救急15件 その他災害24件	8	・三重県桑名郡多度町の三重 ごみ固形燃料発電所でR D F貯蔵層から火災発生45日 間に及ぶ消火活動消防職員 2名死亡
	10	・岩出山分署災害対応特殊 水槽付ポンプ車(消防防 災整備補助事業)			9	・栃木県黒磯市ブリヂストン 栃木工場で火災発生 40,885㎡のバンパリー工場1棟 全焼, 工場付近7地区1,708 世帯・5,032名に避難指示
	16	3・大崎地域メディカルコン トロール協議会設立				・十勝沖地震発生(9/26) マグニチュード8.0震度6弱 負傷者849名 火災4件のうち苫小牧市の 出光興産で屋外タンク貯蔵 所から火災発生
		4・初の女性消防士採用 ・岩出山分署へ救急救命士 を配置	4	・加美町宮崎で4棟全焼火災発 生 焼損面積678.8㎡ 第3出動15台(強風時) 放水台数5, 放水口9	10	・新潟県中越地方を震源とす る地震(10/23) マグニチュード6.8震度6強 死傷者1,239名 住宅損壊2,839棟, 火災11件
17		10・岩出山分署の2B型救急 車を更新(宮城県補助整 備事業)			12	・インド洋スマトラ沖大地 震(12/26) マグニチュード9
	3	・消防LAN構築・ホームページ 開設 http://oosakifire119.jp/ ・鳴子消防署の救助工作車 を廃車し, 更新する消防 ポンプ車へ救助資機材を 搭載し救助ポンプ車とて 運用開始(宮城県補助整 備事業)			3	・福島県西方沖を震源とする 地震(3/20) マグニチュード7震度5弱 死傷者119名 住宅損壊121棟
	4	・大崎地域広域行政事務組 合, 大崎中央環境組合, 大崎東部環境衛生事務組 合, 六の国環境衛生組合 の4組合, 更に古川市・松 山町・涌谷町の各斎場が 統合し, 大崎地域広域行 政事務組合としてスター トする。 ・組合統合後, 初代消防長 に工藤司氏就任 ・各消防署の指揮体制を強 化, 指揮隊の配置	5	・古川市北宮沢地内にて建物 及び山林の火災 山林1ha焼失(県防災ヘリ出 動) ・加美町字鹿原白沼地内, 山 菜取遭難 死者1名(県防災ヘリ出動)	4	・兵庫県尼崎市JR福知山線 列車事故 死者107名, 負傷者549名
			8	・宮城県沖を震源とする地震 (8/16) マグニチュード7.2震度6弱	10	・パキスタン北部で地震発生 (10/8) マグニチュード7.6

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成17					12	・山形県庄内町JR羽越線 脱線事故(12/25) 死者5名, 負傷者32名
18	1	・旧小牛田町, 旧南郷町が 合併し美里町が誕生した 1市10町の構成市町とな る。			1	・長崎県大村市グループホー ムやすらぎの里で火災発生 死者7名, 負傷者3名
	2	・古川消防署大型水槽車更 新(宮城県補助整備事業) ・消防隊と救急隊の連携に よる活動開始 (PA連携出 動)				
	3	・旧古川市, 旧松山町, 旧 三本木町, 旧鹿島台町, 旧岩出山町, 旧鳴子町, 旧田尻町が合併し, 大崎 市が誕生した。1市4町の 構成市町となる。 ・大崎市誕生に伴い涌谷消 防署田尻出張所を古川消 防署田尻出張所に再編				
	4	・3交替制の勤務体制の試 行	5	・色麻町大新焼切地内山林に て林野火災 約56a焼失 (県防災ヘリ出動)	5	・インドネシア・ジャワ島中 部地震及び津波発生 死者6, 200名以上 負傷者1, 800名以上
	7	・消防本部司令車を更新			6	・梅雨前線豪雨 死者30名, 行方不明2名 負傷者81名, 住家全半壊 1, 558棟
	9	・総務省消防庁消防広域化 推進アドバイザーに消防 長工藤司氏が就任(全国9 名)			9	・台風第13号と豪雨による被 害 死者9名, 行方不明1名 住家全半壊448棟
					11	・北海道佐呂間町にて竜巻発 生 死者9名, 負傷者29名 住家全半壊14棟
19	2	・古川消防署鹿島台分署の 水槽付消防ポンプ車を小 型動力ポンプ付水槽車に 更新			1	・北海道北見市にてガス漏れ 事故発生 3名死亡, 付近住民77世帯 178名に避難勧告 ・兵庫県宝塚市でカラオケボ ックス火災 死者3名, 負傷者5名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成19	3	・救急普及啓発広報車配備 (財団法人救急振興財団・ 財団法人日本宝くじ協会 寄贈) ・中新田消防署高規格救急 車更新 (国庫補助事業)	3	・大崎市鳴子で4棟を焼損する 火災が発生 焼失面積1,520.79㎡	3	・能登半島地震発生 マグニチュード6.9震度6強 死者1名 負傷者193名 住家全壊68棟 住家半壊164棟
	4	・指揮体制の効率的運用の ため、消防本部指令課及 び鳴子消防署に指揮隊を 再編	4	・大崎市田尻大沢地内山林に て林野火災 約40a焼失 (県防災ヘリ出動)		
	7	・中新田消防署・涌谷消防 署の指揮車を更新	6	・大崎市鳴子温泉鬼首地区に てパラグライダー墜落事故 防災ヘリにより吊り上げ救 出	7	・新潟県中越沖地震発生 マグニチュード6.8震度6強 死者15名 負傷者2,345名 住家全壊1,319棟 住家半壊4,764棟
	11	・涌谷消防署高規格救急車 更新 (国庫補助事業)	10	・加美町字鹿原地内にて山岳 遭難、防災ヘリによる救出		
			12	・加美町宮崎地区で4棟を焼損 する火災が発生 死者5名 焼損面積335.72㎡		
	20	1 ・中新田消防署の消防ポン プ車を救助ポンプ車に更 新 (市町村振興総合補助 事業)				
	4	・第2代消防長に野田正志 氏就任 ・3交替制の勤務体制の本 実施 ・機構改革に伴う組織の改 編を実施			6	・平成20年岩手・宮城内陸地 震発生 マグニチュード7.2震度6強 死者9名、行方不明者8名 負傷者180名 住家全壊・大規模半壊43棟 住家半壊112棟
	7	・古川消防署・涌谷消防署 の指揮車を更新	7	・(株)東北イノアック第二工 場火災 (建材製造課B棟) 焼損面積2,520.84㎡ 負傷者1名 損害額1億7,272万円	10	・大阪府大阪市浪速区で個室 ビデオ店火災 死者15名、負傷者1名
	21	1 ・鳴子消防署高規格救急車 更新 (施設整備事業) ・中新田消防署小野田出張 所の救急車を高規格救急 車へ更新 (防災基盤整備 事業)				
		2 ・涌谷消防署の消防ポンプ 車を救助ポンプ車に更新 (施設整備事業・市町村 振興総合補助事業)				

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成21	4	・ 第3代消防長に坂野裕悦氏就任			5	・ 新型インフルエンザ（A/H1N1）流行 5月に小規模な地域的流行を認めたのち、約3ヶ月の小康状態を経て、8月中旬より半年以上をかけて流行
	7	・ 中新田査察車を更新				
22	1	・ 三本木救急車及び田尻救急車を高規格救急車に更新（防災基盤整備事業）	6	・ 大崎市古川千手寺町地区で7棟を焼損する火災が発生 全焼4棟 焼損延面積285.93㎡ 部分焼・ぼや3棟 焼損表面積99.06㎡	3	・ 北海道札幌市北区でグループホーム火災 死者7名，負傷者2名
	7	・ 涌谷消防署，小牛田分署及び南郷派出所を統合し「遠田消防署」を開設（7/1）				
	12	・ 遠田査察車を更新 ・ 鹿島台救急車を高規格救急車に更新（日本損害保険協会より寄贈）	10	・ 大崎市鳴子温泉鬼首地区（鬼首地熱発電所）で火山性ガス噴出発生 死者1名		
23	1	・ 岩出山救急車を高規格救急車に更新（防災基盤整備事業） ・ 遠田消防署に10 t 水槽車を配備	3	・ 【東日本大震災】 平成23年（2011年） 東北地方太平洋沖地震発生（3/11 14:46） 〈大崎管内の状況〉 管内最大震度6強 死者6名 負傷者378名 住家全壊852棟，半壊3,647棟 ※大崎消防本部取りまとめ（平成23年12月26日現在）	3	・ 【東日本大震災】 平成23年（2011年） 東北地方太平洋沖地震発生（3/11 14:46） マグニチュード9 震度7 死者19,630名 行方不明者2,569名 負傷者6,230名 住家全壊121,781棟，半壊280,962棟，火災330件 ※消防庁災害対策本部取りまとめ（平成30年3月1日現在）
	4	・ 第4代消防長に角田正一氏就任 ・ 中新田消防署及び色麻派出所を統合し「加美消防署」を開設（4/26）				
	8	・ 田尻連絡車，古川査察車 鳴子査察車を更新			8	・ 静岡県浜松市天竜川で遊覧船転覆事故 死者5名，負傷者5名
	12	・ 古川救急1号車を更新（施設整備事業）				
24	4	・ 古川消防署鹿島台分署及び松山派出所を統合し「古川消防署志田分署」を開設（4/27）			5	・ 広島県福山市でホテル火災 死者7名，負傷者3名
					9	・ 兵庫県姫路市で製造所爆発火災 死者1名（消防吏員） 負傷者36名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成24	11	・古川救急2号車を更新（施設整備事業）			12	・山梨県中央自動車道笹子トンネル崩落事故 死者9名，負傷者2名
	25	2	・鳴子消防署岩出山分署新庁舎を開設（2/14） ・田尻ポンプ車を更新（施設整備事業・市町村振興総合補助事業） ・遠田連絡車，小野田連絡車を更新		2	・長崎県長崎市でグループホーム火災 死者5名，負傷者7名
		3	・遠田救急1号車を更新（JA共済連より寄贈） ・尾花沢市消防本部と消防相互応援協定締結			
		4	・第5代消防長に北舘善裕氏就任 ・消防救急デジタル無線システム及び高機能消防指令システム整備（平成23年度消防防災施設・設備災害復旧費補助事業）			
		7	・消防本部連絡車を更新		8	・京都府福知山市で花火大会火災 死者3名，負傷者56名
26		10	・古川連絡車，志田連絡車，岩出山連絡車を更新		10	・福岡県福岡市で整形外科火災 死者10名，負傷者5名
					12	・千葉県野田市で廃油再生工場爆発火災 死者2名，負傷者15名
	26	2	・加美消防署小野田出張所及び宮崎派出所を統合し「加美消防署西部分署」を開設（2/21） ・加美消防署西部分署に水槽付消防ポンプ車を新規配備（緊急防災・減災事業債及び市町村振興総合補助事業）		1	・三重県四日市市で工場爆発事故 死者5名，負傷者13名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成26			4	・加美町字下原地区で7棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積497㎡ 部分焼2棟 焼損表面積48㎡ ・加美町字北原地区で8棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積280㎡ 部分焼3棟 焼損表面積2㎡ ・大崎市田尻蕪栗地区で6棟を焼損する火災が発生 全焼5棟 焼損延面積652㎡ 部分焼1棟 焼損表面積64㎡	8	・8月豪雨による広島市の土砂災害 死者74名（内消防吏員1名） 負傷者69名
	12	・鳴子消防署の水槽付消防ポンプ車を更新（緊急防災・減災事業債）			9	・御嶽山噴火災害 死者57名，負傷者69名
27			1	・大崎市田尻北小牛田地区で6棟を焼損する火災が発生 全焼5棟，半焼1棟 焼損延面積649㎡	11	・長野県北部を震源とする地震 マグニチュード6.7 震度6弱 死者なし，負傷者46名 住家全壊50棟，半壊91棟
	2	・古川消防署田尻出張所を分署に格上げし「古川消防署田尻分署」を開設（2/17） ・古川消防署田尻分署に水槽付消防ポンプ車を新規配備（緊急防災・減災事業債）				
	4	・第6代消防長に大久保記一朗氏就任			5	・川崎市簡易宿泊所火災 死者10名，負傷者18名
	7	・田尻連絡車を緊急車登録車両に更新	9	・【平成27年9月関東・東北豪雨】〈大崎管内の状況〉 負傷者1名 床上・床下浸水784棟 救助事案16件 その他災害事案36件 合計249名救出	9	・平成27年9月関東・東北豪雨 平成27年9月9日から11日に 関東及び東北地方で発生した 豪雨災害 死者8名，負傷者80名
28	2	・古川化学消防ポンプ車を更新（施設整備事業）	2	・加美町宮崎で4棟を焼損する火災が発生 全焼2棟，部分焼2棟 焼損延面積578㎡	10	・広島市飲食店火災 死者3名，負傷者3名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成28					4	・平成28年熊本地震 マグニチュード7.3 震度7 死者267名 負傷者2,804名 住家全壊8,673棟 半壊34,726棟 火災15件 ※消防庁災害対策本部取り まとめ（平成30年4月13日現在）
	8	・緊急消防援助隊宮城県大隊として初めて出動（平成28年台風第10号 岩手県下閉伊郡岩泉町）	10	・東北自動車道3箇所同時発生玉突き事故（栗原市高清水地内、大崎消防管轄区域） 負傷者14名、破損車両15台	8	・平成28年台風第10号 東北地方の太平洋側に初めて上陸した台風。1時間に80mmの猛烈な大雨、最大瞬間風速37.7mの暴風により、岩泉町の高齢者福祉施設の入所者が濁流に巻き込まれるなど、死者23名、行方不明者4名、負傷者14名、住家全壊513棟、半壊2,280棟。
29	11	・加美消防署高規格救急自動車を更新（緊急防災・減災事業債） ・三本木出張所消防ポンプ自動車を更新（施設整備事業、市町村振興総合補助事業）			12	・新潟県 糸魚川市大規模火災 糸魚川駅北側に位置する中華料理店にて、大型こんろの消し忘れにより発生した火災が、強い南風により日本海方向に延焼し、負傷者17名、焼損棟数147棟。
	4	・三本木出張所の救急隊を専従化し消防体制を強化			2	・埼玉県三芳町倉庫火災 アスクルの大規模倉庫で発生した火災により、負傷者2名、焼損床面積45,000㎡、鎮火まで12日間を要した。
	11	・硬質ウレタンボートを古川消防署に配備（浜口ウレタン㈱及び㈱タガ・アートより寄贈）	9	・加美町字西田地区で6棟を焼損する火災が発生 全焼2棟、半焼2棟、部分焼1棟、ぼや1棟 死者1名 負傷者2名 焼損延面積213㎡ 焼損表面積34㎡	8	・秋田県横手市共同住宅火災 死者5名、負傷者10名
	12	・鳴子消防署高規格救急自動車を更新（緊急消防援助隊設備整備費補助金）	12	・大崎市岩出山で9棟を焼損する火災が発生 全焼3棟、部分焼5棟、ぼや1棟 焼損延べ面積263㎡	12	・大阪府豊中市共同住宅火災 死者5名、負傷者1名 ・さいたま市特殊浴場火災 死者4名、負傷者8名

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
平成30	3	・志田分署水槽付消防ポンプ自動車を更新（施設整備事業，市町村振興総合補助事業）	1	・大崎市鹿島台で3棟を焼損する火災が発生 全焼1棟，部分焼1棟，ぼや1棟 焼損延面積625㎡ 焼損表面積46㎡	1	・札幌市下宿火災 死者11名，負傷者3名
			5	・大崎市岩出山で11棟を焼損する火災が発生 全焼5棟，半焼1棟，部分焼4棟，ぼや1棟 焼損延面積635㎡ 焼損表面積46㎡	6	・大阪府北部を震源とする地震 マグニチュード6.1(暫定値) 震度6弱 死者6名，負傷者462名 住家被害57,348棟，火災7件 (平成31年2月12日13時現在)
					7	・平成30年7月豪雨 西日本を中心に全国的に広い範囲で長期間にわたる記録的大雨。 死者237名，行方不明者8名，負傷者466名，住宅全壊6,767棟，半壊11,248棟
					8	・群馬県消防防災ヘリコプター墜落事故 死者9名
			9	・緊急消防援助隊宮城県大隊として出動（平成30年北海道胆振東部地震 北海道勇払郡厚真町）	9	・平成30年北海道胆振東部地震 マグニチュード6.7 震度7 死者42名，負傷者762名 住宅全壊462棟 半壊1,570棟 (平成31年1月28日14時30分現在)
			10	・大崎市古川稲葉地区で放火と疑われる火災が多発		
			11	・涌谷町小塚地区で5棟を焼損する火災が発生 全焼3棟，半焼1棟 焼損延面積578㎡	12	・札幌市爆発火災 負傷者52名
平成31	3	・拠点機能形成車を総務省消防庁から無償貸与（4/1より運用開始）	3	・大崎市岩出山で大規模林野火災が発生 建物 全焼1棟 半焼1棟 部分焼1棟 林野 3.64ha		
			4	・第7代消防長に佐藤光弘氏就任 ・新大崎地域広域行政事務組合本庁舎を開設（4/1） ・機構改革に伴う組織の改編を実施 ・NET119緊急通報システム導入 ・多言語通訳導入（三者間通話）		

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
令和元					7	・京都市伏見区爆発火災 株式会社京都アニメーションで発生した火災により、死者36名、負傷者34名
	11	・遠田消防署高規格救急自動車（遠田救急2）を更新（緊急消防援助隊設備整備費補助金）	10	・令和元年東日本台風 〈大崎管内の状況〉 負傷者2名 床上・床下浸水243世帯 合計120名救出	10	・令和元年東日本台風 令和元年10月12日に上陸した台風第19号により関東・甲信・東北地方で大規模被害が発生 死者104名、行方不明者3名、負傷者384名 住家全壊 3,308棟 半壊 30,024棟 (令和2年4月10日9時現在) 宮城県広域消防相互応援派遣として大崎消防本部から延べ14隊48名出動
令和2	12	・西部分署高規格救急自動車を更新(施設整備事業)	12	・大崎市岩出山で5棟を焼損する火災発生 全焼3棟 部分焼2棟		
	2	・大崎消防本部新型コロナウイルス感染症対策本部設置			1	・新型コロナウイルス感染症 令和2年1月14日、国内で初の感染者発生 ・首里城跡火災 世界遺産 首里城の正殿を含む9棟が全焼
	3	・岩出山分署消防ポンプ自動車を更新（施設整備事業、市町村振興総合補助事業）	3	・新型コロナウイルス感染症 令和2年3月30日、大崎管内で初の感染者発生	2	・新型コロナウイルス感染症 令和2年2月29日、宮城県内で初の感染者発生
		・古川消防署救助工作車を更新（緊急防災・減災事業）			4	・岩沼市倉庫火災 プロロジスパーク岩沼1で火災が発生し鎮火まで6日を要した。(宮城県広域 消防相互応援派遣として 大崎消防本部から延べ5隊18名出動) 延床面積43,836㎡
	6	・鳴子消防署車庫を開設（緊急防災・減災事業）			7	・静岡県吉田町 大規模倉庫火災 消防職員3名殉職 ・福島県郡山市 爆発火災 死者1名、負傷者19名
令和3	10	・令和2年10月3日、令和2年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練が大崎市を会場に開催				
	12	・志田分署高規格救急自動車を更新(施設整備事業)	1	・東北自動車道多重衝突事故 (1/19 11:50頃) 関係車両141台 死者1名、負傷者18名 「東北自動車道宮城県相互応援協定」「宮城県広域消防相互応援協定」に基づく応援要請（10隊35名）		

年 号	月	大 崎 消 防 の あ ゆ み	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
令和3	3	・西部分署消防ポンプ自動車を更新（施設整備事業，市町村振興総合補助事業）			2	・福島県沖を震源とする地震（2/13 23:07） マグニチュード7.3 震度6強 死者1名 負傷者186名 住家全壊69棟，半壊729棟，火災2件 ※消防庁災害対策本部取りまとめ（令和3年3月29日現在）
	4	・古川消防署はしご車を更新（緊急防災・減災事業） ・第8代消防長に小山年秋氏就任				・令和2年12月愛知県名古屋市長古屋市 令和3年 1月東京都港区 令和3年 4月東京都新宿区 二酸化炭素消火設備の誤放出による事案が多発 死傷者18名
	7	・東京2020オリンピック競技大会宮城スタジアム開催消防特別警戒				
	12	・古川消防署及び田尻分署高規格救急自動車を更新（施設整備事業，市町村振興総合補助事業）			12	・大阪府大阪市北区ビル火災 死者28名
令和4	1	・加美消防署水槽付消防ポンプ自動車を更新（緊急防災・減災事業）	1	・ラサ工業（株）三本木工場製造所爆発火災 重傷者1名，軽傷者1名	2	・新潟県村上市 工場火災 死者6名，負傷者1名
	4	・第9代消防長に櫻井俊文氏就任			3	・福島県沖を震源とする地震（3/16 23:36） マグニチュード7.4 震度6強 死者4名，負傷者252名，住家全壊224棟，半壊4,630棟，火災11件 ※消防庁災害対策本部取りまとめ（令和5年3月24日現在）
	5	・令和4年度北上川下流及び江合川・鳴瀬川総合水防演習が大崎市を会場に開催	7	・7月14日からの大雨（大崎管内の状況） 半壊188棟 床上・床下浸水766棟		
令和5	12	・古川消防署及び遠田消防署高規格救急自動車を更新（施設整備事業，市町村振興総合補助事業）	1	・大崎市岩出山で5棟を焼損する火災発生 全焼5棟 部分焼6棟 死者1名 負傷者2名	1	・兵庫県神戸市 共同住宅火災 死者4名，負傷者4名
	3	・古川消防署消防ポンプ自動車を更新（施設整備事業，市町村振興総合補助事業）			5	・新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類へ移行。 国内の死者74,694名 国内感染者33,803,572名（令和5年5月9日現在）
	4	・志田分署消防ポンプ自動車を更新（施設整備事業，市町村振興総合補助事業）				
	5	・大崎消防本部新型コロナウイルス感染症対策本部廃止				

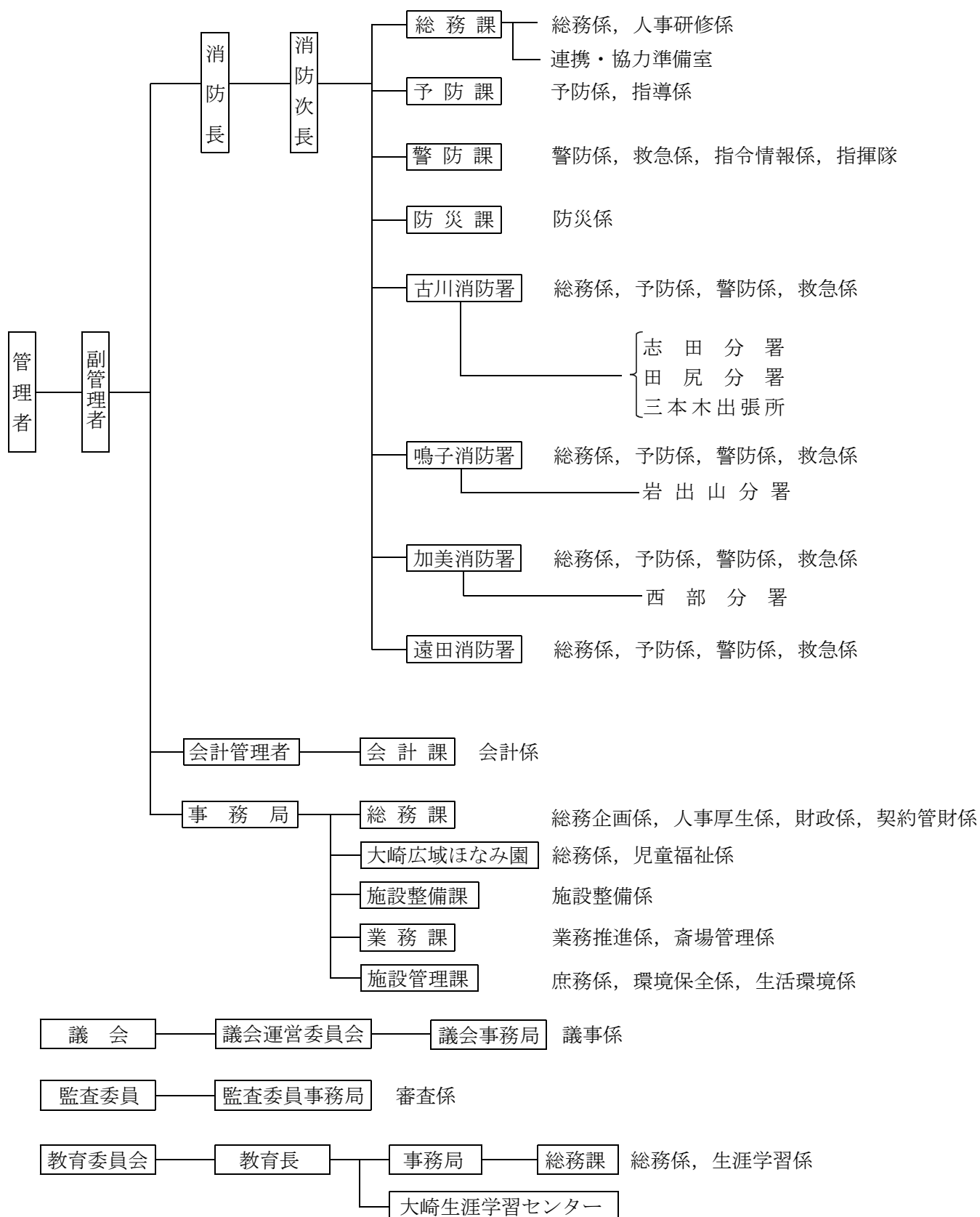
年号	月	大崎消防のあゆみ	月	大崎の主な火災と災害等	月	全国の主な火災と災害等
令和5	12	・三本木出張所高規格救急車を更新 (施設整備事業, 市町村振興総合補助事業)				
令和6	2	・高規格救急車を福島県国見町より無償譲与			1	・石川県能登地方を震源とする地震 (1/1 16:10) マグニチュード7.6 震度7 死者245名, 負傷者1,302名 行方不明者3名 住宅全壊8,560棟 半壊19,368棟 ※消防庁災害対策本部取りまとめ(令和6年4月13日現在)
	3	・遠田消防署水槽付消防ポンプ自動車を更新 (緊急防災・減災事業)				
	4	・第10代消防長に日向裕昭氏就任				
令和7	5	・映像通報システム導入 ・消防連携・協力推進委員会設置			2	・岩手県大船渡市林野火災 約3370ha, 住家87棟, 住家以外135棟焼損 死者1名 (令和7年4月17日現在) 緊急消防援助隊宮城県大隊として大崎消防本部から27隊100名出動

大崎地域広域行政事務組合構成市町の面積・世帯・人口

(令和7年4月1日現在)

区 別 市 町		面 積 (km ²)	世帯数	人 口 (人)
大 崎 市		796.81	53,052	121,226
加美郡	色 麻 町	109.28	2,087	6,061
	加 美 町	460.67	8,231	20,782
	小 計	569.95	10,318	26,843
遠田郡	涌 谷 町	82.16	5,960	14,159
	美 里 町	74.99	9,395	22,707
	小 計	157.15	15,355	36,866
合 計		1,523.91	78,725	184,935

大崎地域広域行政事務組合機構図



消 防 本 部 事 務 分 掌

総務課

総 務 係

- 1 業務の総合企画，調整及び連絡に関する事。
- 2 条例，規則及び訓令の制定改廃に関する事。
- 3 儀式，行事及び会議に関する事。
- 4 予算及び決算に関する事。
- 5 公印の管理に関する事。
- 6 財産の取得，維持管理及び契約に関する事。
- 7 給与品，貸与品の支給及び保管に関する事。
- 8 庁用物品の調達，検収及び処分に関する事。
- 9 事務改善に関する事。
- 10 消防概況に関する事。
- 11 他の課の所管に属さない事項に関する事。

人事研修係

- 1 職員の任免，分限，懲戒，服務及び賞罰その他身分に関する事。
- 2 職員の給与，勤務時間及び勤務条件に関する事。
- 3 職員の定数及び配置に関する事。
- 4 職員の福利厚生及び健康管理に関する事。
- 5 職員の公務災害補償に関する事。
- 6 職員の研修に関する事。
- 7 職員の人事評価に関する事。
- 8 表彰に関する事。

警防課

警 防 係

- 1 災害の警戒及び防ぎよに関する事。
- 2 消防戦術の研究指導に関する事。
- 3 消防水利に関する事。
- 4 消防隊の運用に関する事。
- 5 救助隊の運用に関する事。
- 6 緊急消防援助隊の出動及び隊の運用に関する事。
- 7 消防相互応援及び広域応援の出動及び隊の運用に関する事。
- 8 火災原因及び損害の調査並びに災証明等に関する事。
- 9 航空消防に関する事。
- 10 消防機械器具及び消防用車両の管理に関する事。
- 11 消防機械器具及び消防用車両の配置計画に関する事。
- 12 警防及び救助装備の調達，検収及び処分に関する事。
- 13 その他警防に関する事。

救 急 係

- 1 救急隊の運用に関する事。
- 2 救急対策に関する事。
- 3 救急技術に関する事。
- 4 医療機関等との連絡調整に関する事。
- 5 民間による患者等搬送事業に関する事。
- 6 応急手当普及啓発に関する事。
- 7 救急資器材の管理に関する事。
- 8 救急資器材の配置計画に関する事。
- 9 救急装備の調達，検収及び処分に関する事。
- 10 その他救急に関する事。

指令情報係

- 1 消防通信設備等の総合企画，調整及び保守管理に関する事。
- 2 災害通報の受付及び出動指令に関する事。
- 3 災害通信の運用，統制及び非常時対策に関する事。
- 4 消防情報の収集，連絡及び伝達に関する事。
- 5 災害の統計に関する事。
- 6 気象観測及び記録に関する事。
- 7 消防OAの運用及び維持管理に関する事。
- 8 その他指令情報に関する事。

予防課

予 防 係

- 1 危険物の規制に関すること。
- 2 防火管理者及び防災管理者に関すること。
- 3 火災予防条例に関すること。
- 4 液化石油ガス等に関すること。
(権限移譲事務を含む。)
- 5 火薬類取締法に関すること。
(権限移譲事務に限る。)
- 6 予防広報に関すること。
- 7 その他火災予防対策に関すること。

指 導 係

- 1 消防用設備等の規制に関すること。
- 2 建築物の建築確認に関すること。
- 3 予防査察に関すること。
- 4 危険物に係る事故調査に関すること。
- 5 違反処理における行政指導に関すること。
- 6 民間防火組織の育成に関すること。
- 7 その他防火思想の普及に関すること。

防災課

防 災 係

- 1 消防団との連携に関すること。
- 2 消防本部と市町間の危機管理等の調整に関すること。
- 3 国民保護に関すること。
- 4 危機管理事案の調査研究に関すること。
- 5 職員に対する危機管理に関すること。
- 6 消防協会の事務に関すること。
- 7 消防本部災害対応と市町の地域防災計画との調整に関すること。
- 8 緊急消防援助隊の応援・受援計画及び調整に関すること。
- 9 消防相互応援協定の計画及び調整に関すること。
- 10 構成市町災害対策本部との調整に関すること。
- 11 自主防災組織の育成強化に関すること。
- 12 その他危機対策及び防災に関すること。

消 防 署 事 務 分 掌

総 務 係

- 1 署の運営に関すること。
- 2 文書の收受発送に関すること。
- 3 署員の配置，進退，賞罰及び身分に関すること。
- 4 署内における各種会議に関すること。
- 5 統計に関すること。
- 6 署員の福利厚生に関すること。
- 7 署員の研修に関すること。
- 8 署員の勤務，服務に関すること。
- 9 経理に関すること。
- 10 物品の出納保管に関すること。
- 11 消防庁舎の維持管理に関すること。
- 12 他の係の分掌に属さない事項

警 防 係

- 1 火災等の警防及び対策に関すること。
- 2 消防水利に関すること。
- 3 消防通信に関すること。
- 4 消防演習計画に関すること。
- 5 自衛消防隊に関すること。
- 6 避難訓練等の指導に関すること。
- 7 消防機械器具の維持管理に関すること。
- 8 火災原因及び損害調査に関すること。
- 9 り災証明等に関すること。
- 10 火災統計に関すること。
- 11 消防団との連携に関すること。
- 12 自主防災組織の育成強化に関すること。
- 13 救助業務に関すること。
- 14 その他警防及び機械に関すること。

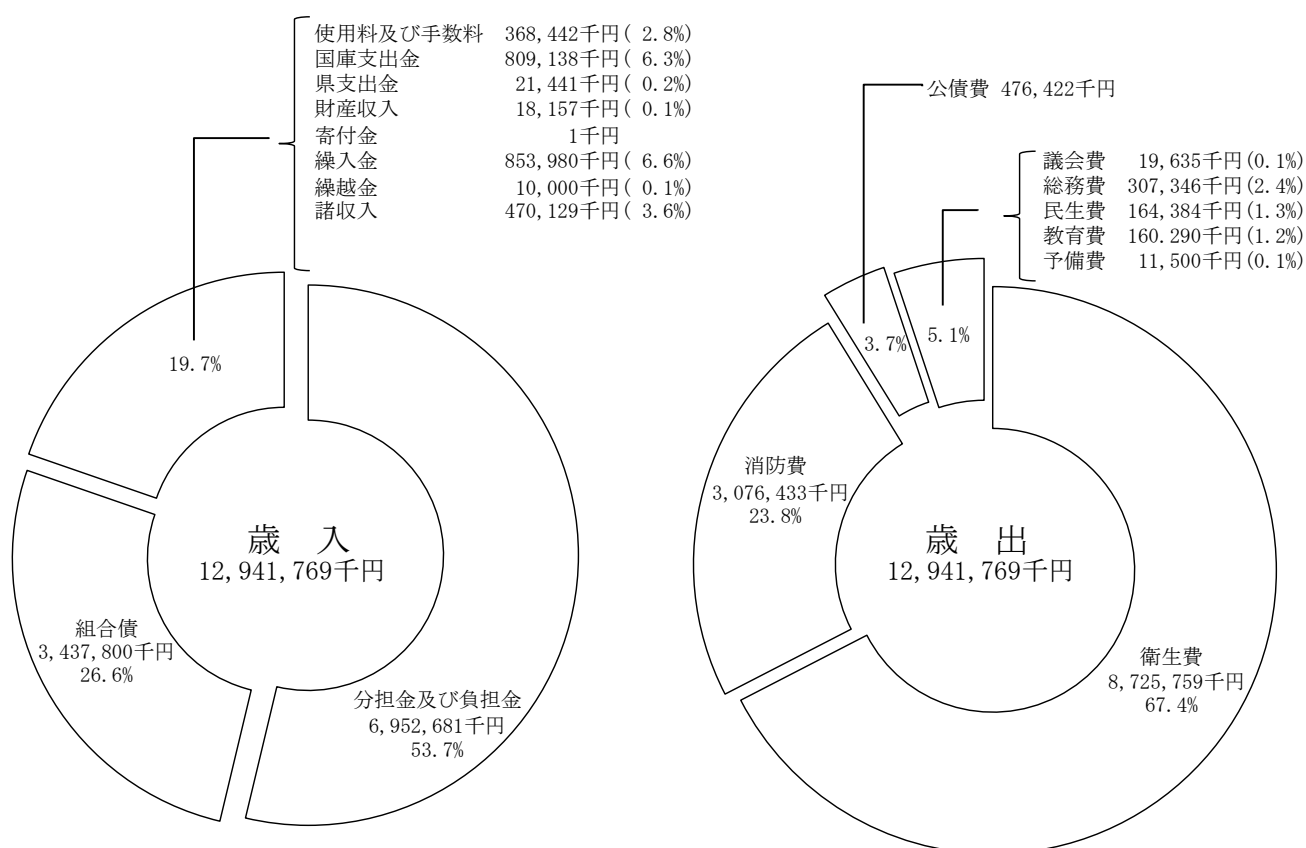
予 防 係

- 1 危険物の規制に関すること。
- 2 消防用設備等の規制に関すること。
- 3 建築物の建築確認に関すること。
- 4 火災予防条例に関すること。
- 5 液化石油ガス等に関すること。
(権限移譲事務を含む。)
- 6 火薬類取締法に関すること。
(権限移譲事務に限る。)
- 7 予防査察に関すること。
- 8 違反処理における行政指導に関すること。
- 9 危険物に係る事故調査に関すること。
- 10 防火防災管理及び危険物の取扱いに関すること。
- 11 民間防火組織の育成指導に関すること。
- 12 その他火災予防の計画，指導及び取締り等
に関すること。

救 急 係

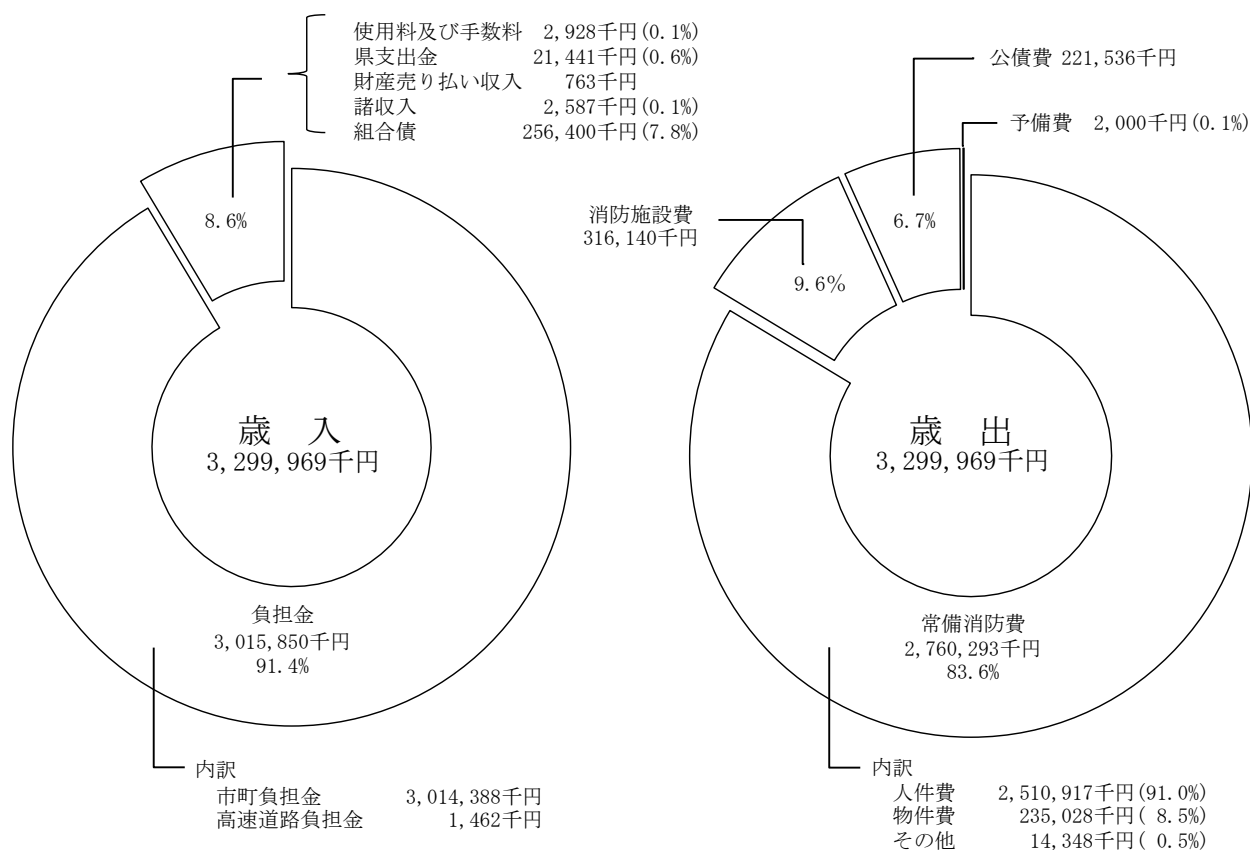
- 1 救急対策に関すること。
- 2 救急技術の訓練指導に関すること。
- 3 救急資器材の管理に関すること。
- 4 医療機関等との連絡調整に関すること。
- 5 民間による患者等搬送事業に関すること。
- 6 救急統計に関すること。
- 7 その他救急に関すること。

令和7年度 大崎地域広域行政事務組合一般会計予算概要



令和7年度 消防費当初予算

※この消防費には、消防事業分の公債費、予備費を含む。



施設（消防庁舎等）の現況

令和7年4月1日現在

区 分	所在地	建物区分	構造	階数	面 積		敷地面積 ㎡	設置 年度
					建築面積 ㎡	延面積 ㎡		
消防本部 古川消防署	大崎市古川 千手寺町二丁目5-20	庁 舎	鉄筋コンクリート 一部鉄骨	5	1,107.89	4,786.05	11,984.68	H31
		主 訓 練 塔	鉄筋コンクリート	4	74.32	227.82		H31
		副 訓 練 塔	鉄筋コンクリート	3	128.17	268.32		H31
		車 庫 兼 防 災 倉 庫	鉄 骨	1	492.80	492.80		H31
		計			1,803.18	5,774.99		
古川消防署 志田分署	大崎市鹿島台 木間塚字小谷地269-1	庁 舎	鉄 骨	2	526.67	672.32	1,726.17	H24
古川消防署 田尻分署	大崎市田尻 沼部字新堀137-2	庁 舎	鉄 骨	1	640.39	626.36	1,611.87	H26
古川消防署 三本木出張所	大崎市三本木 字廻山65	庁 舎	鉄骨・モルタル	1	231.52	231.52	3,249.67	H14
鳴子消防署	大崎市鳴子温泉 字馬場70-2	庁 舎	鉄筋コンクリート	2	563.04	725.76	2,726.36	H 2
		訓 練 塔	鉄 骨	2	33.07	54.08		H 2
		車 庫	鉄 骨	1	151.90	151.90		R 2
		計			748.01	931.74		
鳴子消防署 岩出山分署	大崎市岩出山 上野目字街道下12-3	庁 舎	鉄 骨	2	520.05	653.23	2,203.33	H24
		除雪車車庫	鉄 骨	1	16.34	16.34		H25
		計			536.39	669.57		
加美消防署	加美郡加美町 字新川原106	庁 舎	鉄 骨	2	738.18	1,123.01	9,136.03	H23
		主 訓 練 塔	鉄筋コンクリート	3	123.25	341.19		H23
		副 訓 練 塔	鉄 骨	2	75.58	120.00		H23
		駐 輪 場	鉄 骨	1	11.52	11.52		H23
		計			948.53	1,595.72		
加美消防署 西部分署	加美郡加美町 字原町南百ヶ清水30-7	庁 舎	鉄 骨	2	462.53	658.96	1,942.93	H25
		除雪車車庫	鉄 骨	1	16.48	16.48		H25
		計			479.01	675.44		
遠田消防署	遠田郡涌谷町 字関谷沖名303-1	庁 舎	鉄 骨	2	919.48	1,410.33	7,259.78	H22
		訓 練 塔 A	鉄筋コンクリート	3	50.20	150.00		H22
		訓 練 塔 B	鉄 骨	5	69.27	216.40		H22
		訓 練 塔 C	鉄 骨	3	183.79	414.85		H22
		駐 輪 場	そ の 他	1	11.34	11.34		H22
		計			1,234.08	2,202.92		
岩渕基地局	大崎市鳴子温泉 字岩渕8, 字大畑37の一部	局 舎	鉄 骨	1	9.88	9.88	162.41	H24
鬼首基地局	大崎市鳴子温泉 鬼首字八幡原34-1の一部	局 舎	鉄 骨	1	9.88	9.88	112.00	H24
薬菜基地局	加美郡加美町 字味ヶ袋薬菜原1-79の一部	局 舎	鉄 骨	1	9.88	9.88	112.00	H24
籠岳基地局	遠田郡涌谷町 籠岳字神楽岡51-2の一部	局 舎	鉄 骨	1	9.88	9.88	150.01	H24

消防力の整備指針と現有消防力

令和 7 年 4 月 1 日現在

区 分		基 準	現 有	過不足数	充 足 率
署 所 の 数		9	9	0	100.0%
車 両	指 揮 車	5	5	0	100.0%
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	16	16	0	100.0%
	は し ご 車	2	2	0	100.0%
	化 学 消 防 車	1	1	0	100.0%
	救 急 自 動 車	11	11	0	100.0%
	救 助 工 作 車	1	1	0	100.0%
	非 常 用 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	2	0	100.0%
	非 常 用 救 急 自 動 車	2	2	0	100.0%
	特 殊 車 等		15	15	
計		40	55	15	
人 員	警 防 要 員	319	256	△ 63	80.3%
	予 防 要 員	24	15	△ 9	62.5%
	通 信 要 員	12	12	0	100.0%
	庶 務 の 要 員	44	41	△ 3	93.2%
	計	399	324	△ 75	81.2%

※基準については、令和 4 年度消防施設整備計画実態調査に基づき算出したものである。

※特殊車等の内訳は、搬送車 2 台、大型水槽車 3 台、支援車 8 台、拠点機能形成車、水陸両用車である。

※警防要員の基準は、消防隊員、救急隊員、救助隊員、指揮隊員数の合計である。

※庶務の要員は、管理職、本部及び各署日勤（予防要員除く）、派遣・出向職員数である。

所属別配置状況

令和 7 年 4 月 1 日現在

		正 監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	計	毎日勤務	交代制勤務
消防本部	消防長	1								1	1	
	消防次長		1							1	1	
	総務課			4	1	4				9	9	
	(派遣)		1			5	1			7	7	
	予防課			2	1		1			4	4	
	警防課			3	2	1				6	6	
	(通信指令センター)				3	6	3			12		12
	(指揮隊)				3	3	3			9		9
	防災課			2	1					3	3	
小 計		1	2	11	11	19	8	0	0	52	31	21
古川消防署			1	1	8	15	16		16	57	12	45
志田分署				1	3	5	6	1	4	20	2	18
田尻分署				1	2	5	6		6	20	2	18
三本木出張所				1	1	7	6	1	4	20	2	18
小 計		0	1	4	14	32	34	2	30	117	18	99
鳴子消防署				2	8	7	9		10	36	5	31
岩出山分署				1	2	5	6		6	20	2	18
小 計		0	0	3	10	12	15	0	16	56	7	49
加美消防署				2	8	7	9		10	36	5	31
西部分署				1	2	6	6		5	20	2	18
小 計		0	0	3	10	13	15	0	15	56	7	49
遠田消防署				2	8	9	14		10	43	6	37
小 計		0	0	2	8	9	14	0	10	43	6	37
合 計		1	3	23	53	85	86	2	71	324	69	255
備 考		1 派遣職員 7 名の内訳は、総務省 1 名、宮城県消防学校 1 名、宮城県 2 名、防災ヘリ 1 名、大崎市 2 名である。 2 新規採用職員 6 名 内訳は、古川 3 名・鳴子、加美、遠田各 1 名である。										

年齢別構成表（令和 7 年 4 月 1 日）

退職年※	年齢	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	総計	
R 8年度	60	1			3	2				6	
R10年度	59		1	1						2	
R12年度	58			2						2	
R14年度	57		1	2	1					4	
R15年度	56		1	4						5	
R16年度	55			3						3	
R17年度	54			3	1					4	
R18年度	53			1	1					2	
R19年度	52				2					2	
R20年度	51			2	8	3				13	
R21年度	50			2	3	3				8	
R22年度	49			1	4	8				13	
R23年度	48			1	3	4				8	
R24年度	47				5	1				6	
R25年度	46			1	4	3	2			10	
R26年度	45				8	2				10	
R27年度	44				2	4	1			7	
R28年度	43				3	2	1			6	
R29年度	42				3	4	2			9	
R30年度	41				1	7	2			10	
R31年度	40					8	2			10	
R32年度	39					8	2			10	
R33年度	38				1	6	1			8	
R34年度	37					4	6			10	
R35年度	36					1	10			11	
R36年度	35					3	7		1	11	
R37年度	34					3	5			8	
R38年度	33					2	13		1	16	
R39年度	32					1	9		1	11	
R40年度	31						3	1	1	5	
R41年度	30						6	1	4	11	
R42年度	29						8		3	11	
R43年度	28						3		7	10	
R44年度	27						2		2	4	
R45年度	26								6	6	
R46年度	25								10	10	
R47年度	24								8	8	
R48年度	23								9	9	
R49年度	22								6	6	
R50年度	21								3	3	
R51年度	20								3	3	
R52年度	19								5	5	
R53年度	18								1	1	
再任用						6	1			7	
総計		1	3	23	53	85	86	2	71	324	

※退職年は、段階的定年上げ（65歳）を反映させたものである。

勤続年数別構成表（令和7年4月1日）

勤続年数	採用年度	採用人数	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	職員数
0	R7	6								6	6
1	R6	6								6	6
2	R5	8								8	8
3	R4	11								11	11
4	R3	9								9	9
5	R2	12								7	7
6	R元	10								8	8
7	H30	8						1		6	7
8	H29	11						3		5	8
9	H28	10						6		3	9
10	H27	15						9		2	11
11	H26	15						13			13
12	H25	17						11	1		12
13	H24	14					2	8	1		11
14	H23	16					4	9			13
15	H22	13					7	5			12
16	H21	11				1	3	6			10
17	H20	12					9	3			12
18	H19	9					4	5			9
19	H18	10				2	5				7
20	H17	8					6	1			7
21	H16	9				3	5	1			9
22	H15	9				3	6				9
23	H14	11				5	4	2			11
24	H13	0									0
25	H12	5			1	3	1				5
26	H11	8			1	3	1				5
27	H10	11				6	1	1			8
28	H9	10			3	3	2	1			9
29	H8	8			1	5	1				7
30	H7	12			1	5	4				10
31	H6	11			2		8				10
32	H5	8				3	3				6
33	H4	8			1	6	1				8
34	H3	0									0
35	H2	0									0
36	H元	3			2	1					3
37	S63	5			3						3
38	S62	7		1	5						6
39	S61	6		1	2	1					4
40	S60	0									0
41	S59	2		1	1						2
42	S58	10	1			3	2				6
再任用							6	1			7
総計			1	3	23	53	85	86	2	71	324

警

防



フレッシュマン研修（検索救助訓練）

災 害 出 動 計 画 基 準 表

災害種別(火災)

令和7年4月1日現在

区 分		出動計画	出動区分・車両数				摘 要
			車 両	第1出動	第2出動	第3出動	
建 物	普 通 建 物 (中高層及び大規模 建物以外の建物)	指揮車	1 (2)				
		ポンプ車・タンク車	5	2	2		
		水槽車	1				
		救急車	1	1			
		計	8 (9)	3	2		
	中 高 層 建 物 (3階以上の建物)	指揮車	1 (2)				
		ポンプ車・タンク車	7	2	2		
		水槽車	1				
		はしご車	1	1			
		工作車		1			
		救急車	2	1	1		
		計	12 (13)	5	3		
	大 規 模 建 物 (建物延べ面積1,000㎡ 以上の建物)	指揮車	1 (2)				
		ポンプ車・タンク車	7	2	2		
		水槽車	1				
		工作車		1			
		救急車	2	1	1		
		計	11 (12)	4	3		
林 野		指揮車	1 (2)				
		ポンプ車・タンク車	5	2	2		
		水槽車	1				
		計	7 (8)	2	2		
車 両		指揮車	1 (2)				
		ポンプ車・タンク車	3 (4)	2	2		
		水槽車	1				
		救急車	1	2	2		
		化学車	危険物関係車両火災時特命出動				
		計	6 (8)	4	4		
危険物施設等 (特殊災害)		指揮車	1 (2)				
		ポンプ車・タンク車	7	2	2		
		水槽車	1				
		化学車	1				
		工作車		1			
		救急車	2	2	2		
		計	12 (13)	5	4		
そ の 他		指揮車	1 (2)				
		ポンプ車・タンク車	3 (4)	2	2		
		水槽車	1				
		計	5 (7)	2	2		

災害種別(救急)

出動計画 区 分	出動区分・車両数				摘 要
	車 両	第1出動	第2出動		
救 急	救急車	1	1		同一救急に3隊以上の出動は消防長特命出動とする。
	計	1	1		

災害種別(救急救助)

出動計画 区 分	出動区分・車両数				摘 要
	車 両	第1出動	第2出動	第3出動	
救 急 救 助	指揮車	1 (2)			
	ポンプ車・タンク車	1 (2)	1		
	工作車	1	1	1	
	救急車	1	2	3	
	計	4 (6)	4	4	

災害種別(その他)

出動計画 区 分	出動区分・車両数				摘 要
	車 両	第1出動	第2出動		
その他災害	ポンプ車・タンク車	1	1		
	計	1	1		
地震災害	ポンプ車・タンク車	2	(1)		第2出動は、第1出動に救助ポンプ車が含まれていない場合は救助工作車が出動する。
	工作車		(1)		
	救急車		1		
	計	2	2		

※ 指揮車の欄の()書きは、司令車を含めた数。

非 常 配 備 体 制

令和7年4月1日現在

種 別 課・署所別		規程第16条の非常配備基準		
		第1次非常配備	第2次非常配備	第3次非常配備
		発令基準		
		・震度5弱 ・施設敷地緊急事態（原子力） ・警防活動強化体制又は 危機管理対策本部体制（国民保護） ・その他消防長又は署長が非常配備体制を必要と認める事態が生じたとき	・震度5強 ・非常災害発生 ・全面緊急事態（原子力） ・準国民保護対策本部体制（国民保護） ・その他消防長又は署長が非常配備体制を必要と認める事態が生じたとき	・震度6弱以上 ・国民保護対策本部体制（国民保護） ・その他消防長が非常配備体制を必要と認める事態が生じたとき
消 防 本 部	総 務 課		2名	全 職 員
	予 防 課		2名	全 職 員
	警 防 課 ⑥	9名（+3名）	14名（+8名）	全 職 員
	防 災 課	1名	2名（+1名）	全 職 員
古川消防署		42名	55名	
内 訳	古川消防署 ⑫	18名（+6名）	23名（+11名）	全 職 員
	志田分署 ⑤	9名（+4名）	12名（+7名）	全 職 員
	田尻分署 ⑤	9名（+4名）	12名（+7名）	全 職 員
	三本木出張所 ⑤	6名（+1名）	8名（+3名）	全 職 員
鳴子消防署		20名	29名	
内 訳	鳴子消防署 ⑨	11名（+2名）	17名（+8名）	全 職 員
	岩出山分署 ⑤	9名（+4名）	12名（+7名）	全 職 員
加美消防署		20名	28名	
内 訳	加美消防署 ⑨	11名（+2名）	16名（+7名）	全 職 員
	西部分署 ⑤	9名（+4名）	12名（+7名）	全 職 員
遠田消防署 ⑪		14名（+3名）	19名（+8名）	全 職 員
体制		必要に応じて 部隊本部 大隊本部		部隊本部 大隊本部

※ ○内の数字は、通常時における最低勤務人員を示したもの。（ ）内の数字は、増強勤務人員を示したもの。

消防車両配置表

令和7年4月1日現在

種別 署所別	計	消防車両						救急車	その他の車両									
		大型水槽車	水槽付ポンプ車	ポンプ車	はしご車	救助工作車	化学車		司令・指揮車	連絡車	査察車	広報車	救急広報車	搬送車	拠点機能形成車	中型水陸両用車	ボートトレーラー	ホイールローダー
消防本部	12(6)		1(1)	1(1)				2(2)	2(1)	2		2	1	1				
古川消防署	22	1	2	4	1	1	1	5	1	4	1				1			
古川消防署	11	1		1	1	1	1	2	1	1	1				1			
志田分署	4		1	1				1		1								
田尻分署	4		1	1				1		1								
三本木出張所	3			1				1		1								
鳴子消防署	14		2	2	1			2	1	1	1			1		1		2
鳴子消防署	9		1	1	1			1	1		1			1		1		1
岩出山分署	5		1	1				1		1								1
加美消防署	12	1	2	2				2	1	1	1							2
加美消防署	7	1	1	1				1	1		1							1
西部分署	5		1	1				1		1								1
遠田消防署	9	1	1	1				2	1	1	1						1	
計	69(6)	3	8(1)	10(1)	2	1	1	13(2)	6(1)	9	4	2	1	2	1	1	1	4

※()内は非常用

所属名	登録年月	種 別	車 両 性 能 等	積載無線局名
消防本部	平成12年11月	非常用ポンプ車	CD－I型ポンプ車	だいしょうぼんぷ 1
〃	平成13年12月	非常用ポンプ車	水槽Ⅱ型(2,000ℓ水槽付)	だいしょうぼんぷ 2
〃	平成23年12月	非常用救急車	トヨタハイメディック(高規格救急車)	だいしょうきゅうきゅう 1
〃	平成23年 1月	非常用救急車	トヨタハイメディック(高規格救急車)	だいしょうきゅうきゅう 2
〃	平成19年 3月	司令車	トヨタハイメディック仕様変更(ガソリン車)	だいしょうしれい 1
〃	平成18年 6月	非常用司令車	SUVタイプ2,700cc(ガソリン車)	だいしょうしれい 2
〃	平成17年 7月	広 報 車	バンタイプ2,000cc(ガソリン車)	
〃	平成19年 1月	救急啓発広報車	ニッサンシビリアン (救急振興財団寄贈)	
〃	平成10年 7月	資機材搬送車	トラックタイプ2t車	
〃	平成23年 8月	連 絡 車	軽乗用車	
〃	平成25年 3月	広 報 車	ステーションワゴン2,000cc(ガソリン車)	
〃	平成25年 7月	連 絡 車	プリウス(ハイブリッド車)	
古川消防署	平成18年 2月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽10,000ℓ	ふるかわすいそう 1
〃	令和 5年 3月	普通ポンプ車	CD－I型ポンプ車	ふるかわぼんぷ 1
〃	令和 3年 2月	は し ご 車	35m級(最大地上高36m)	ふるかわはしご 1
〃	令和 2年 3月	救助工作車	Ⅲ型(油圧ウインチ・照明装置付)	ふるかわきゅうじょ 1
〃	平成28年 1月	化 学 車	Ⅱ型 水槽1,500ℓ 薬槽500ℓ	ふるかわたんく 1
〃	令和 6年 2月	高規格救急車	トヨタ C-CABIN (福島県国見町無償譲与)	ふるかわきゅうきゅう 1
〃	令和 4年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	ふるかわきゅうきゅう 2
〃	平成20年 6月	指 揮 車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	ふるかわしき 1
〃	平成25年10月	連 絡 車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	
〃	平成23年 8月	査 察 車	軽ワゴン車	
〃	平成31年 3月	拠点機能形成車	後方支援資機材積載 (総務省消防庁配備)	だいしょうきょてん 1
志田分署	平成30年 3月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅰ－A型(1,500ℓ水槽付)	しだたんく 1
〃	令和 5年 4月	普通ポンプ車	CD－I型ポンプ車	しだぼんぷ 1
〃	令和 2年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	しだきゅうきゅう 1
〃	平成25年 9月	連 絡 車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	
田尻分署	平成26年12月	水槽付ポンプ車	水槽Ⅰ－A型(1,500ℓ水槽付)	たじりたんく 1
〃	平成25年 2月	普通ポンプ車	CD－I型ポンプ車	たじりぼんぷ 1
〃	令和 3年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	たじりきゅうきゅう 1
〃	平成27年 7月	連 絡 車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	
三本木出張所	平成28年12月	普通ポンプ車	CD－I型ポンプ車(800ℓ水槽付)	さんぼんぎぼんぷ 1
〃	令和 5年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	さんぼんぎきゅうきゅう 1
〃	平成23年 7月	連 絡 車	軽ワゴン車	

所属名	登録年月	種 別	車 両 性 能 等	積載無線局名
鳴子消防署	平成26年12月	水槽付ポンプ車	水槽I-A型(1,500ℓ水槽付)	な る こ た ん く 1
〃	平成17年 3月	救助ポンプ車	CD-I型(救助ポンプ車)	なるこきゅうじょぼんぷ 1
〃	平成13年 7月	は し ご 車	15m級(最大地上高15.9m)	な る こ は し ご 1
〃	平成29年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	なるこきゅうきゅう 1
〃	平成20年 6月	指 揮 車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	な る こ し き 1
〃	平成23年 8月	査 察 車	軽ワゴン車	
〃	平成20年11月	ホイールローダー	鳴子除雪車・災害対応車	
〃	令和 2年 3月	特殊装備車	中型水陸両用車搬送車両 (総務省消防庁配備)	だ い し ょ う と く そ う 1
〃	令和 2年 4月	中型水陸両用車	大型特殊自動車 (総務省消防庁配備)	
岩出山分署	平成15年10月	水槽付ポンプ車	水槽I-A型(1,500ℓ水槽付)	いわでやまたんく 1
〃	令和 2年 2月	普通ポンプ車	CD-I型ポンプ車	いわでやまぼんぷ 1
〃	令和 3年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	いわでやまきゅうきゅう 1
〃	平成25年 9月	連 絡 車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	
〃	平成26年 1月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
加美消防署	平成19年 1月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽5,000ℓ	か み す い そ う 1
〃	令和 4年 1月	水槽付ポンプ車	水槽I-A型(1,500ℓ水槽付)	か み た ん く 1
〃	平成20年 1月	救助ポンプ車	CD-I型ポンプ車(救助ポンプ車)	かみきゅうじょぼんぷ 1
〃	平成28年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	か み き ゅ う き ゅ う 1
〃	平成19年 7月	指 揮 車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	か み し き 1
〃	平成21年 8月	査 察 車	軽ワゴン車	
〃	平成23年12月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
西部分署	平成26年 1月	水槽付ポンプ車	水槽I-A型(1,500ℓ水槽付)	せ い ぶ た ん く 1
〃	令和 3年 2月	普通ポンプ車	CD-I型ポンプ車	せ い ぶ ぼ ん ぷ 1
〃	令和元年11月	高規格救急車	ニッサンパラメディック	せ い ぶ き ゅ う き ゅ う 1
〃	平成25年 2月	連 絡 車	ライトバン1,600cc(ガソリン車)	
〃	平成26年10月	ホイールローダー	除雪車・災害対応車	
遠田消防署	平成23年 1月	大型水槽車	小型ポンプ付(B2級)水槽10,000ℓ	と お だ す い そ う 1
〃	令和 6年 3月	水槽付ポンプ車	水槽I-A型(1,500ℓ水槽付)	と お だ た ん く 1
〃	平成21年 2月	救助ポンプ車	CD-I型(救助ポンプ車) (社団法人日本損害保険協会寄贈車)	と お だ き ゅ う じ ょ ぼ ん ぷ 1
〃	令和 4年11月	高規格救急車	トヨタハイメディック	と お だ き ゅ う き ゅ う 1
〃	令和元年11月	高規格救急車	ニッサンパラメディック	と お だ き ゅ う き ゅ う 2
〃	平成19年 7月	指 揮 車	SUVタイプ2,000cc(ガソリン車)	と お だ し き 1
〃	平成22年 6月	査 察 車	軽ワゴン車	
〃	平成25年 1月	連 絡 車	ライトバン1,500cc(ガソリン車)	
〃	令和 2年 3月	ボートトレーラー	ウレタンボート搬送用トレーラー	

消 防 隊 出 動 状 況

令和6年1月1日～令和6年12月31日

区分 署所		合 計	火 災	救 助 活 動	内 管 外	風 水 害 等	演 習 訓 練	訓 練 指 導	警 防 調 査	原 因 調 査	特 別 警 戒	遭 難	予 防 査 察	そ の 他	内 管 外
古 川	出動回数	1,331	36	19		7	2	25	33	7	50		158	994	4
	台数	1,420	75	28		7	6	29	34	11	50		158	1,022	4
	人員	4,485	189	103		20	18	61	77	29	114		236	3,638	9
志 田	出動回数	680	15	9		1	5	21	7	9	31		38	544	2
	台数	703	31	12		1	5	21	7	13	31		38	544	2
	人員	1,453	84	34		3	16	50	21	40	80		96	1,029	6
田 尻	出動回数	586	13	1		2	4	18	10		16		50	472	
	台数	611	20	1		2	7	24	10		16		51	480	
	人員	1,328	53	4		5	20	64	30		43		141	968	
三本木	出動回数	416	14	3		1		4	25	1	12		19	337	
	台数	432	14	6		1		5	29	1	12		19	345	
	人員	1,140	36	17		3		13	75	3	30		47	916	
鳴 子	出動回数	868	4	7		4	8	15	23	2	6		49	750	
	台数	912	8	24		6	18	20	25	4	6		51	750	
	人員	2,166	25	76		17	57	51	62	15	18		137	1,708	
岩出山	出動回数	645	14	4			7	10	18	2	37	1	49	503	1
	台数	674	28	5			11	12	18	3	37	1	50	509	1
	人員	1,523	76	14			33	31	42	5	87	2	126	1,107	1
加 美	出動回数	1,125	18	10		7	2	23	31	5	56	2	51	920	1
	台数	1,233	56	24		7	2	31	31	12	56	3	53	958	1
	人員	2,917	146	63		20	5	77	77	33	134	6	111	2,245	3
西 部	出動回数	547	9	3			7	14	6	4	22	1	75	406	
	台数	578	17	6			16	20	6	6	22	1	75	409	
	人員	1,379	49	15			42	57	19	22	60	5	229	881	
遠 田	出動回数	893	18	11		4	6	19	6	7	9		38	775	5
	台数	957	49	19		4	13	21	14	11	9		38	779	5
	人員	2,051	126	57		12	42	49	42	30	24		79	1,590	17
合 計	出動回数	7,091	141	67		26	41	149	159	37	239	4	527	5,701	13
	台数	7,520	298	125		28	78	183	174	61	239	5	533	5,796	13
	人員	18,442	784	383		80	233	453	445	177	590	13	1,202	14,082	36

※ 演習訓練とは、消防機関又は関係機関と合同で行う演習・訓練のために消防車両が出動した状況である。
 訓練指導とは、住民や自衛消防隊が行う消防訓練に対する指導のため出動した状況である。
 警防調査とは、地水利・危険区域・対象物調査等に出動した状況である。

消 防 水 利 の 現 況

令和7年4月1日現在

施設別 市町村別			大 崎 市	色 麻 町	加 美 町	涌 谷 町	美 里 町	合 計
消 火 栓	小計(A)		1,893	119	423	255	462	3,152
	公設		1,857	119	421	254	459	3,110
	私設		36		2	1	3	42
防 火 水 槽	小計	100㎡以上	12		1	4	1	18
		100㎡未満～40㎡	552	40	133	139	144	1,008
		40㎡未満～20㎡	69		7	11	44	131
	合計(B)		633	40	141	154	189	1,157
	公 設	100㎡以上	2			4		6
		100㎡未満～40㎡	456	33	122	123	130	864
		40㎡未満～20㎡	52		2	9	43	106
	公 設 うち耐震性	100㎡以上						
		100㎡未満～40㎡	56	21	117	29	51	274
		40㎡未満～20㎡	1				7	8
	私 設	100㎡以上	10		1		1	12
		100㎡未満～40㎡	96	7	11	16	14	144
		40㎡未満～20㎡	17		5	2	1	25
	私 設 うち耐震性	100㎡以上			1			1
		100㎡未満～40㎡	3	6	10	1		20
		40㎡未満～20㎡	1		5			6
そ の 他	小計(C)		94	4	14	8	10	130
	プー ル		47	4	4	8	8	71
	河 川				1			1
	ごう・池等		46		8		2	56
	井 戸							
	工業用水							
	掘抜消火栓							
	その他		1		1			2
合 計(A+B+C)			2,620	163	578	417	661	4,439

火災の現況

令和6年中における総火災件数は、49件で前年より2件減少し、約7.4日に1件の割合で発生したことになります。この火災件数は、令和3年に記録した過去最少件数と同数となりました。

火災種別ごとの火災件数は、建物火災31件(63.3%)で前年より4件減少、車両火災11件(22.4%)で4件増加、林野火災5件(10.2%)で4件増加、その他火災2件(4.1%)で6件減少となりました。

市町別の火災件数は、大崎市27件(55.1%)、色麻町3件(6.1%)、加美町9件(18.4%)、涌谷町3件(6.1%)、美里町7件(14.3%)となりました。

火災による死者数は、建物火災による3人で前年より4人減少となりました。

火災による損害額は、70,617千円で前年より212,478千円減少し、統計開始以来、過去最少額となりました。

主な出火原因は、「放火」5件(10.2%)、「火入れ」4件(8.2%)、「こんろ」3件(6.1%)、「ストーブ」3件(6.1%)、「たき火」3件(6.1%)、「たばこ」2件(4.1%)、「煙突・煙道」2件(4.1%)、「排気管」2件(4.1%)、「電灯・電話等の配線」2件(4.1%)、「配線器具」2件(4.1%)となりました。

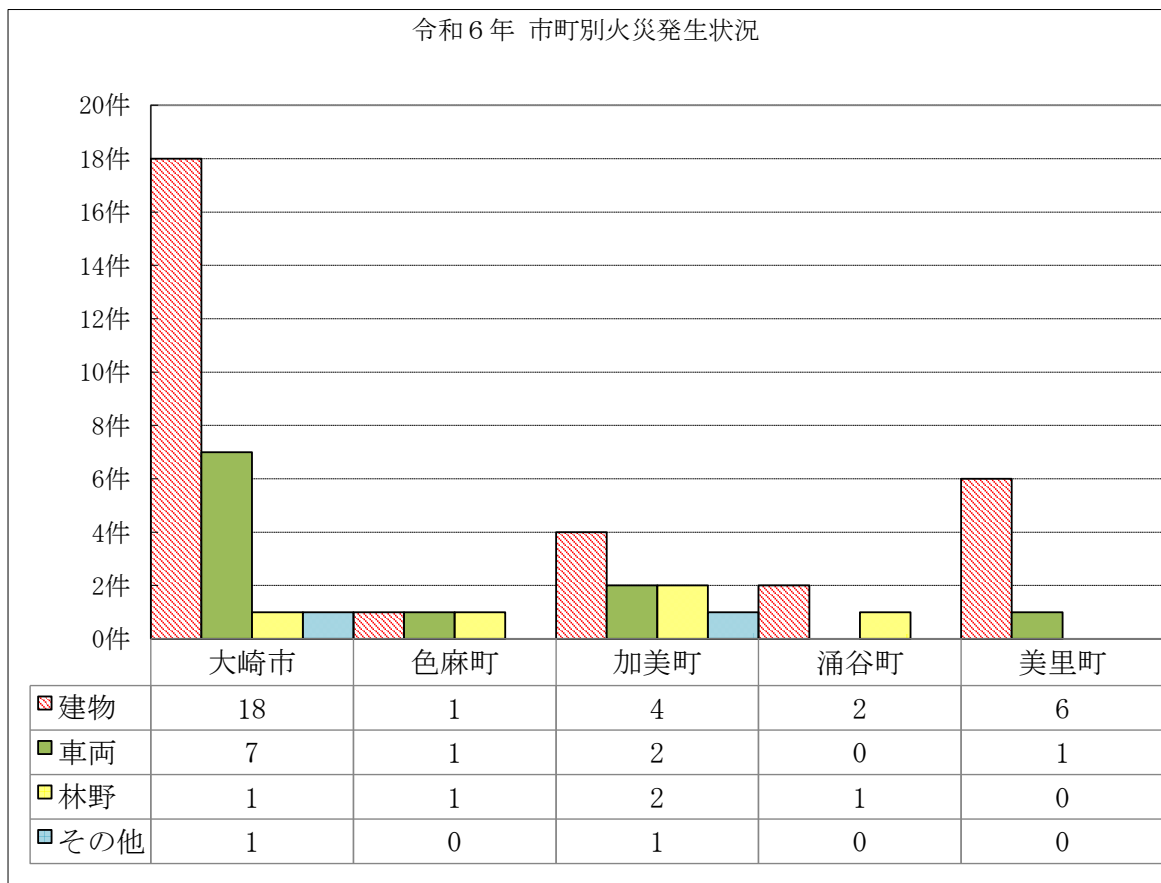


市 町 別 火 災 発 生 状 況

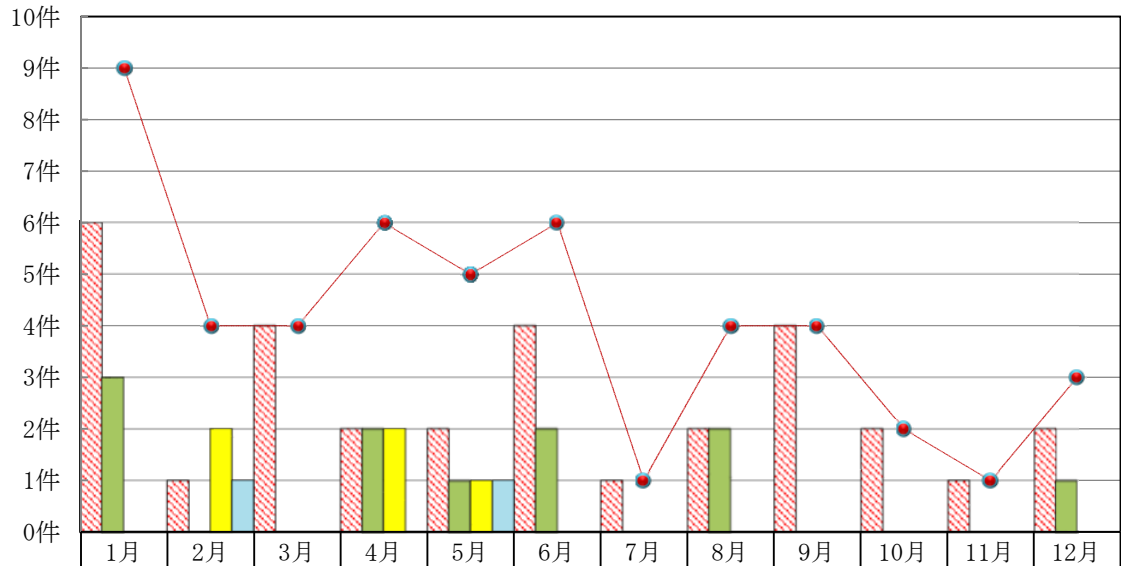
令和6年1月1日～令和6年12月31日

	火 災 件 数					焼損 棟数	り 災		死者	負傷者	世帯数	人 口	一万人 当り 出火率	損 害 額 (円)				焼 損 面 積		
	合計	建物	車両	林野	その他		世帯	人員						総額 (千円)	一件 当り (千円)	一世帯 当り (円)	一人 当り (円)	建物 面積 (㎡)	一件 当り (㎡)	林野 面積 (a)
大崎市	27	18	7	1	1	31	15	42	2	5	53,069	122,035	2.21	44,797	1,659	844	367	825	45.8	25
色麻町	3	1	1	1	0	1	1	1	0	1	2,091	6,103	4.92	2,993	998	1,431	490	116	116.0	4
加美町	9	4	2	2	1	7	2	2	0	1	8,260	20,970	4.29	6,532	726	791	311	279	69.8	10
涌谷町	3	2	0	1	0	3	0	0	1	0	5,966	14,249	2.11	2,333	778	391	164	237	118.5	6
美里町	7	6	1	0	0	9	3	8	0	0	9,390	22,826	3.07	13,962	1,995	1,487	612	452	75.3	0
合計	49	31	11	5	2	51	21	53	3	7	78,776	186,183	2.63	70,617	1,441	896	379	1,909	61.6	45

※世帯数・人口は令和6年12月末日現在（宮城県住民基本台帳より）

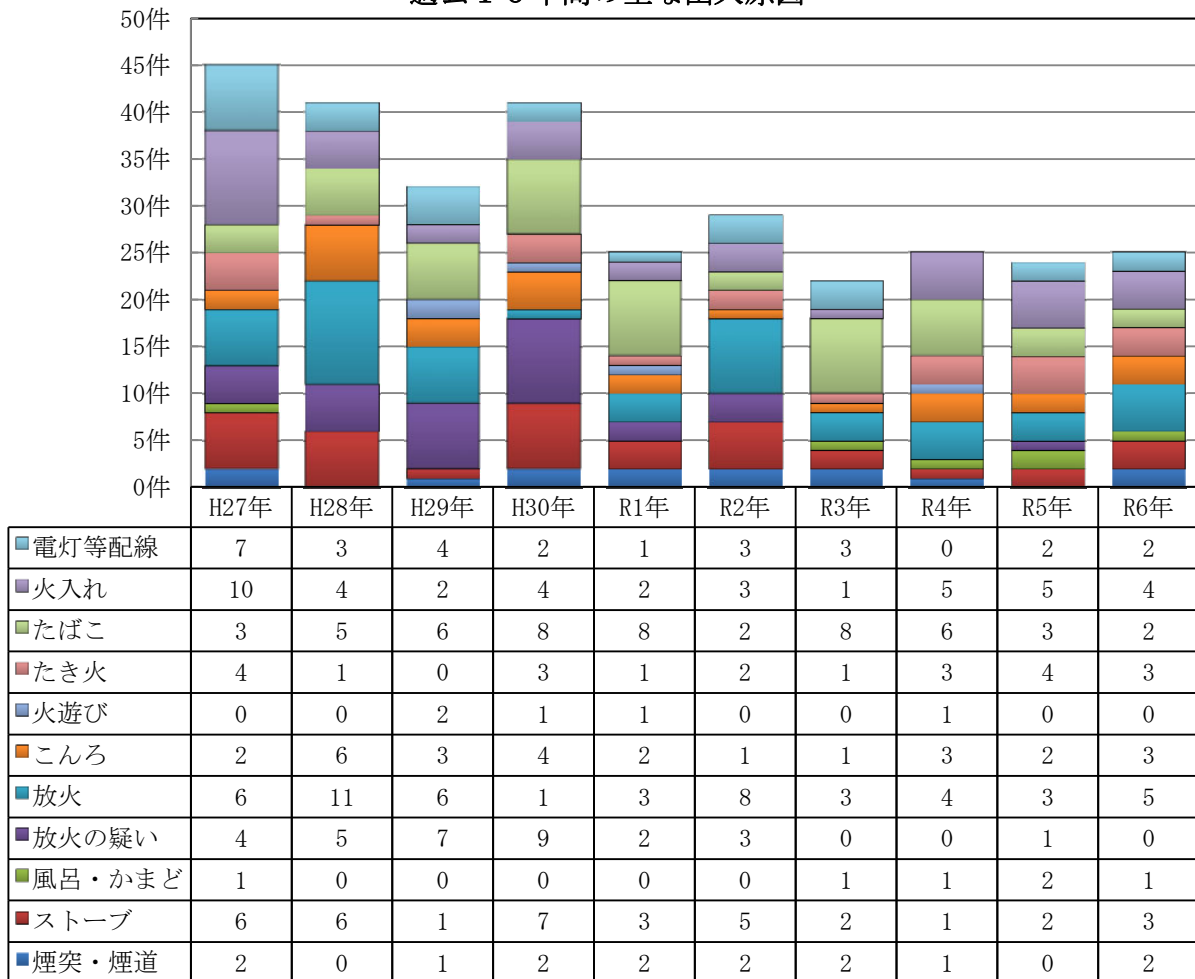


令和6年 月別火災発生状況

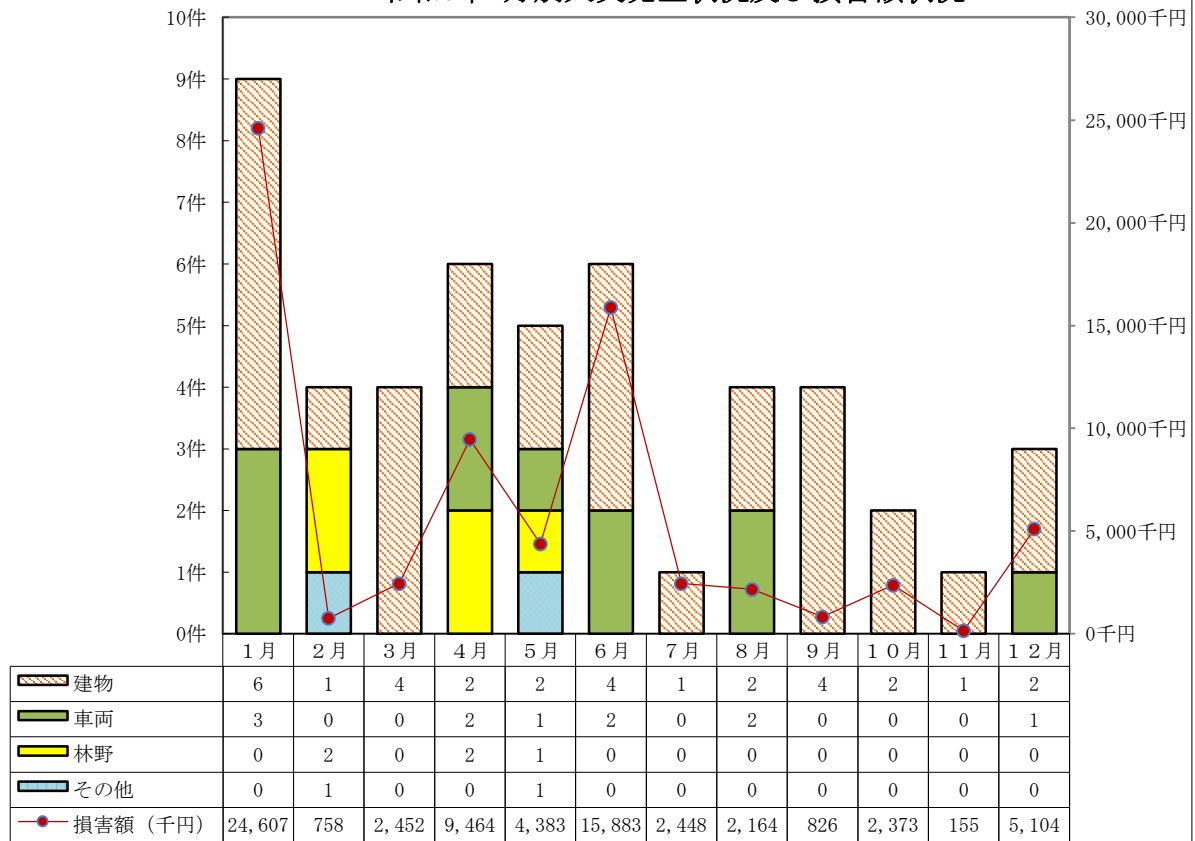


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建物	6	1	4	2	2	4	1	2	4	2	1	2
車両	3	0	0	2	1	2	0	2	0	0	0	1
林野	0	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
総計	9	4	4	6	5	6	1	4	4	2	1	3

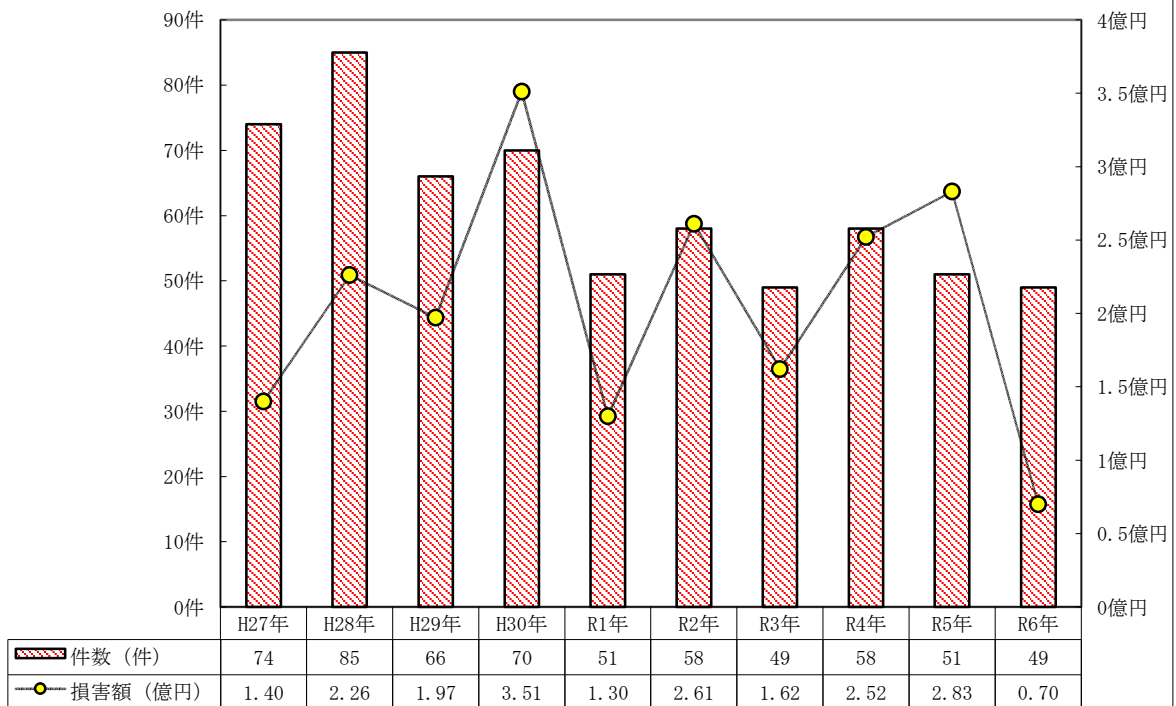
過去10年間の主な出火原因



令和6年 月別火災発生状況及び損害額状況



過去10年間の火災件数及び損害額の推移



救急業務の現況

令和6年中における救急出動件数は10,050件で前年より101件減少し、搬送人員は8,929人で前年より27人増加しました。これは一日平均で約27件（約52.4分に1件）の割合で救急車が出動し、管内の約21人に1人が救急車により搬送されたことになります。

令和6年中の搬送人員8,929人に救急隊員が行った応急処置の総件数は42,781件となっており、このうち救急救命士（除細動については、救急救命士以外の救急隊員を含む）が心肺停止状態又は重篤な傷病者に行う高度な処置（ラリングアルマスク等による気道確保、気管挿管、除細動、静脈路確保、薬剤投与、血糖測定、ブドウ糖投与）の件数は593件となっています。

救急搬送人員数は、統計開始以来最多を更新しましたが、出動件数については最多出動件数を更新した昨年の10,151件を101件下回りました。熱中症の予防広報や救急車の適正利用の呼びかけなどが出動件数減少の成果と考えられます。



救急シミュレーション訓練



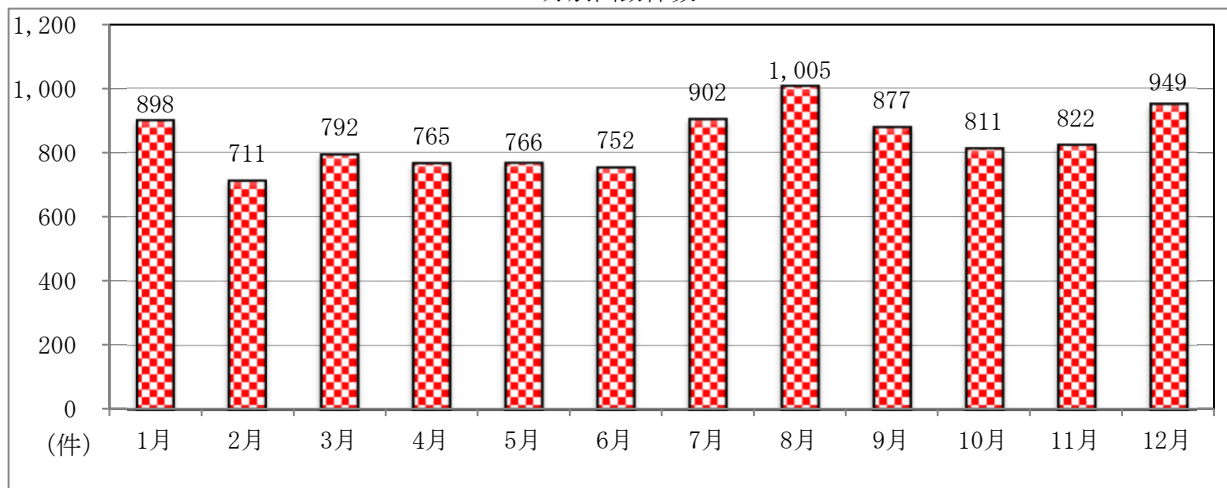
指導救命士研修

令和6年 月別救急出動状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日

月別	種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
1月	出動件数	898	7	1		27	3		88	3	4	638	113		2	12
	搬送件数	774	1	1		20	3		82	3	3	548	113			
	搬送人員	780	1	1		26	3		82	3	3	548	113			
2月	出動件数	711	3			22	5	1	77	1	11	460	121			10
	搬送件数	627	2			17	5	1	65	1	9	406	121			
	搬送人員	629	2			19	5	1	65	1	9	406	121			
3月	出動件数	792	5		1	27	11		86	1	12	539	102		3	5
	搬送件数	684				21	9		73	1	8	470	102			
	搬送人員	685				22	9		73	1	8	470	102			
4月	出動件数	765	4			35	5	10	82	4	15	485	117		2	6
	搬送件数	682	1			30	5	10	74	3	13	429	117			
	搬送人員	689	1			36	5	10	74	3	13	430	117			
5月	出動件数	766	3		1	30	6	4	89	4	6	500	117		3	3
	搬送件数	691	1			23	6	4	82	3	4	452	116			
	搬送人員	694	1			26	6	4	82	3	4	452	116			
6月	出動件数	752	5		1	37	4	10	85	1	7	470	120		1	11
	搬送件数	676	1			30	4	10	83	1	7	420	120			
	搬送人員	681	1			35	4	10	83	1	7	420	120			
7月	出動件数	902	1			35	8	4	94	3	7	601	133		4	12
	搬送件数	807				28	7	4	85	2	4	545	132			
	搬送人員	812				30	7	5	86	2	4	545	133			
8月	出動件数	1,005	2		1	39	14	6	115	7	3	660	142		1	15
	搬送件数	871				27	13	6	106	5	2	570	142			
	搬送人員	876				31	13	6	106	5	2	571	142			
9月	出動件数	877	2			41	7	7	92	4	15	567	135		1	6
	搬送件数	780				36	7	6	81	4	9	502	135			
	搬送人員	783				39	7	6	81	4	9	502	135			
10月	出動件数	811	2			40	3	7	97		8	502	146		1	5
	搬送件数	719				30	3	7	83		3	447	146			
	搬送人員	724				34	3	7	84		3	447	146			
11月	出動件数	822	1			32	8	6	107	2	8	542	106		2	8
	搬送件数	733				28	8	5	103	1	6	476	106			
	搬送人員	733				28	8	5	103	1	6	476	106			
12月	出動件数	949	2			38	2	3	122	4	8	639	124			7
	搬送件数	835	1			28	2	3	110	2	4	562	123			
	搬送人員	843	1			30	2	3	111	3	4	566	123			
累計	出動件数	10,050	37	1	4	403	76	58	1,134	34	104	6,603	1,476		20	100
	搬送件数	8,879	7	1		318	72	56	1,027	26	72	5,827	1,473			
	搬送人員	8,929	7	1		356	72	57	1,030	27	72	5,833	1,474			

月別出動件数



令和6年 救急隊別出動状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日

救急隊別	種別 区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
古川1	出動件数	1,642	10			82	10	13	189	9	28	1,031	252		5	13
	搬送人員	1,428	1			77	10	13	165	5	19	887	251			
古川2	出動件数	1,630	6	1		90	13	11	174	9	20	1,066	221		8	11
	搬送人員	1,468	2	1		85	13	11	157	8	15	955	221			
志田	出動件数	900				23	3	8	103	1	5	620	132			5
	搬送人員	842				22	3	8	101	1	5	570	132			
田尻	出動件数	657				17	1	7	89	2	7	505	19			10
	搬送人員	585				14	1	8	80	2	4	457	19			
三本木	出動件数	540	2		1	34	6	3	65	2	7	348	57		1	14
	搬送人員	468	1			29	5	3	56	2	4	311	57			
鳴子	出動件数	447	1			17	5	2	58		6	304	50			4
	搬送人員	412				17	4	2	58		3	278	50			
岩出山	出動件数	681	1			16	9	1	76		5	495	73			5
	搬送人員	620	1			14	9	1	69		4	450	72			
加美	出動件数	996	7		3	42	12	3	120	5	7	676	106			15
	搬送人員	866	1			36	12	3	109	4	4	591	106			
西部	出動件数	499	1			19	3		61	1	1	384	25			4
	搬送人員	451	1			19	3		55	1		346	26			
遠田1	出動件数	1,308	9			44	9	7	144	5	14	913	148			15
	搬送人員	1,088				26	8	6	127	4	12	758	147			
遠田2	出動件数	369				16	5	3	54		4	238	45			4
	搬送人員	328				15	4	2	52		2	208	45			
機動	出動件数	380				3			1			22	348		6	
	搬送人員	372				2			1			21	348			
その他	出動件数	1										1				
	搬送人員	1										1				
累計	出動件数	10,050	37	1	4	403	76	58	1,134	34	104	6,603	1,476		20	100
	搬送人員	8,929	7	1		356	72	57	1,030	27	72	5,833	1,474			

令和6年 出動先別救急出動状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日

地域別	種別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
	区 分												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
大 崎 市	出動件数	6,622	23	1	1	265	45	39	730	22	77	4,198	1,141		20	60
	搬送人員	5,945	5	1		244	44	40	666	17	53	3,736	1,139			
色 麻 町	出動件数	335	2			13	4	3	32	1	2	225	49			4
	搬送人員	301	1			8	4	3	31	1	1	203	49			
加 美 町	出動件数	1,107	6		3	48	11	2	134	5	6	798	81			13
	搬送人員	975	1			47	10	2	119	4	3	707	82			
涌 谷 町	出動件数	832	1			27	9	4	90	1	6	545	142			7
	搬送人員	716				16	8	2	82	1	5	461	141			
美 里 町	出動件数	1,129	5			42	7	10	147	5	13	824	63			13
	搬送人員	975				35	6	10	131	4	10	716	63			
高 速 道 路	出動件数	23				8			1			13				1
	搬送人員	17				6			1			10				
管 外	出動件数	2														2
	搬送人員															
累 計	出動件数	10,050	37	1	4	403	76	58	1,134	34	104	6,603	1,476		20	100
	搬送人員	8,929	7	1		356	72	57	1,030	27	72	5,833	1,474			

令和6年 傷病程度・年齢別搬送人員の状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日

年 齢 区 分	年 齢 区 分 内 訳	種 別 区 分	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
新 生 児	生 後 2 8 日 未 満	死 亡												
		重 症	2											2
		中 等 症	19											19
		軽 症	2							1				1
		そ の 他												
		計	23							1				22
乳 幼 児	2 8 日 ～ 6 歳	死 亡												
		重 症	10							1			7	2
		中 等 症	87				1			9			69	8
		軽 症	133				6			27			96	4
		そ の 他												
		計	230				7			37			172	14
少 年	7 歳 ～ 1 7 歳	死 亡												
		重 症	9				2			1			1	5
		中 等 症	112				13		25	10		5	53	6
		軽 症	135				22		21	21		1	70	
		そ の 他												
		計	256				37		46	32		6	124	11
成 人	1 8 歳 ～ 6 4 歳	死 亡	12					1		1		3	7	
		重 症	207	1			13	4	1	11		15	105	57
		中 等 症	1,192				91	31	4	71	4	23	746	222
		軽 症	783	1			78	22	4	74	17	13	541	33
		そ の 他												
		計	2,194	2			182	58	9	157	21	54	1,399	312
高 齢 者	6 5 歳 以 上	死 亡	118				1			3		3	111	
		重 症	783	2			12	2		50		3	497	217
		中 等 症	3,782	1	1		64	8	1	477	4	4	2,424	798
		軽 症	1,543	2			53	4	1	273	2	2	1,106	100
		そ の 他												
		計	6,226	5	1		130	14	2	803	6	12	4,138	1,115
合 計		死 亡	130				1	1	0	4		6	118	
		重 症	1,011	3			27	6	1	63		18	610	283
		中 等 症	5,192	1	1		169	39	30	567	8	32	3,292	1,053
		軽 症	2,596	3			159	26	26	396	19	16	1,813	138
		そ の 他												
		計	8,929	7	1		356	72	57	1,030	27	72	5,833	1,474

令和6年 救急隊員の行った応急処置状況（その1）

令和6年1月1日～令和6年12月31日

令和6年1月1日～令和6年12月31日

事故種別 傷病程度		応急処置 対 応 象 急 人 員 置	止 血	固 定	人 工 呼 吸	心 マ ッ サ ー ジ	うち 自 動	心 肺 蘇 生	うち 自 動	酸 素 吸 入	気 道 確 保				保 温	
											※ 1	※ 2	※ 3	※ 4		
急 病	死 亡	118						118	87	118	118	2		48	4	74
	重 症	610	2		15	1		125	108	307	175	6		78	1	218
	中 等 症	3,292	20	28	7					523	43					791
	軽 症	1,813	29	6						76	8					395
	その他															
	計	5,833	51	34	22	1		243	195	1,024	344	8		126	5	1,478
交 通 事 故	死 亡	1		1				1		1	1			1		1
	重 症	27	12	23				2		11	3			1		11
	中 等 症	169	20	97						3						43
	軽 症	159	14	65						1						19
	その他															
	計	356	46	186				3		16	4			2		74
一 般 負 傷	死 亡	4						4	3	4	4		1	2	1	2
	重 症	63	4	17				10	8	15	12		3	5	1	11
	中 等 症	567	80	123						28	0					145
	軽 症	396	93	53						10	1					75
	その他															
	計	1,030	177	193				14	11	57	17		4	7	2	233
そ の 他	死 亡	7		2				7	7	7	7	2		4		3
	重 症	311	2	8	1			8	7	128	14	2		4	1	94
	中 等 症	1,164	21	42	3					234	6					295
	軽 症	228	15	13						23						45
	その他															
	計	1,710	38	65	4			15	14	392	27	4		8	1	437
合 計	死 亡	130		3				130	97	130	130	4	1	55	5	80
	重 症	1,011	20	48	16	1		145	123	461	204	8	3	88	3	334
	中 等 症	5,192	141	290	10					788	49					1,274
	軽 症	2,596	151	137						110	9					534
	計	8,929	312	478	26	1		275	220	1,489	392	12	4	143	8	2,222
気道確保																
※ 1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保																
※ 2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去																
※ 3 救急救命士がラリングアルマスク等を使用して施した気道確保																
※ 4 救急救命士が気管挿管により施した気道確保																

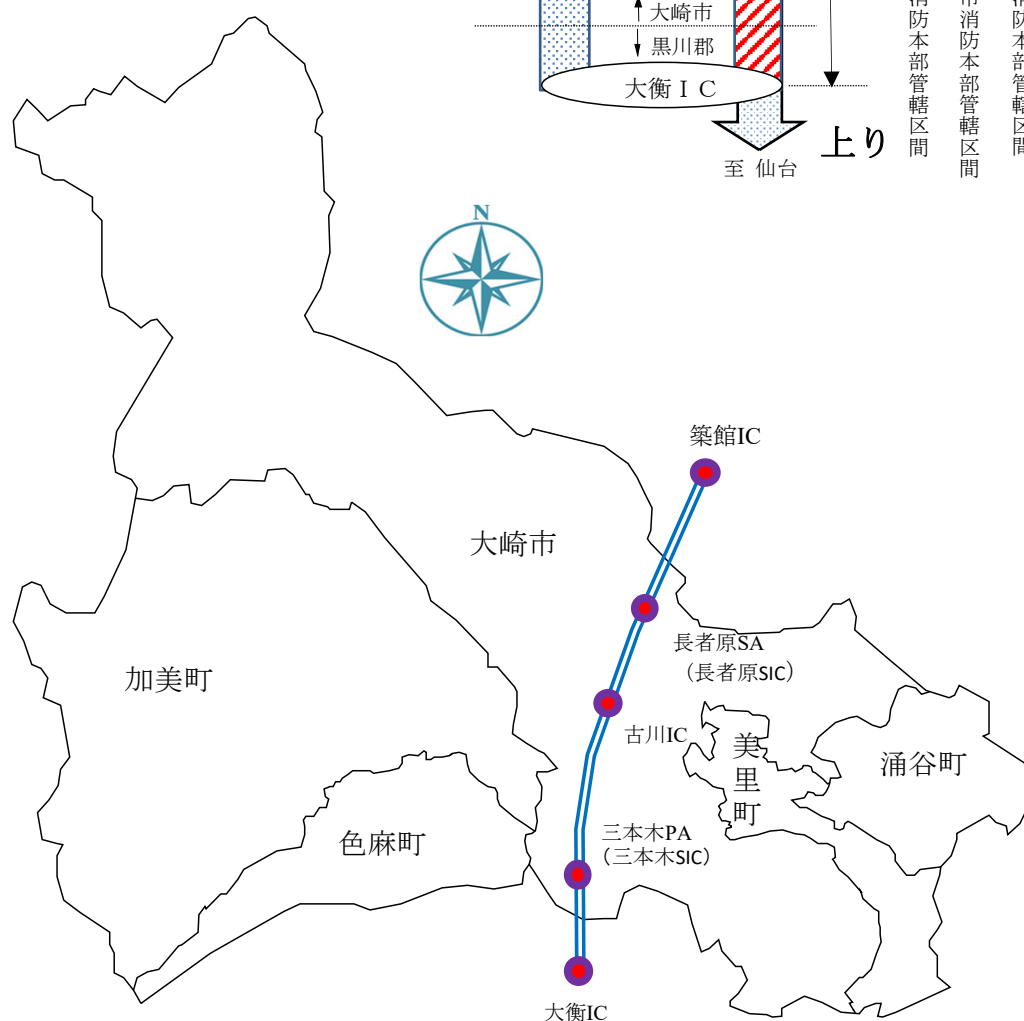
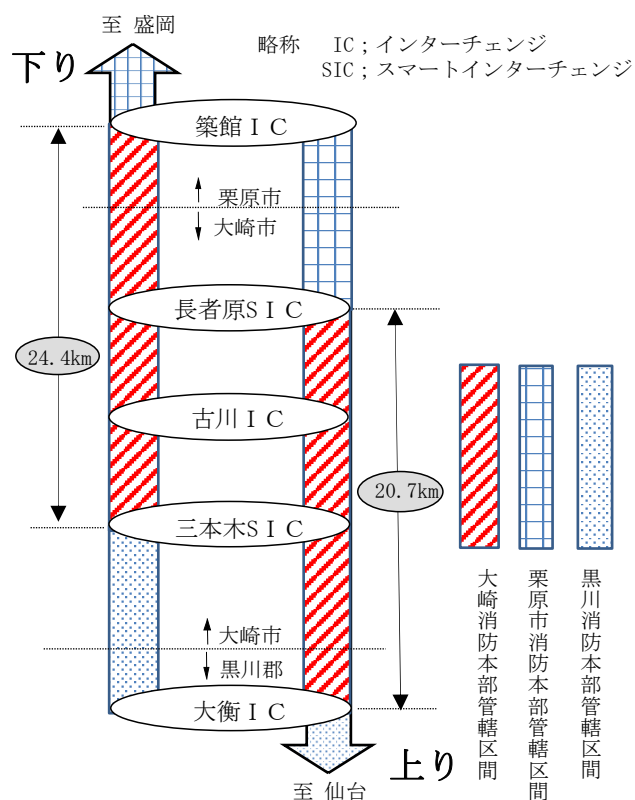
令和6年 救急隊員の行った応急処置状況（その2）

令和6年1月1日～令和6年12月31日

応急処置 事故種別 傷病程度		被 覆	在宅療法継続			S P による 血圧保持	除 細 動	静 脈 路 確 保 ・ C P A 前	静 脈 路 確 保 ・ C P A 後	薬 剤 投 与	血 糖 測 定	ブ ド ウ 糖 投 与	血 圧 測 定	聴 診 器 に よ る 聴 取	血 中 酸 素 飽 和 度 の 測 定	心 電 図	心 電 図 伝 送	そ の 他 の 応 急 処 置	計	
			※A	※B	※C															
急病	死 亡		1		1		5		47	23			4	97	12	114		107	838	
	重 症	2	12	1		11		13	15	66	49	32	2	501	281	509	587	53	578	3,490
	中 等 症	14	27	1	2	24			31			77	12	3,260	1,008	3,290	3,115	208	3,289	15,535
	軽 症	8	11			11			10			21	7	1,773	452	1,813	1,638	42	1,811	8,058
	そ の 他																			
	計	24	51	2	3	46		18	56	113	72	130	21	5,538	1,838	5,624	5,454	303	5,785	27,921
交通事故	死 亡								1	1				1		1		1	10	
	重 症	7							1					26	23	26	27		26	198
	中 等 症	28									1			169	79	168	151		169	928
	軽 症	13												153	58	156	119		159	757
	そ の 他																			
	計	48							1	1	1	1		348	161	350	298		355	1,893
一般負傷	死 亡						2		1					4		4		4	29	
	重 症	7							4	3				53	20	55	49	1	61	321
	中 等 症	92	1			1			4					562	119	567	490		567	2,778
	軽 症	111	2			2								379	64	393	285		395	1,861
	そ の 他																			
	計	210	3			3		2	4	5	3			994	207	1,015	828	1	1,027	4,989
その他	死 亡								3	2				1	7	1	7		5	52
	重 症	4	1		1				5	4				302	61	305	289	12	307	1,533
	中 等 症	23	1		1									1,142	208	1,161	1,058	34	1,160	5,354
	軽 症	18												226	47	228	196	6	228	1,039
	そ の 他																			
	計	45	2		2					8	6			1,671	323	1,695	1,550	52	1,700	7,978
合計	死 亡	0	1		1		7		52	26				5	109	13	126		117	929
	重 症	20	13	1	1	11	13	16	75	56	32	2	882	385	895	952	66	972	5,542	
	中 等 症	157	29	1	3	25		35			78	12	5,133	1,414	5,186	4,814	242	5,185	24,595	
	軽 症	150	13			13		10			21	7	2,531	621	2,590	2,238	48	2,593	11,715	
	計	327	56	2	5	49		20	61	127	82	131	21	8,551	2,529	8,684	8,130	356	8,867	42,781
1 在宅療法 ※A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの ※B 気道切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻処置が施されているもの ※C ※A、※B以外の処置が施されているもの																				
2 計欄については、(その1)止血から(その2)心電図までの集計である。																				

東北自動車道における救急出動件数・搬送人員（過去5年間）

年	区 分	計	事 故 種 別		
			交 通	急 病	そ の 他
令和2年	出動件数	18	9	6	3
	搬送人員	21	14	6	1
	不搬送	3	1		2
令和3年	出動件数	28	15	11	2
	搬送人員	29	18	9	2
	不搬送	4	2	2	
令和4年	出動件数	28	10	12	6
	搬送人員	23	9	10	4
	不搬送	5	1	2	2
令和5年	出動件数	18	6	10	2
	搬送人員	18	8	9	1
	不搬送	2		1	1
令和6年	出動件数	23	8	13	2
	搬送人員	17	6	10	1
	不搬送	6	2	3	1

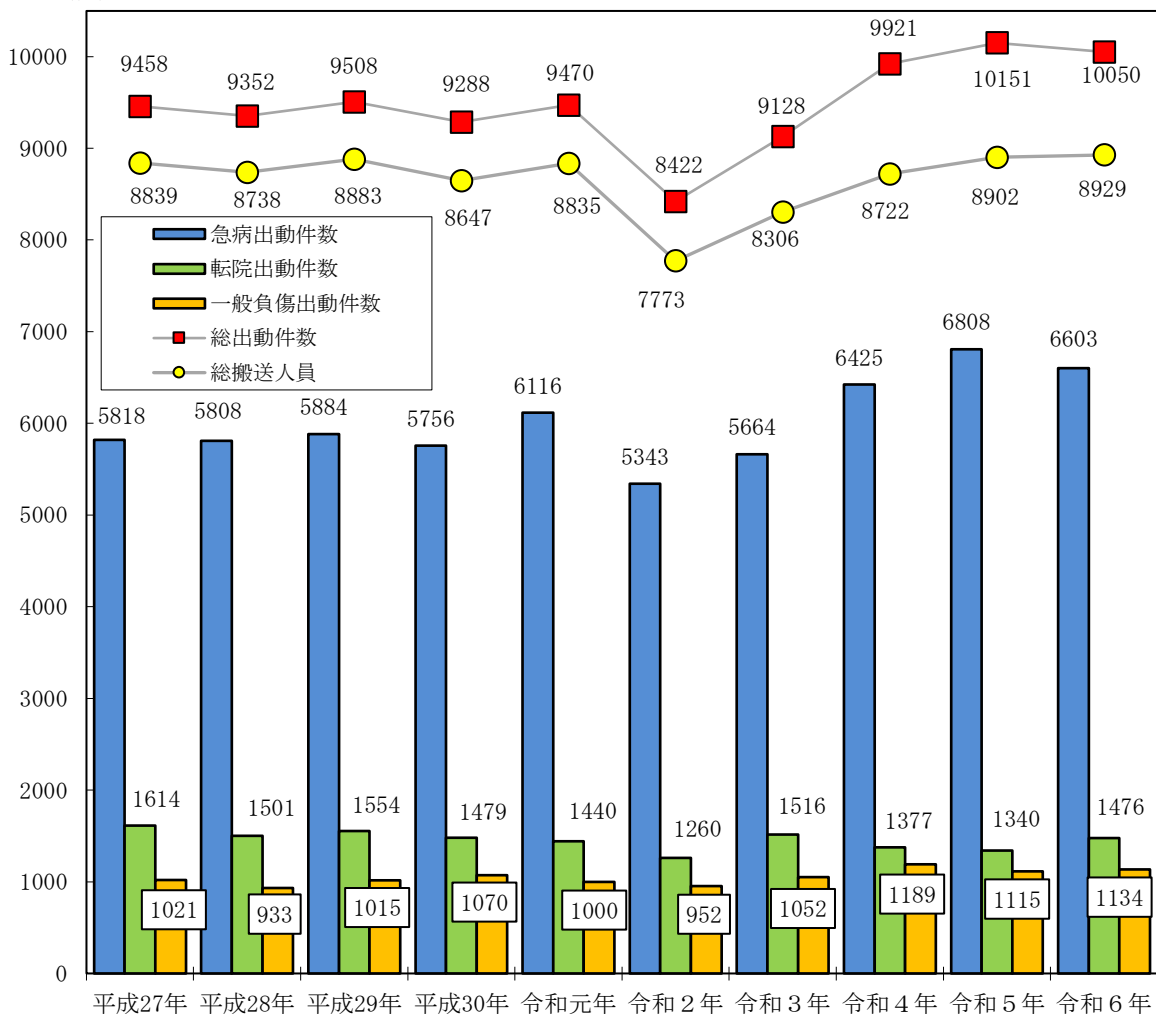


過去5年間の発生場所別救急出動件数

年 別 市町別・その他	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
大 崎 市	5,470	6,074	6,574	6,765	6,622
色 麻 町	299	339	347	344	335
加 美 町	980	1,006	1,037	1,104	1,107
涌 谷 町	737	749	858	876	832
美 里 町	917	932	1,072	1,041	1,129
高 速 道 路	18	28	28	18	23
管 外	1	0	5	3	2
計	8,422	9,128	9,921	10,151	10,050

(件)

過去10年間の救急出動件数の推移



令和6年 事故種別医療機関別搬送人員

(上段・本年搬送人員 下段・前年搬送人員)

種 別 地 域			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他	
搬送人員			7	1		356	72	57	1,030	27	72	5,833	1,476		20	100	8,929
			12			380	88	56	988	22	60	5,962	1,334				8,902
医療機関	管内	大崎市	6	1		301	63	54	900	25	69	5,103	1,192				7,714
			8			309	64	45	856	19	57	4,977	1,063				7,398
		加美郡				11	5	1	45	1		182	12				257
			1			21	6	6	45	1	1	255	15				351
		遠田郡				33	2	1	58		1	318	45		3		458
						29	8	3	64	2		475	22				603
	大崎管内合計		6	1		345	70	56	1,003	26	70	5,603	1,249				8,429
			9			359	78	54	965	22	58	5,707	1,100				8,352
	管外	仙台市				2	1		1			50	111				165
							3		4		1	59	113				180
		栗原市				2			10			28	13				53
						9	2		3			18	13				45
		登米市				1			5	1		3	8				18
						6	1		1			8	7				23
		黒川郡					1		1			18	7				27
						1			5			26	2				34
		富谷市											6				6
												1	4				5
		石巻市				2			6		1	44	53				106
						1	2	1	5			68	70				147
		東松島市						1	1			56	21				79
						2			5			45	16				68
		塩釜市				1						8	2				11
												7					7
		宮城郡										2					2
												2					2
		名取市											2				2
												4					4
		岩沼市															
		柴田郡															
													1				1
		白石市															
		気仙沼市															
													2				2
		本吉郡															
													2				2
		県外										1	2				3
												1	4				5
	大崎管外合計					8	2	1	24	1	1	210	225				472
						19	8	1	23		1	235	238				525
	ドクターヘリ		1			3			3		1	20					28
			3			2	2	1			1	20					29

応急手当講習会等の現況

令和6年中における一般住民を対象とした応急手当講習会等の受講者数は、普通救命講習会 141 回 2,094 人、上級救命講習会 7 回 115 人、普及員講習会 1 回 9 人、救命入門コース 161 回 3,094 人、応急手当講習会 49 回 1,155 人で、合計 6,467 人で、特に救命入門コース受講者数が大幅に増加しました。

また、令和6年中、救急隊が傷病者のもとに到着するまでの間に、傷病者の近くにいた家族や一般住民等による応急手当は 480 件実施されました。その中でも、心疾患が原因で目の前で倒れた傷病者に対して、心臓マッサージ等の応急手当の実施率が高くなったことにより、心拍再開及び社会復帰率の向上に繋がりました。

今後も、救急車が到着するまでの「いのちに係わる時間」の重要性について、幅広い年代に普及啓発を図り、救命効果の向上に努めてまいります。



応急手当普及啓発活動（一般住民対象）



普通救命講習会（中学生対象）

応急手当講習会等の開催状況

1. 講習会別開催状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日

種 別	開催回数	受講者数	内 容
普通救命講習会	141回	2,094人	心肺蘇生法（成人）・大出血時の止血等の講習 （講習時間 3 時間）
（WEB講習）	（50回）	（701人）	（講習時間 2 時間）
上級救命講習会	7回	115人	心肺蘇生法（成人・小児・乳児）・大出血時の止血・ 傷病者管理・外傷手当・搬送法等の講習 （講習時間 8 時間）
（WEB講習）	（2回）	（7人）	（講習時間 2 時間）
普及員講習会	1回	9人	事業所・地域団体等の従業員に対して普通救命講習を 指導できるための講習 （講習時間24時間）
救命入門コース	161回	3,094人	対象者は小学生中高学年以上（概ね10歳以上）とし、 カリキュラムは胸骨圧迫とAEDの使用法
応急手当講習会	49回	1,155人	病気・ケガ・事故等の時、医師の治療を受けるまでの 簡単な応急手当の講習
合 計	359回	6,467人	

2. 講習会ごと性別及び年代別受講者数

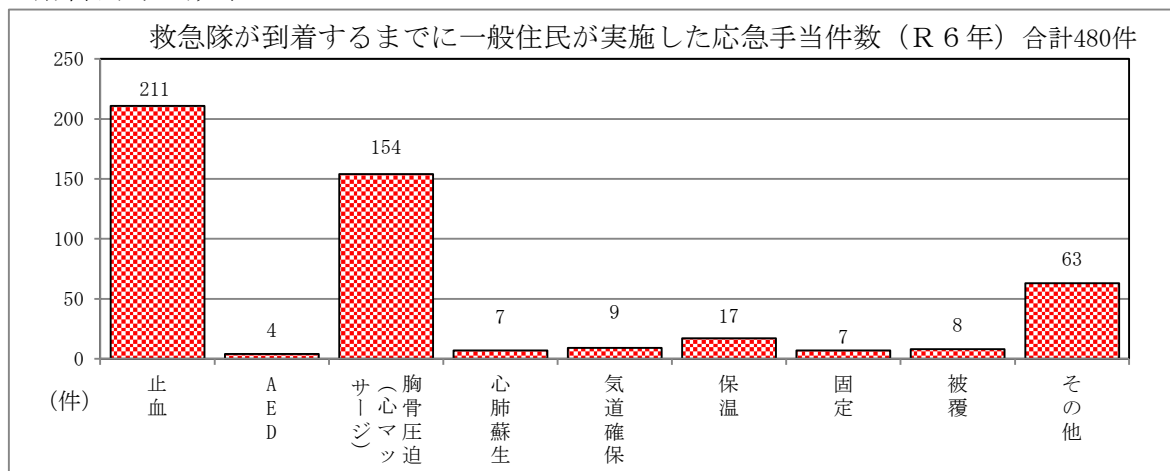
令和6年1月1日～令和6年12月31日

講習種別	年代 性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	合計
普通救命講習	男性（人）	377	144	126	189	141	100	37	3	1,117
	女性（人）	370	67	97	134	127	127	51	4	977
	合計（人）	747	211	223	323	268	227	88	7	2,094
上級救命講習	男性（人）	5	5	12	11	7	3	7		50
	女性（人）	38	10	3	9	5				65
	合計（人）	43	15	15	20	12	3	7		115
普及員講習	男性（人）				1	1	2			4
	女性（人）			1	1	2	1			5
	合計（人）			1	2	3	3			9
救命入門コース	男性（人）	455	146	134	173	171	106	26	5	1,216
	女性（人）	384	274	340	319	293	200	62	6	1,878
	合計（人）	839	420	474	492	464	306	88	11	3,094
合 計	男性（人）	837	295	272	374	320	211	70	8	2,387
	女性（人）	792	351	441	463	427	328	113	10	2,925
	合計（人）	1,629	646	713	837	747	539	183	18	5,312

3. 講習会ごと年別受講者数

講習種別	年 別	回数 (回)	性 別		合 計
			男性 (人)	女性 (人)	
普通救命講習	平成9年～平成27年	2,616	26,886	28,308	55,194
	平成28年	146	1,380	1,270	2,650
	平成29年	185	1,978	1,632	3,610
	平成30年	150	1,445	1,506	2,951
	令和元年	149	1,592	1,359	2,951
	令和2年	103	797	543	1,340
	令和3年	84	500	463	963
	令和4年	21	104	93	197
	令和5年	132	1,035	1,032	2,067
	令和6年	141	1,117	977	2,094
	小 計	3,727	36,834	37,183	74,017
上級救命講習	平成11年～平成27年	103	1062	1,991	3,053
	平成28年	8	88	113	201
	平成29年	6	76	92	168
	平成30年	7	47	94	141
	令和元年	5	28	80	108
	令和2年	1	8	9	17
	令和3年				
	令和4年	1	5	1	6
	令和5年	5	23	59	82
	令和6年	7	50	65	115
	小 計	143	1,387	2,504	3,891
普及員講習	平成12年～平成27年	22	170	236	406
	平成28年	1	5	2	7
	平成29年	1	6	2	8
	平成30年	2	2	11	13
	令和元年	1	5	4	9
	令和2年				
	令和3年				
	令和4年				
	令和5年	1	5	1	6
	令和6年	1	4	5	9
	小 計	29	197	261	458
救急入門コース	平成24年～平成27年	18	361	393	754
	平成28年	9	147	170	317
	平成29年	11	206	177	383
	平成30年	9	125	118	243
	令和元年	40	452	502	954
	令和2年	22	154	203	357
	令和3年	17	95	124	219
	令和4年	5	31	50	81
	令和5年	76	532	936	1,468
	令和6年	161	1,216	1,878	3,094
	小 計	368	3,319	4,551	7,870
合 計		4,267	41,737	44,499	86,236

4. 講習会等の効果



救助業務の現況

令和6年中における救助出動件数は43件で前年より5件減少し、救助人員は22人で前年より10人減少しました。

事故種別では、交通事故が34件と出動件数全体の79.1%を占めており、その他に水難事故が2件、機械による事故が1件、その他の事故が6件となっています。

大崎管内は広大な山岳地帯を有することから、登山や山菜採りなどを目的とした入山者の滑落事故等を想定し、実環境下において隊相互の連携と災害対応能力の向上を目的に、指揮隊及び全署救助隊が合同で救助訓練を実施するなど、救助体制の充実強化に努めております。



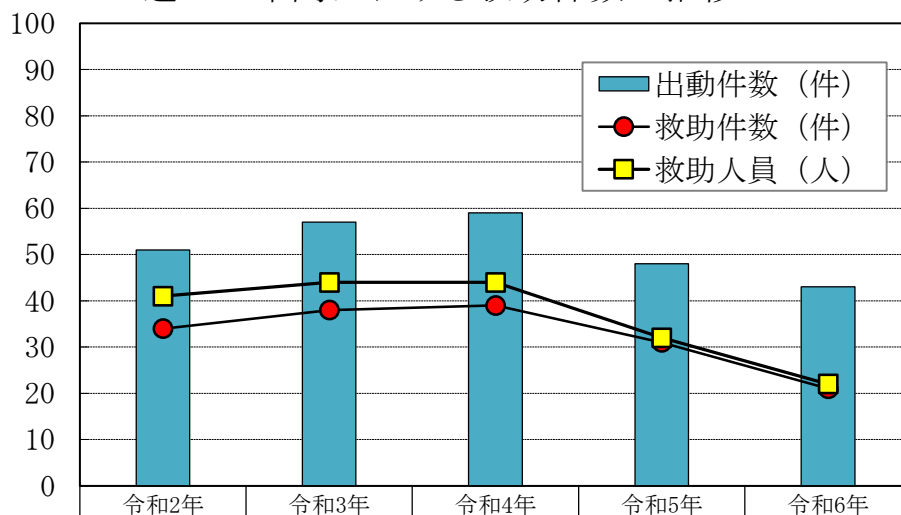
山岳救助訓練

令和6年 救助活動状況

令和6年1月1日～令和6年12月31日

区分		火災		交通事故	水難事故	自然風水災害等	機械による事故	建物等による事故	酸ガス及び事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
出動件数				34	2		1				6	43
救助件数				16	2						3	21
救助人員				17	2						3	22
出動人員	専任救助隊員											
	兼任救助隊員			136	17		4				31	188
	消防隊員			204	16		5				45	270
	救急隊員			120	6		3				18	147
	消防団員											
計				460	39		12				94	605
出動車両	救助工作車			12	2		1				4	19
	消防ポンプ自動車			57	5		1				9	72
	はしご車										1	1
	化学車			3							1	4
	指揮・司令車			35	2		1				7	45
	救急自動車			40	2		1				6	49
	船舶											
	ヘリコプター											
	その他の車両			4	2						2	8
計				151	13		4				30	198
事故発生場所	住居										1	1
	その他の屋内										1	1
	高速自動車国道等			2								2
	その他の道路			23							1	24
	内水面			2	2						2	6
	外水面											
	山岳											
	その他の屋外			6								6
	地下											
	その他			1			1				1	3
計				34	2		1				6	43
搬送別人員	救急自動車			13							1	14
	ヘリコプター											
	その他の車両											
	消防機関以外											

過去5年間にける救助件数の推移



出動件数 (件)	51	57	59	48	43
救助件数 (件)	34	38	39	31	21
救助人員 (人)	41	44	44	32	22

消防装備等機械器具保有状況

令和7年4月1日現在

区分	装備名	数量	区分	装備名	数量
一般救助用器具	かぎ付き梯子	8	主な資機材	無人航空機（ドローン）	1
	バスケットストレッチャ（折り畳み式含む）	7		携帯警報機	19
	三連梯子（二連梯子除く）	18		活線警報器	5
	金属製折りたたみ梯子又はワイヤ梯子	2		空気充填機	4
	救命索発射銃	3		携帯無線機	54
	救助用縛帯（訓練用、ヘリ用縛帯を除く）	15		衛星携帯電話	7
	平担架	2	検用知器・具測定	可燃性ガス・有毒ガス測定器	6
	滑車（山岳救助用除く）	20		酸素濃度測定器	6
	サバイバースリング	4		放射線測定器	21
重量物排除器具	油圧ジャッキ	5	高度救助資器材	画像探査機Ⅰ型	1
	油圧スプレッダー（大型、コンビツール含む）	8		画像探査機Ⅱ型	1
	可搬式ウィンチ（チルホール）	11		地中音響探査機	1
	マット型空気圧ジャッキ	1		熱画像直視装置	7
	充電式油圧切断機マルチカッター	2		夜間用暗視装置	2
	充電式油圧切断機スプレッダー	3		地震警報器	1
	充電式油圧切断機バー（鉄筋）カッター	1	呼吸器具保護	空気呼吸器（訓練用を除く）	80
切断用器具	油圧切断機（大型、コンビツール含む）	7		酸素呼吸器	5
	エンジンカッター	12		送排風機	3
	ガス溶断機	1	隊員保護器具	耐電手袋（耐電検査合格品のみ）	18
	チェンソー（ダイヤモンドその他含む）	27		耐電衣（耐電検査合格品のみ）	5
	鉄線カッター	18		耐電ズボン（耐電検査合格品のみ）	5
	空気鋸	1		耐電長靴（耐電検査合格品のみ）	17
破壊用器具	万能斧（レスキューバー含む）	46		耐熱服（化学車配備署所に限る）	9
	ハンマー	20		放射線防護服（タイベックスーツ除く）	7
	削岩機	1	水難救助器具	救命胴衣（使用可能なもの）	119
	ハンマードリル（ストライカー含む）	3		救命浮環	24
山岳用	登山器具一式	5		浮標	2
	バスケット担架	5		救命ボート	10
主な資機材	エアーカッター	1		船外機	5
	小型動力ポンプ B-2級（水槽車含む）	3	高度救急資器材等	気道確保用資器材一式	13
	フォグガン（クアドラノズル含む）	23		自動体外式除細動器（半自動含）	32
	無反動ノズル	6		ショックパンツ	13
	放水銃	2		輸液用資器材一式	13
	低発泡ノズル	4		心電図電送装置	13
	発動発電機 500W～900W	25		患者監視装置（救急車積載品に限る）	13
	発動発電機 1KW（エアーテント用含む）	8		オートクレープ滅菌器（高圧蒸気）	1
	エアーテント	5		紫外線滅菌ロッカー	3

防 予

令和7年度 大崎広域防火ポスター



防火ポスターコンクール最優秀賞
涌谷町立涌谷第一小学校 北田 陽之 さんの作品

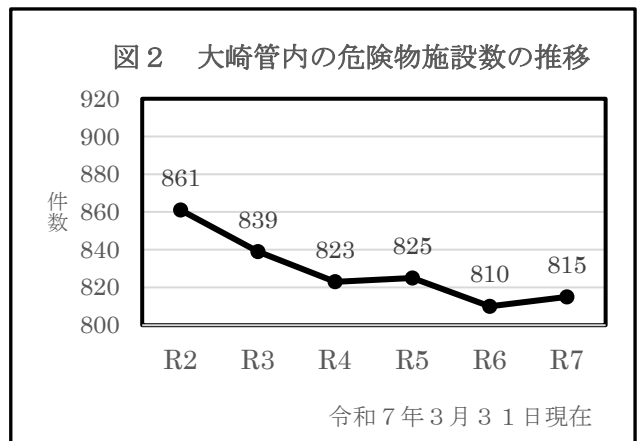
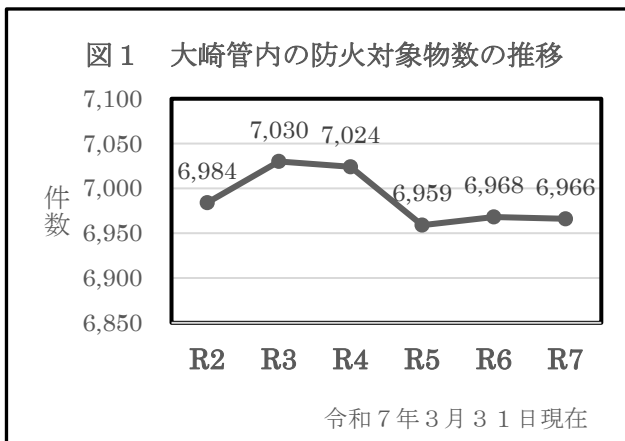
令和7年度 大崎広域防火標語
火の始末 使った人が 責任者

防火標語コンクール最優秀賞
美里町立不動堂中学校 荒井 翼 さんの作品

予防業務の現況

防火対象物数は、令和 7 年 3 月 31 日現在、6,966 件（前年比 2 件減）であり、令和 3 年をピークに減少傾向にありましたが、令和 5 年以降横ばいの状況が続いております。（図 1 参照）

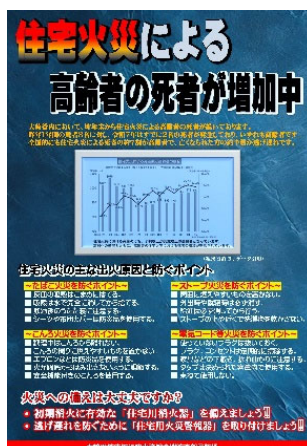
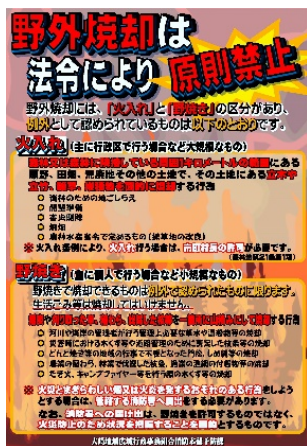
危険物施設数は、令和 7 年 3 月 31 日現在、815 件（前年比 5 件増）と、令和 6 年の減少から僅かな増加に転じております。（図 2 参照）



当消防本部における火災発生件数は、令和に入ってから 50 件前後の少ない件数で推移しておりますが、一方、火災による死傷者は、火災件数に関係なく毎年一定程度発生している状況です。

このことから、出火原因や死傷者の発生要因を分析し、火災による死傷者の根絶を図るため、種々リーフレットを作成して手渡しによる直接指導を実施、また、ホームページ掲載や報道機関の協力のもと、火災予防対策の広報活動等を行っております。

秋の全国火災予防運動では、大崎市の宝大使であるイガグリ千葉氏を一日消防署長に委嘱し、管内の幼年消防クラブと連携した火災予防広報等を実施し、新聞やテレビに取り上げられるなど、地域と連携した火災予防啓発活動を行いました。社会情勢の変化や想定外の事故、社会的影響の大きい災害など、予防行政を取り巻く環境に対し、時機を失することなく関係者に積極的な指導を行い、火災予防に努めております。



火災予防広報リーフレット

火災予防運動行事（一日消防署長）

防火対象物数

令和7年3月31日現在

防火対象物区分 署 別 市町別			古川消防署	鳴子消防署	小計	加美消防署		小計	遠田消防署		小計	合 計
			大 崎 市			加 美 町	色 麻 町		涌 谷 町	美 里 町		
1項	イ	劇場・映画館等	9	1	10	5		5	1	3	4	19
	ロ	公会堂・集会場	103	18	121	34	18	52	17	26	43	216
2項	イ	バー・キャバレー等	1		1							1
	ロ	遊技場 ダンスホール等	12		12	3		3	2	3	5	20
	ハ	性風俗関連特殊営業店 舗										
	ニ	個室利用役務提供店舗	4		4	1		1				5
3項	イ	待合・料理店等	2		2							2
	ロ	飲食店	84	17	101	14	2	16	9	11	20	137
4項		百貨店 マーケット等	232	25	257	38	6	44	23	29	52	353
5項	イ	旅館・ホテル等	33	66	99	12	1	13	1	1	2	114
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	1,088	68	1,156	89	24	113	37	95	132	1,401
6項	イ	(1) 特定診療科名を有する 等の病院	4	1	5		1	1	1	2	3	9
		(2) 特定診療科名を有する 等の診療所	1		1							1
		(3) (1)、(2)を除く病院・診療 所、助産所（入所）等	16	1	17				3		3	20
		(4) 入院・入所施設を有しない 診療所・助産所	56	3	59	14		14	3	14	17	90
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	76	11	87	9	3	12	11	26	37	136
		(2) 救護施設										
		(3) 乳児院										
		(4) 障害児入所施設										
		(5) 障害者支援施設等	10		10				2	1	3	13
	ハ	(1) 老人デイサービス等	35	4	39	5	2	7	6	4	10	56
		(2) 更生施設										
		(3) 助産施設等	40	5	45	8	1	9	4	6	10	64
		(4) 児童発達支援センター 等	4	1	5	2	1	3				8
		(5) 身体障害者福祉セン ター等	21	8	29	3	2	5	5	8	13	47
	ニ	幼稚園・特別支援学校	22		22	3	1	4	3	8	11	37
7項		小・中・高、大学等	129	22	151	28	22	50	21	57	78	279
8項		図書館・美術館等	5	4	9	3		3	3	2	5	17
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等										
	ロ	9項イ以外の公衆浴 場	4	4	8	3	2	5	1		1	14
10項		車両の停車場等	1		1					2	2	3
11項		神社・寺院・教会等	65	13	78	18	4	22	7	18	25	125
12項	イ	工場・作業場	451	84	535	204	48	252	99	137	236	1,023
	ロ	映画・テレビスタジオ										
13項	イ	自動車庫車・駐車場	44	25	69	19	8	27	7	8	15	111
	ロ	飛行機等格納庫										
14項		倉庫	372	80	452	186	45	231	56	123	179	862
15項		前各項に該当しない事 業所	605	212	817	204	83	287	106	100	206	1,310
16項	イ	特定用途複合用途防火 対象物	184	36	220	34	6	40	19	23	42	302
	ロ	16項イ以外の複合対象 物	75	20	95	17	1	18	10	15	25	138
17項		文化財等	4	4	8	3		3	22		22	33
合計			3,792	733	4,525	959	281	1,240	479	722	1,201	6,966

特定防火対象物 1,650
 非特定防火対象物 5,316

地上5階未満、地上5階以上の防火対象物数

令和7年3月31日現在

署 別 区 分 防火対象物区分			古川消防署			鳴子消防署			加美消防署			遠田消防署			合計		
			地上 5 階未 満	地上 5 階以 上	小 計	地上 5 階未 満	地上 5 階以 上	小 計	地上 5 階未 満	地上 5 階以 上	小 計	地上 5 階未 満	地上 5 階以 上	小 計	地上 5 階未 満	地上 5 階以 上	合 計
1項	イ	劇場・映画館等	9		9	1		1	5		5	4		4	19		19
	ロ	公会堂・集会場	103		103	18		18	52		52	43		43	216		216
2項	イ	バー・キャバレー等	1		1										1		1
	ロ	遊技場 ダンスホール等	12		12				3		3	5		5	20		20
	ハ	性風俗関連特殊営業店 舗															
	ニ	個室利用役務提供店舗	4		4				1		1				5		5
3項	イ	待合・料理店等	2		2										2		2
	ロ	飲食店	84		84	17		17	16		16	20		20	137		137
4項		百貨店 マーケット等	232		232	25		25	44		44	52		52	353		353
5項	イ	旅館・ホテル等	26	7	33	57	9	66	13		13	2		2	98	16	114
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	1,053	35	1,088	63	5	68	111	2	113	129	3	132	1,356	45	1,401
6項	イ	(1) 特定診療科名を有する 等の病院	2	2	4	1		1	1		1	3		3	7	2	9
		(2) 特定診療科名を有する 等の診療所	1		1										1		1
		(1)、(2)を除く病院・診療 所、助産所（入所）等	13	3	16	1		1				3		3	17	3	20
		(4) 入院・入所施設を有しない 診療所・助産所	56		56	3		3	14		14	17		17	90		90
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	74	2	76	11		11	12		12	37		37	134	2	136
		(2) 救護施設															
		(3) 乳児院															
		(4) 障害児入所施設															
		(5) 障害者支援施設等	10		10							3		3	13		13
	ハ	(1) 老人デイサービス等	35		35	4		4	7		7	10		10	56		56
		(2) 更生施設															
		(3) 助産施設等	40		40	5		5	9		9	10		10	64		64
		(4) 児童発達支援センター 等	4		4	1		1	3		3				8		8
		(5) 身体障害者福祉セン ター等	21		21	8		8	5		5	13		13	47		47
	ニ	幼稚園・特別支援学校	22		22				4		4	11		11	37		37
7項		小・中・高、大学等	128	1	129	22		22	50		50	78		78	278	1	279
8項		図書館・美術館等	5		5	4		4	3		3	5		5	17		17
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等															
	ロ	9項イ以外の公衆浴 場	4		4	4		4	5		5	1		1	14		14
10項		車両の停車場等	1		1							2		2	3		3
11項		神社・寺院・教会等	65		65	13		13	22		22	25		25	125		125
12項	イ	工場・作業場	451		451	84		84	252		252	235	1	236	1,022	1	1,023
	ロ	映画・テレビスタジオ															
13項	イ	自動車車庫・駐車場	43	1	44	25		25	27		27	15		15	110	1	111
	ロ	飛行機等格納庫															
14項		倉庫	371	1	372	80		80	231		231	179		179	861	1	862
15項		前各項に該当しない事 業所	592	13	605	212		212	287		287	205	1	206	1,296	14	1,310
16項	イ	特定用途複合用途防火 対象物	178	6	184	36		36	40		40	42		42	296	6	302
	ロ	16項イ以外の複合対象 物	68	7	75	20		20	18		18	24	1	25	130	8	138
17項		文化財等	4		4	4		4	3		3	22		22	33		33
合計			3,714	78	3,792	719	14	733	1,238	2	1,240	1,195	6	1,201	6,866	100	6,966

※地上5階未満は、地下のみを含む。

防火対象物における防火管理の状況

令和7年3月31日現在

防火対象物区分 署 別 区 分			古川消防署			鳴子消防署			加美消防署			遠田消防署			合 計		
			法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数	法8条該当対象物	防火管理者選任数	消防計画届出数
1項	イ	劇場・映画館等	10	10	10	1	1	1	3	3	3	4	4	4	18	18	18
	ロ	公会堂・集会場	143	143	143	21	21	21	69	64	62	48	46	46	281	274	272
2項	イ	バー・キャバレー等	1	1	1										1	1	1
	ロ	遊技場 ダンスホール等	11	11	11				3	3	3	5	5	5	19	19	19
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗															
	ニ	個室利用役務提供店舗	4	4	4				1	1	1				5	5	5
3項	イ	待合・料理店等	2	2	2										2	2	2
	ロ	飲食店	87	78	78	10	10	10	14	14	14	18	18	18	129	120	120
4項		百貨店 マーケット等	181	178	178	22	21	21	36	36	36	48	48	46	287	283	281
5項	イ	旅館・ホテル等	19	18	18	48	48	48	5	5	5	2	2	2	74	73	73
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	41	39	39	4	4	4	7	7	6	12	10	10	64	60	59
6項	イ	(1) 特定診療科名を有する等の病院	4	4	4	1	1	1				3	3	3	8	8	8
		(2) 特定診療科名を有する等の診療所	1	1	1										1	1	1
		(3) (1)、(2)を除く病院・診療所、助産所(入所)等	14	14	14							2	2	2	16	16	16
		(4) 入院・入所施設を有しない診療所・助産所	17	17	17				3	3	3	5	5	5	25	25	25
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	61	61	61	9	9	9	8	8	8	31	31	31	109	109	109
		(2) 救護施設															
		(3) 乳児院															
		(4) 障害児入所施設															
		(5) 障害者支援施設等	2	2	2							2	2	2	4	4	4
	ハ	(1) 老人デイサービス等	13	13	13				5	5	5	4	4	4	22	22	22
		(2) 更生施設															
		(3) 助産施設等	35	34	34	4	4	4	6	6	6	5	5	5	50	49	49
		(4) 児童発達支援センター等	2	2	2										2	2	2
		(5) 身体障害者福祉センター等	8	8	8	2	2	2	2	2	2	4	4	4	16	16	16
	ニ	幼稚園・特別支援学校	9	9	9				2	2	2	6	6	6	17	17	17
7項		小・中・高、大学等	37	37	37	8	8	8	12	12	12	17	15	15	74	72	72
8項		図書館・美術館等	4	4	4	4	4	4	3	3	2	3	3	3	14	14	13
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等															
	ロ	9項イ以外の公衆浴場	2	2	2	3	3	3	1	1	1	1	1	1	7	7	7
10項		車両の停車場等															
11項		神社・寺院・教会等	35	33	33	7	7	7	13	13	13	18	18	18	73	71	71
12項	イ	工場・作業場	39	38	38	3	3	3	17	17	17	15	15	15	74	73	73
	ロ	映画・テレビスタジオ															
13項	イ	自動車車庫・駐車場															
	ロ	飛行機等格納庫															
14項		倉庫	2	2	2							2	2	2	4	4	4
15項		前各項に該当しない事業所	102	98	98	10	10	10	33	33	33	30	29	29	175	170	170
16項	イ	特定用途複合用途防火対象物	143	131	131	30	29	29	32	32	32	29	29	27	234	221	219
	ロ	16項イ以外の複合対象物	6	4	4	1	1	1	2	2	2				9	7	7
17項		文化財等	1	1	1										1	1	1
合計			1,036	999	999	188	186	186	277	272	268	314	307	303	1,815	1,764	1,756
届出比率%				96.4%	96.4%		98.9%	98.9%		98.2%	96.8%		97.8%	96.5%		97.2%	96.7%

定期点検報告制度該当防火対象物数

令和7年3月31日現在

署 別 市町別 防火対象物区分			古川消防署	鳴子消防署	小計	加美消防署		小計	遠田消防署		小計	合 計
			大 崎 市			加 美 町	色 麻 町		涌 谷 町	美 里 町		
1項	イ	劇場・映画館等	9	1	10	3		3	1	3	4	17
	ロ	公会堂・集会場	41	8	49	11	1	12	7	12	19	80
2項	イ	バー・キャバレー等										
	ロ	遊技場 ダンスホール等	9		9	3		3	2	2	4	16
	ハ	性風俗関連特殊営業 店舗										
	ニ	個室利用役務提供店 舗	1		1							1
3項	イ	待合・料理店等										
	ロ	飲食店		1	1							1
4項		百貨店 マーケット等	35	4	39	4		4	5	4	9	52
5項	イ	旅館・ホテル等	2	9	11	1		1				12
6項	イ	(1) 特定診療科名を有する等の病院	2		2							2
		(2) 特定診療科名を有する等の診療所										
		(3) (1)、(2)を除く病院・診療所、助産所（入所）等	6		6							6
		(4) 入院・入所施設を有しない診療所・助産所	1		1							1
	ロ	(1) 老人短期入所施設等	2		2							2
		(2) 救護施設										
		(3) 乳児院										
		(4) 障害児入所施設										
		(5) 障害者支援施設等										
	ハ	老人デイサービス等					1	1				1
ニ	幼稚園・特別支援学校	1		1							1	
9項	イ	蒸気浴場 熱気浴場等										
16項	イ	特定用途複合 用途防火対象物	24	8	32	7	3	10	2	3	5	47
合計			133	31	164	29	5	34	17	24	41	239

消防同意事務処理状況

令和6年度

署 別 市町別 種 別		古川消防署	鳴子消防署	小計	加美消防署		小計	遠田消防署		小計	合計
		大崎市			加美町	色麻町		涌谷町	美里町		
新	築	117	7	124	14	9	23	15	22	37	184
増	築	20	5	25	2		2	1		1	28
改	築					1	1				1
移	転										
修	繕										
模	様	替									
用	途	変	1	2	3			1		1	4
そ	の	他									
合	計	138	14	152	16	10	26	17	22	39	217
消防設備設置指導を行った		43	5	48							48

危険物施設状況

令和7年3月31日現在

署 別 施設区分		古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
危険物施設数（完成施設）	製 造 所	2	1			3
	屋 内 貯 蔵 所	49	14	11	15	89
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	30	10	12	14	66
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	2		3	1	6
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	110	39	48	26	223
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所					
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	49	14	46	52	161
	屋 外 貯 蔵 所	3	1	1	2	7
	給 油 取 扱 所	53	17	32	22	124
	販 売 取 扱 所					
	一 般 取 扱 所	64	23	30	19	136
	移 送 取 扱 所					
	合 計	362	119	183	151	815
数量別施設数	5 倍 以 下	160	56	97	85	398
	5 倍 を 超 え 1 0 倍 以 下	87	22	27	21	157
	1 0 倍 を 超 え 5 0 倍 以 下	58	17	35	24	134
	5 0 倍 を 超 え 1 0 0 倍 以 下	27	13	12	3	55
	1 0 0 倍 を 超 え 1 5 0 倍 以 下	8	4	3	4	19
	1 5 0 倍 を 超 え 2 0 0 倍 以 下	7	4	6	7	24
	2 0 0 倍を超えるもの	15	3	3	7	28
	合 計	362	119	183	151	815

危険物関係事務処理状況

令和6年度

署 別 許可区分 施設区分	古川消防署					鳴子消防署					加美消防署					遠田消防署					合 計				
	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認	許 可		完 成		仮 使用 承認
	設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更		設 置	変 更	設 置	変 更	
製 造 所		1		1																		1		1	
屋 内 貯 蔵 所						1	2	1	2	1						2		1			3	2	2	2	1
屋外タンク貯蔵所								6									1					1	6		
屋内タンク貯蔵所																									
地下タンク貯蔵所											3		3									3		3	
簡易タンク貯蔵所																									
移動タンク貯蔵所	2	2	2				1		1							2		2			4	3	4	1	
屋 外 貯 蔵 所																									
給 油 取 扱 所	1	3	1	4	3		1		1	1		2		2	2		3		4	3	1	9	1	11	9
一 般 取 扱 所		1		1			11	1	9	2		1		1			1		1			14	1	12	2
合 計	3	7	3	6	3	1	15	8	13	4		6		6	2	4	5	3	5	3	8	33	14	30	12

危険物関係申請状況

令和6年度

区 分	署 別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
タンクの水張，水圧検査（政令）				1	2	3
タンクの水張，水圧検査（条例）						
仮 貯 蔵		2		2		4
仮 取 扱		3		4		7

圧縮アセチレンガス等の届出状況

令和6年度

区 分	署 別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
圧縮アセチレンガス等	圧縮アセチレンガス	7			1	8
	無水硫酸	1				1
	液化石油ガス	812	99	164	70	1,145
	生石灰	3		2		5
	毒物	7			1	8
	劇物	34			1	35
指定可燃物等	可燃性固体類	2		1	1	4
	石炭・木炭類					
	可燃性液体類	12		3	2	17
	合成樹脂類	61	9	18	33	121
	再生資源燃料	4			2	6
	その他	54	19	23	14	110
	指定可燃物に類する物品					
少 量 危 険 物						
	移動タンク	38	21	15	20	94

予防査察実施状況

【防火対象物】

令和6年度

防火対象物区分			署別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合計
				実施件数	実施件数	実施件数	実施件数	実施件数
1項	イ	劇場・映画館等		2		3		5
	ロ	公会堂・集会場		29	7	29	16	81
2項	イ	バー・キャバレー等						
	ロ	遊技場・ダンスホール等		1		1	1	3
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗						
	ニ	個室利用役務提供店舗		1		1		2
3項	イ	待合・料理店等						
	ロ	飲食店		41	6	5	15	67
4項		百貨店・マーケット等		38	13	26	20	97
5項	イ	旅館・ホテル等		22	45	18	11	96
	ロ	寄宿舎・共同住宅等		25	10	6		41
6項	イ	(1) 特定診療科名を有し、療養病床又は一般病床を有する病院			1			1
		(2) 特定診療科名を有し、4人以上の患者を入院させるための施設を有する診療所						
		(3) (1)以外の病院、(2)以外の入院施設を有する診療所又は入所施設を有する助産所		2				2
		(4) 入院施設を有しない診療所、入所施設を有しない助産所		4		1	3	8
	ロ	(1) 老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、介護老人保健施設、老人短期入所事業を行う施設等		5	3	2	13	23
		(2) 救護施設						
		(3) 乳児院						
		(4) 障害児入所施設						
		(5) 障害者支援施設、短期入所、共同生活援助を行う施設		3			2	5
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム、老人福祉センター、老人介護支援センター、有料老人ホーム、老人デイサービス事業を行う施設等		4	1	2	3	10
		(2) 更生施設						
		(3) 助産施設、保育所、幼保連携型認定こども園等			2		1	3
		(4) 児童発達支援センター、情緒障害児短期治療施設、児童発達支援、放課後等デイサービスを行う施設			1	1		2
		(5) 身体障害者福祉センター、障害者支援施設、地域活動支援センター、福祉ホーム、生活介護、短期入所等		3	9		1	13
	ニ	幼稚園・特別支援学校		3		1		4
7項		小・中・高、大学等		15	6	13		34
8項		図書館・美術館等			1		1	2
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等						
	ロ	9項イ以外の公衆浴場		1		4		5
10項		車両の停車場等						
11項		神社・寺院・教会等		19	5	11	5	40
12項	イ	工場・作業場		93	20	40	2	155
	ロ	映画・テレビスタジオ						
13項	イ	自動車庫庫・駐車場		9	6	5		20
	ロ	飛行機等格納庫						
14項		倉庫		73	21	35	2	131
15項		前各項に該当しない事業所		104	57	34	2	197
16項	イ	特定用途複合用途防火対象物		32	9	16	14	71
	ロ	16項イ以外の複合対象物		20	3	4	1	28
17項		文化財等		4	4	4	22	34
実施件数合計				553	230	262	135	1,180

【危険物施設】

令和6年度

危険物施設区分			署別	古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合計
				実施件数	実施件数	実施件数	実施件数	実施件数
製造所				1	1			2
取扱所		給油取扱所		51	14	23	16	104
		一般取扱所		33	8	11	4	56
貯蔵所		屋内貯蔵所		15	6			21
		屋外貯蔵所		1	1			2
		屋内タンク貯蔵所						0
		屋外タンク貯蔵所		9	2			11
		地下タンク貯蔵所		26	7	5	2	40
		簡易タンク貯蔵所						0
		移動タンク貯蔵所		46	13	39	45	143
実施件数合計				182	52	78	67	379

査察実施件数は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までのもの。

液化石油ガス関係事務処理状況

令和6年度

区 分		署 別				
		古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
液化石油ガス 設備工事	設備工事届	2	2	2	1	7
特定液化石油ガス 設備工事事業	事業開始届	3			1	4
	事業変更届	7		1	1	9
	事業廃止届	2	1			3
立入検査			2			2

火薬類取締関係事務処理状況

令和6年度

区 分 \ 署 別			古川消防署	鳴子消防署	加美消防署	遠田消防署	合 計
許 可	譲渡許可						
	譲受許可			1	5		6
	営業許可						
	設置・移転許可						
	消費許可	煙火	4			4	8
		その他		1	5		6
火薬庫保安検査				1			1
火薬庫外貯蔵所指示							
立入検査	販売業者		1	2		1	4
	火薬庫			1			1
	消費業者		6		2	7	15
	その他		2	1		2	5

民間防火組織の結成状況

令和7年4月1日現在

組織区分 市町名	幼年消防クラブ		少年消防クラブ		女性防火クラブ	
	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数
大 崎 市	18	432			94	15,781
色 麻 町	1	32			25	1,779
加 美 町	5	140			68	2,231
涌 谷 町	6	127	1	63	46	3,370
美 里 町	1	36			9	7,560
合 計	31	767	1	63	242	30,721

《幼少年消防クラブについて》

幼少年消防クラブは、活動を通じて規律正しく明るく元気な子供を育成することを目的とし、消防署の見学や玩具煙火の正しい遊び方等を学んでもらい、幼少年期に防火意識を身に付けてもらえるよう育成指導に努めています。



花火指導の様子（田尻分署）



幼年消防クラブの様子（岩出山分署）

《大崎地域女性防火クラブ連合会について》事務局：大崎消防本部予防課内

昭和56年に「我が家と地域から火災を無くそう」を合言葉に、大崎地域の女性防火クラブの健全な育成とクラブ相互の親睦を図り、火災予防思想の普及に寄与することを目的として結成されました。

令和6年度は、8月に大崎女性防火クラブ大会を実施し、「災害時における要支援者対応について」をテーマに、NPO法人防災士会みやざり理事保田真理様を講師に迎えて研修会を行いました。また、11月には三本木保健福祉センターにて自主リーダー研修会を開催し、古川警察署生活安全課大泉潤様の講演及びYKK AP(株)東北製造所の工場見学を行いました。今後も家庭防火のリーダーとして防火対策や広報活動など、防火思想の普及に幅広く活動していきます。



大崎女性防火クラブ大会の様子



自主リーダー研修会の様子

通 信 指 令



◎ 119番通報のポイント ◎

★ あわてず，落ち着いて話してください！

1. 火事？それとも救急？
2. あなたの居る場所・緊急車が必要な住所
3. 誰が，どこで，どうしたのか？
4. あなたの名前，電話番号

高機能消防指令センターの概要

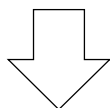
現高機能消防指令センターは、平成31年4月1日から運用が開始されました。

運用後は、より正確・迅速かつ効率的な災害対応を行うため、聴覚障がい及び発語障がいのある方がスマートフォン等から通報できる「Net 119緊急通報システム」の導入や、外国人からの119番通報に対応するため、電話通訳センターと三者間同時通訳により通報受理ができる体制を構築しています。

さらに、指令センターと通報者間において、ライブ映像でやりとりができる映像通報システムを令和7年5月1日から運用開始し、災害通報受付体制の充実強化を図っております。

〈119番受付の一連の業務〉

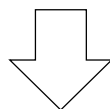
(1) 災害受付



災害通報には、携帯電話や固定電話からの119番通報、消防署所への駆けつけによる通報等があります。

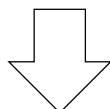
119番通報時に、通報者の位置情報が表示される統合型位置情報通知システムを活用することで、迅速に災害現場を特定します。

(2) 出動指令



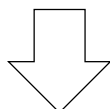
災害の内容や場所に応じて、最適な部隊を自動的に編成し、出動指令を出します。

(3) 情報収集・支援情報提供



気象情報や、事前に登録している消防水利、大規模建物、危険物等の情報を災害現場に支援情報として提供します。

(4) 関係機関への連絡

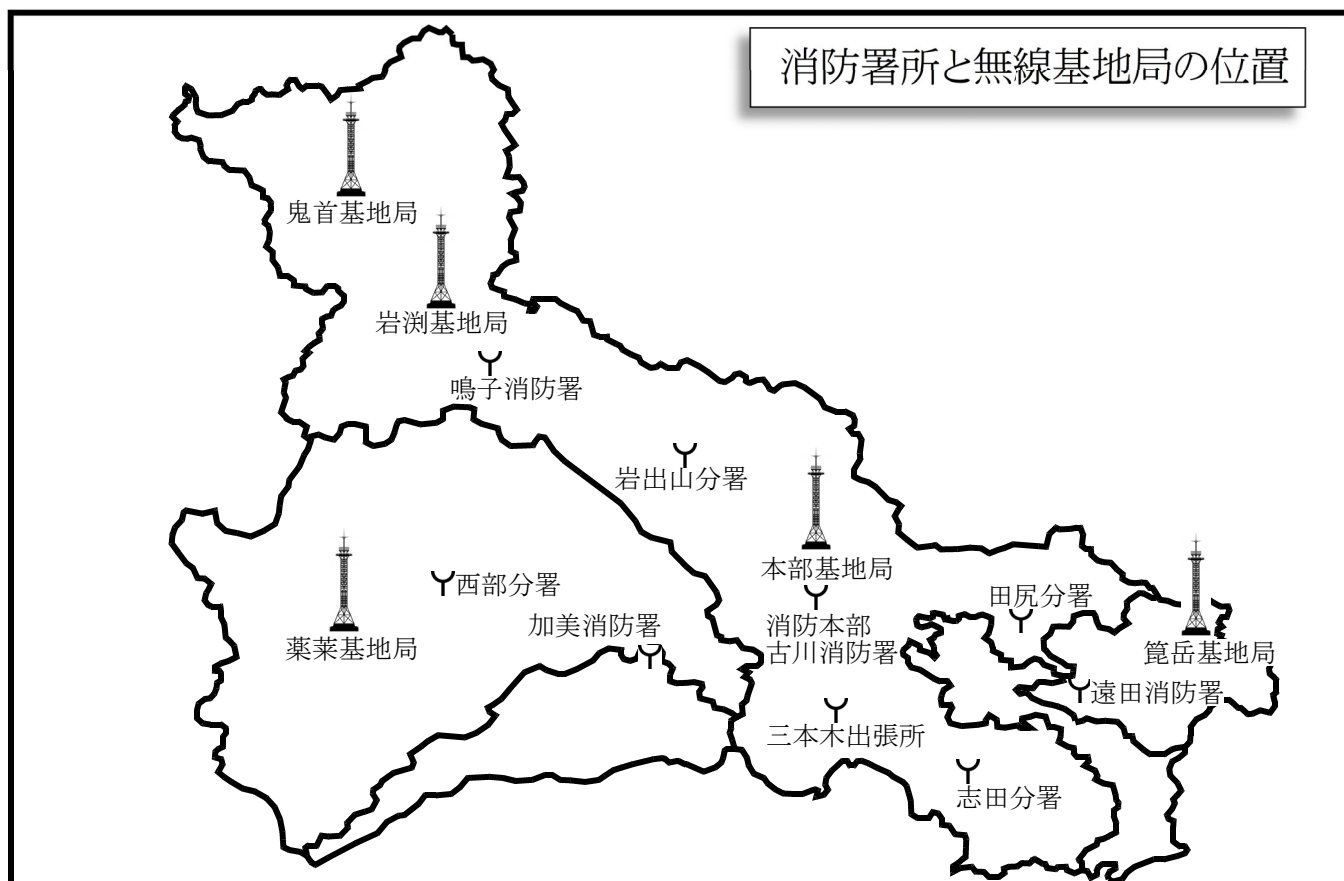
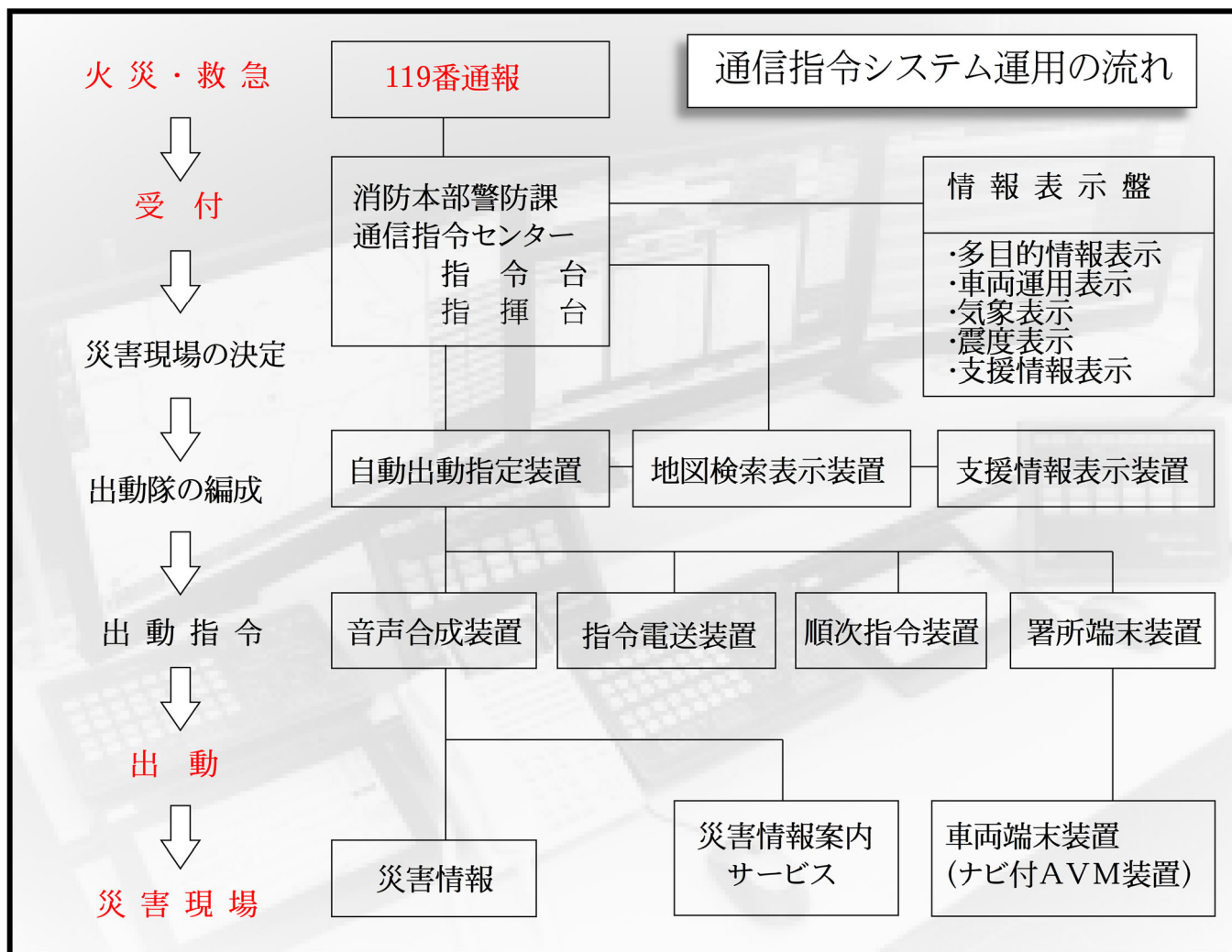


警察、ガス会社、電力会社等の関係機関には、災害情報を専用回線により連絡します。

また、国や県には災害規模等に応じ、衛星通信、無線、有線により連絡します。

(5) 住民への情報提供

災害情報案内サービスにより出動指令と同時に情報提供します。



通 信 指 令 シ ス テ ム 機 器 一 覧

令和7年4月1日現在

項目	内 訳	
	数量	単位
1 指令装置	1	式
(1) 指令台	2	台
(2) 自動出動指定装置	2	式
ア 制御処理装置	2	台
イ ディスプレイ	2	台
(3) 地図検索装置	1	式
ア 制御処理装置	2	台
イ ディスプレイ	2	台
(4) 支援情報表示装置	1	式
ア 制御処理装置	2	台
イ ディスプレイ	2	台
(5) 長時間録音装置	1	台
(6) 非常用指令装置	1	台
(7) 指令制御装置	1	台
(8) プリンタ	2	台
(9) スキャナ	1	台
(10) データメンテナンス装置	1	台
(11) 署所端末装置	9	台
(12) バックアップ受令機	8	台
2 指揮台	1	式
3 表示盤	1	式
(1) 車両運用表示盤	3	面
(2) 支援情報表示盤	1	面
(3) 多目的情報表示盤	1	面
4 無線統制台	1	式

項目	内 訳	
	数量	単位
5 指令電送装置	1	式
(1) 指令情報送信装置	1	台
(2) 指令情報出力装置	9	台
6 気象情報収集装置	1	式
7 災害状況等自動案内装置	1	式
8 順次指令装置	1	式
9 音声合成装置	1	式
10 出動車両運用管理装置	1	式
(1) 管理装置	1	台
(2) 車両運用端末装置	42	台
(3) 車外設定端末装置	43	台
11 システム監視装置	1	式
12 電源設備	1	式
(1) 無停電電源装置	9	台
(2) 直流電源装置	1	台
(3) 非常用発動発電機	1	台
13 統合型位置情報通知装置	1	式
14 防災無線連動集中制御装置	1	式
15 119 F A X受信装置	1	台
16 監視カメラ装置	1	式
(1) 監視カメラ	3	台
(2) 監視映像受信装置	1	面
17 デジタル無線受令機	25	台
18 N e t 119・映像通報システム受信装置	1	台

1 1 9 番 等 受 付 状 況 （ 災 害 ）

令和6年1月1日～令和6年12月31日

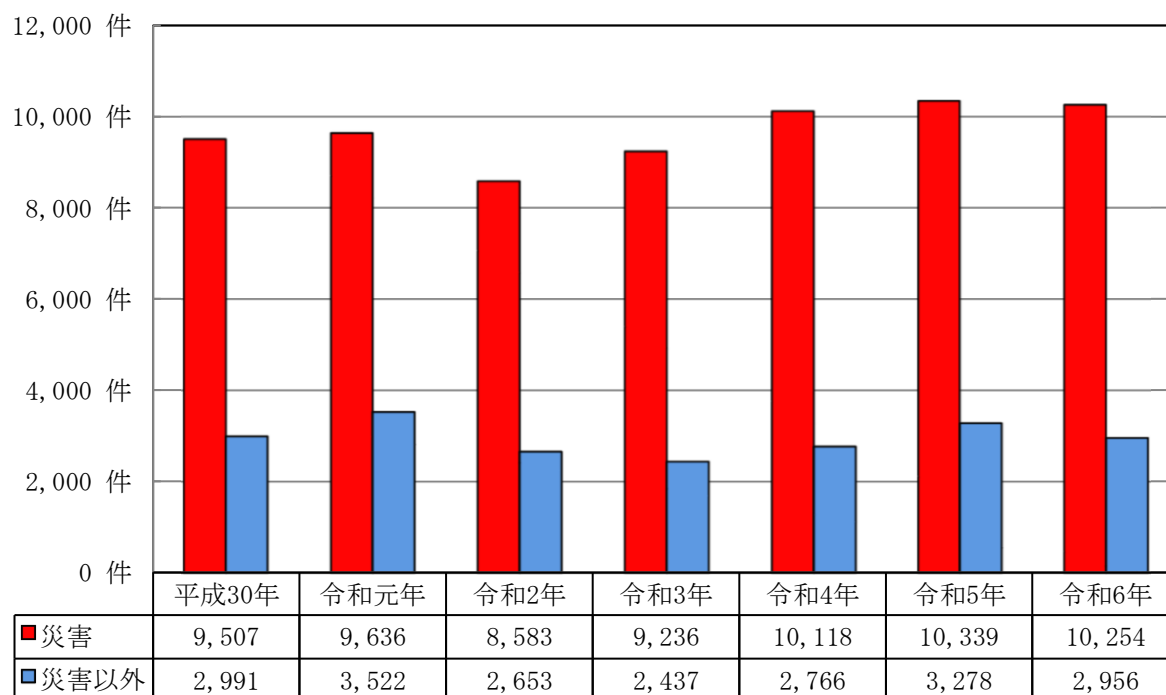
月 別	受付種別	火 災	救 急	救 助	その他	合 計
1月	固 定 1 1 9	1	457		4	462
	携 帯 1 1 9	6	385	2	15	408
	加 入 電 話	1	22	1	11	35
	そ の 他	1	6		3	10
	小 計	9	870	3	33	915
2月	固 定 1 1 9		366		7	373
	携 帯 1 1 9	4	310	1	18	333
	加 入 電 話		14	1	12	27
	そ の 他		2		2	4
	小 計	4	692	2	39	737
3月	固 定 1 1 9		408		5	413
	携 帯 1 1 9	4	336	2	11	353
	加 入 電 話		22	1	9	32
	そ の 他		7		4	11
	小 計	4	773	3	29	809
4月	固 定 1 1 9	1	387	1	8	397
	携 帯 1 1 9	4	343	3	16	366
	加 入 電 話		9		12	21
	そ の 他	1	7		2	10
	小 計	6	746	4	38	794
5月	固 定 1 1 9		409		7	416
	携 帯 1 1 9	4	322		16	342
	加 入 電 話	1	17	2	5	25
	そ の 他		6		3	9
	小 計	5	754	2	31	792
6月	固 定 1 1 9	1	385		4	390
	携 帯 1 1 9	4	316	2	13	335
	加 入 電 話		19	2	5	26
	そ の 他	1	4	1	2	8
	小 計	6	724	5	24	759
7月	固 定 1 1 9		472		6	478
	携 帯 1 1 9	1	371	1	15	388
	加 入 電 話		24	3	10	37
	そ の 他		12		4	16
	小 計	1	879	4	35	919
8月	固 定 1 1 9	2	500		6	508
	携 帯 1 1 9	1	446	3	15	465
	加 入 電 話		21	1	10	32
	そ の 他	1	11			12
	小 計	4	978	4	31	1017
9月	固 定 1 1 9	1	443	1	9	454
	携 帯 1 1 9	1	385	2	11	399
	加 入 電 話		23	1	6	30
	そ の 他	2	5		1	8
	小 計	4	856	4	27	891
10月	固 定 1 1 9		449	1	3	453
	携 帯 1 1 9	2	319	1	17	339
	加 入 電 話		19	1	8	28
	そ の 他		5		5	10
	小 計	2	792	3	33	830
11月	固 定 1 1 9	1	413	1	3	418
	携 帯 1 1 9		362	3	12	377
	加 入 電 話		19	1	6	26
	そ の 他		7		4	11
	小 計	1	801	5	25	832
12月	固 定 1 1 9	1	488	1	2	492
	携 帯 1 1 9	1	410	3	20	434
	加 入 電 話		23		5	28
	そ の 他	1	2		2	5
	小 計	3	923	4	29	959
合計	固 定 1 1 9	8	5,177	5	64	5,254
	携 帯 1 1 9	32	4,305	23	179	4,539
	加 入 電 話	2	232	14	99	347
	そ の 他	7	74	1	32	114
	小 計	49	9,788	43	374	10,254

1 1 9 番 等 受 付 状 況 (災害以外)

令和6年1月1日～令和6年12月31日

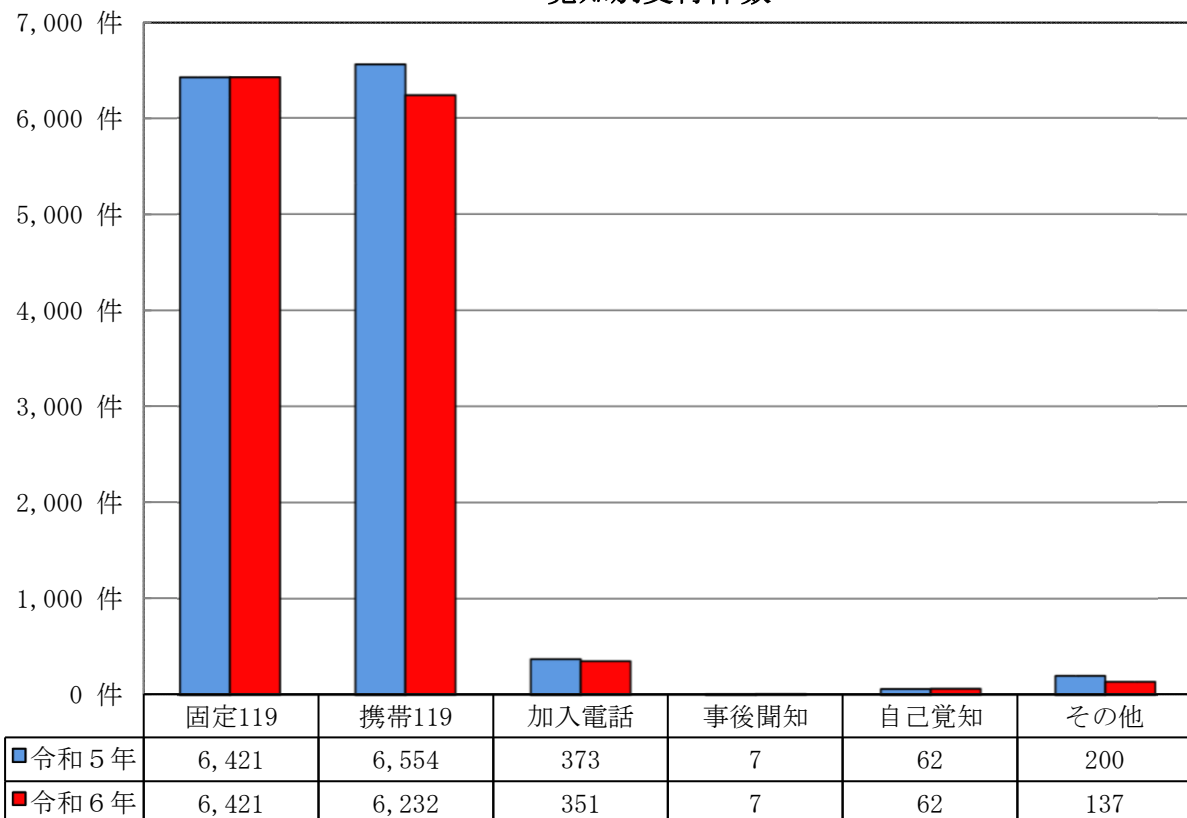
月別	受付種別	いたずら	問合せ	間違い	訓練	試験	重複 その他	合計
1月	固定 1 1 9		30	33	13	8	10	94
	携帯 1 1 9	5	48	38	2		39	132
	加 入 電 話							
	そ の 他			5	2	1		8
	小 計	5	78	76	17	9	49	234
2月	固定 1 1 9		16	14	19	9	10	68
	携帯 1 1 9	15	38	53		3	39	148
	加 入 電 話			1				1
	そ の 他		1	4		2	1	8
	小 計	15	55	72	19	14	50	225
3月	固定 1 1 9	1	19	31	24	8	10	93
	携帯 1 1 9	5	42	45	2	8	27	129
	加 入 電 話		1					1
	そ の 他		1	2		2		5
	小 計	6	63	78	26	18	37	228
4月	固定 1 1 9		24	17	7	21	11	80
	携帯 1 1 9	2	55	49		1	27	134
	加 入 電 話							
	そ の 他	1	4	2		3		10
	小 計	3	83	68	7	25	38	224
5月	固定 1 1 9	1	20	22	26	5	5	79
	携帯 1 1 9	4	44	38	1	3	30	120
	加 入 電 話							
	そ の 他			1		5		6
	小 計	5	64	61	27	13	35	205
6月	固定 1 1 9		26	24	36	5	19	110
	携帯 1 1 9	3	41	41		1	37	123
	加 入 電 話						1	1
	そ の 他		2	6				8
	小 計	3	69	71	36	6	57	242
7月	固定 1 1 9	1	28	35	28	1	13	106
	携帯 1 1 9	3	57	55	3	2	45	165
	加 入 電 話			1				1
	そ の 他	1	2	2		4		9
	小 計	5	87	93	31	7	58	281
8月	固定 1 1 9		31	25	6		9	71
	携帯 1 1 9		54	56		4	49	163
	加 入 電 話							
	そ の 他		2	2		1		5
	小 計		87	83	6	5	58	239
9月	固定 1 1 9		14	25	22	5	10	76
	携帯 1 1 9	3	51	58	2	6	24	144
	加 入 電 話							
	そ の 他	1	3	2	1	1	2	10
	小 計	4	68	85	25	12	36	230
10月	固定 1 1 9	2	19	15	53	60	6	155
	携帯 1 1 9		67	51	1	2	36	157
	加 入 電 話							
	そ の 他		2			4		6
	小 計	2	88	66	54	66	42	318
11月	固定 1 1 9		17	29	71	6	5	128
	携帯 1 1 9	3	50	46	5	2	24	130
	加 入 電 話							
	そ の 他			4		2	1	7
	小 計	3	67	79	76	10	30	265
12月	固定 1 1 9	3	27	34	25	8	10	107
	携帯 1 1 9	2	49	55		4	38	148
	加 入 電 話							
	そ の 他		3	6			1	10
	小 計	5	79	95	25	12	49	265
合計	固定 1 1 9	8	271	304	330	136	118	1,167
	携帯 1 1 9	45	596	585	16	36	415	1,693
	加 入 電 話		1	2			1	4
	そ の 他	3	20	36	3	25	5	92
	小 計	56	888	927	349	197	539	2,956

119番等受付件数

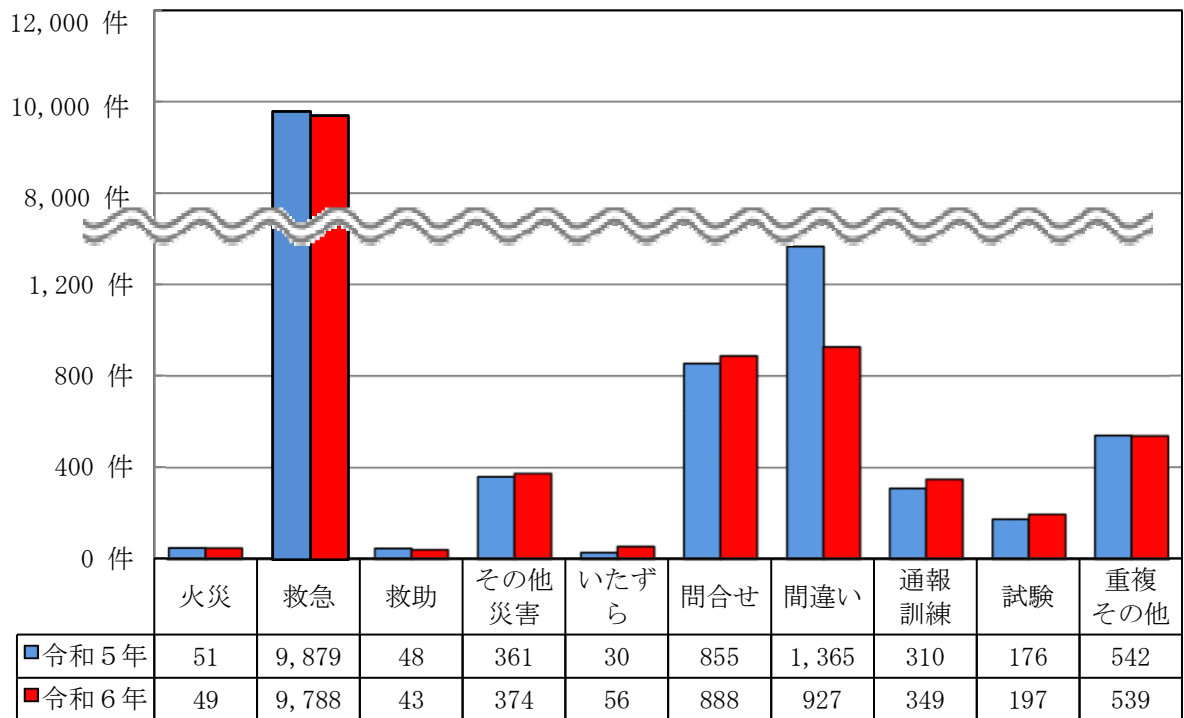


- ・災害とは「火災」「救急」「救助」「その他災害」をいう。
- ・災害以外とは「いたずら」「問合せ」「間違い」「訓練」「試験」「重複・その他」をいう。

覚知別受付件数

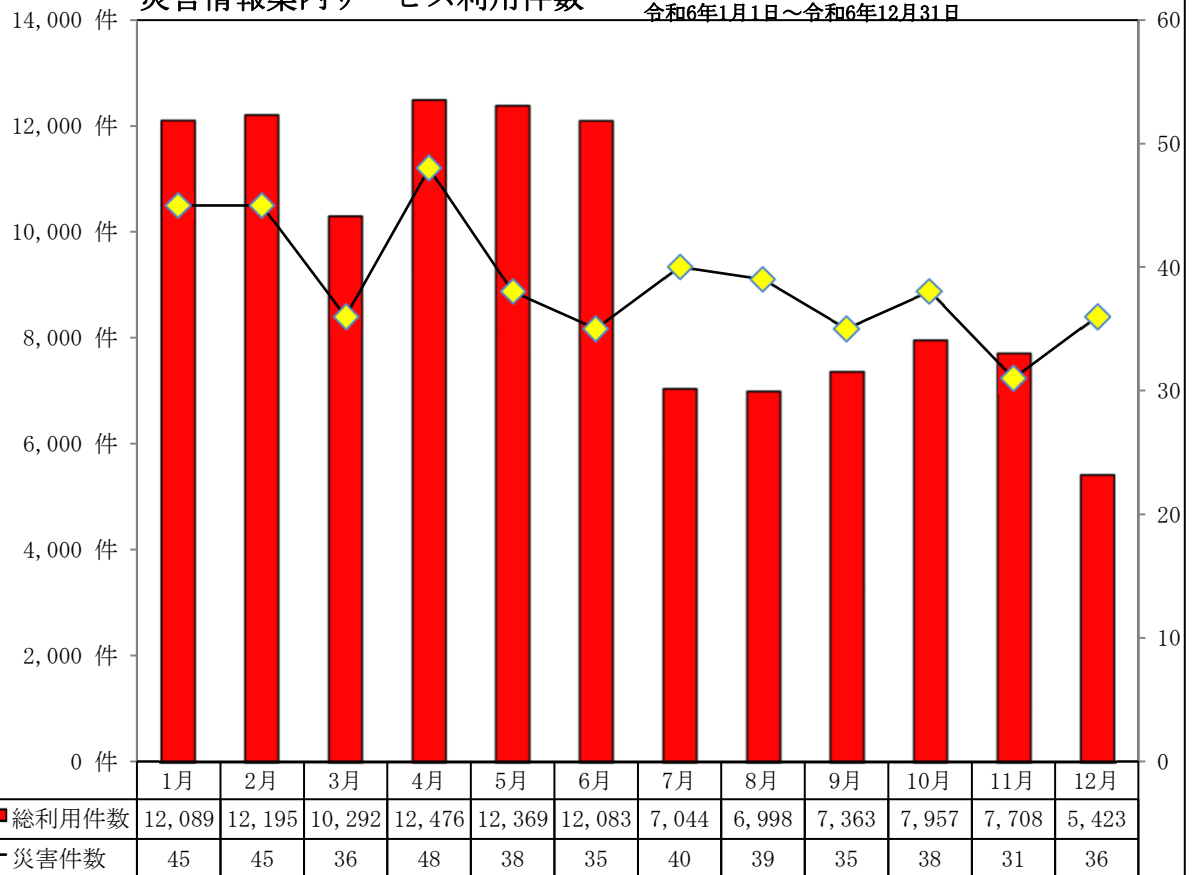


災害等区分別入電件数



災害情報案内サービス利用件数

令和6年1月1日～令和6年12月31日



・災害情報案内サービスとは、救急出動を除く火災、救助、その他災害の発生状況を音声案内で情報提供しているもの。

※ この表の災害件数は、救急出動を除く火災、救助、その他災害の件数を計上したものです。

月 別 気 象 状 況 (令 和 6 年)

(消防本部観測記録)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計 平均
温度	最高 (℃)	11.8	18.4	19.0	28.3	29.6	32.7	35.1	35.5	34.8	30.5	22.6	12.9	25.9
	最低 (℃)	-5.9	-5.1	-3.7	1.8	6.8	12.6	17.0	22.2	12.7	2.8	-1.1	-4.6	4.6
	平均 (℃)	2.9	3.5	4.5	13.8	16.9	21.3	25.5	27.1	22.8	16.9	9.2	2.6	13.9
湿度	最低 (%)	42.4	34.4	22.4	17.7	15.8	26.9	39.1	47.2	46.6	39.4	36.9	47.7	34.7
	平均 (%)	78.3	72.3	74.8	73.0	72.3	80.1	84.0	87.4	88.6	83.8	81.8	85.6	80.2
風速	日最高平均 (m/s)	20.2	21.9	18.2	14.1	14.9	10.2	14.2	9.7	10.9	12.7	12.6	13.8	14.5
	瞬間最大 (m/s)	30.9	38.0	27.5	20.8	21.2	15.9	20.5	15.9	16.5	17.9	19.7	23.0	22.3
	平均 (m/s)	3.9	3.9	4.4	3.5	3.4	2.8	2.7	2.5	2.2	2.4	2.8	3.7	3.2
降水量	1日最大 (mm)	43.0	7.5	16.0	55.5	26.0	40.5	76.5	37.0	61.5	15.0	13.0	3.0	32.9
	積算 (mm)	56.0	16.0	62.5	66.5	64.0	84.0	210.5	110.0	154.5	62.5	27.5	9.0	76.9
天候観測 昼観測 (日数)	晴日 (快晴含)	14	13	8	19	18	14	13	13	14	18	20	9	173
	曇日	13	14	17	9	9	13	11	15	12	10	9	14	146
	雨日	1		3	2	4	3	7	3	4	3	1	3	34
	雪日	3	2	3									5	13
地震観測	回数	6	3	4	5	2	2	4	3		2	4	1	36
	最大震度	3	1	3	3	1	1	2	2		2	2	2	—
備 考 年記録	温度	最高 35.5 ℃ (8 月)												
		最低 -5.9 ℃ (1 月)												
	風速	最大瞬間風速 38 m/S (2 月)												
	降水量	一日最大 76.5 mm (7 月)												

■天候観測は、0時から24時の気象概況

管内の消防団



令和6年度 宮城県消防協会 大崎地区支部消防操法大会

於：令和6年7月7日 大崎地域広域行政事務組合 本庁舎敷地内

大崎管内の消防団構成

令和7年4月1日現在

市町名	定 数	実 数	階 級 別 実 数								所 有 車 両 数
			団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	副 班 長	団 員	
大崎市	2,430	1,990 (32)	1	22	55	73 (1)	137	277 (1)		1,425 (30)	ボ ン プ 車 8 小型ポンプ積載車 154 小 型 ポ ン プ 49
色麻町	180	179 (8)	1	1	4	4		20 (1)		149 (7)	ボ ン プ 車 0 小型ポンプ積載車 18 小 型 ポ ン プ 1
加美町	570	533 (4)	1	3	7	7	20	66		429 (4)	ボ ン プ 車 2 小型ポンプ積載車 62 小 型 ポ ン プ 0
涌谷町	280	253 (7)	1	2	7	7	7	19 (1)	8	202 (6)	ボ ン プ 車 1 小型ポンプ積載車 17 小 型 ポ ン プ 0
美里町	500	410 (4)	1	3	10	14 (1)	12 (1)	33 (2)	30	307	ボ ン プ 車 2 小型ポンプ積載車 27 小 型 ポ ン プ 0
合 計	3,960	3,365 (55)	5	31	83	105 (2)	176 (1)	415 (5)	38	2,512 (47)	ボ ン プ 車 13 小型ポンプ積載車 278 小 型 ポ ン プ 50

※大崎市消防団については、副団長のうち7名が支団長を兼ねる。

※（ ）内は女性消防団員の数



大崎消防本部

【大崎消防本部キャッチフレーズ】

大崎消防では、「安全・安心」の提供において、
愛^{いつく}しむ心と、愛^めでる思いをつないで災害等から
圏域住民を守っていくことを表現しております。

【令和2年4月制定】

令和7年版 消防年報

令和7年7月発行

編集・発行 大崎地域広域行政事務組合消防本部総務課



宮城県大崎市古川千手寺町二丁目5番20号

電話 (0229)22-2351(代)

FAX (0229)24-4048
